

EPSON
EXCEED YOUR VISION

取扱説明書

ビジネスプロジェクター

EB-1985WU

EB-1975W

マニュアル中の表示の意味

プロジェクターを使用する前に

本機の特長 9

かんたん投写	9
柔軟な接続性	9
コンピューターと接続する	10
モバイルデバイスと接続する	11

プロジェクターの各部名称と働き 12

プロジェクターの各部名称 - 前面	12
プロジェクターの各部名称 - 背面	13
プロジェクターの各部名称 - 底面	14
プロジェクターの各部名称 - 操作パネル	15
プロジェクターの各部名称 - リモコン	16

プロジェクターを準備する

プロジェクターの設置 19

プロジェクターの設置・取り付け	20
投写距離	20

プロジェクターを接続する 22

コンピューターを接続する	22
USBケーブルを接続して映像と音声を出力する	22
コンピューターケーブルを接続して映像と音声を出力する	23
HDMIケーブルを接続して映像と音声を出力する	23
スマートフォン・タブレットを接続する	24
ビデオ機器を接続する	25
HDMIケーブルで接続する	25
コンポーネント-VGAビデオケーブルで接続する	26
コンポジットケーブルで接続する	26
USB機器を接続する	27

USB機器のデータを投写する	27
USB機器またはカメラを接続する	28
USB機器またはカメラを取り外す	28
書画カメラを接続する	29
外部出力機器を接続する	29
外部モニターを接続する	29
外部スピーカーを接続する	30

リモコンに電池を取り付ける 31

リモコンを操作する	31
-----------------	----

レンズカバーを開く 33

プロジェクターの基本機能を使用する

プロジェクターの電源を入れる 35

プロジェクターの電源を切る 37

日時を設定する 39

メニューの言語を選択する 41

設置モード 42

リモコンで設置モードを変更する	42
メニューから設置モードを変更する	42

映像の高さを調整する 44

映像の形状補正 45

自動タテヨコ補正	45
フレームフィット機能で映像形状を自動で補正する	45
台形補正ボタンで映像のゆがみを補正する	47
Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する	48

ズームリングで映像を大きさを調整する	51	PC Free機能で投写する	74
フォーカスリングで映像のピントを調整する	52	サポートファイル形式	74
USBディスプレイを使用して投写する	54	PC Free使用時の注意事項	75
USBディスプレイのシステム要件	54	PC Freeのスライドショーを開始する	75
ドライバーをインストールする	55	PC FreeでPDFファイルを投写する	77
ドライバーをアンインストールする	56	PC Freeでムービーを投写する	78
ドライバーをアンインストールする (Windows 2000)	56	PC Freeでシナリオを投写する	79
ドライバーをアンインストールする (Windows XP/Windows Vista/Windows 7)	56	PC Freeの表示オプション	80
ドライバーをアンインストールする (Windows 8/Windows 8.1)	57	映像と音声を一時的に遮断する	82
ドライバーをアンインストールする (OS X)	57	映像を一時的に停止する	83
投写映像を切り替える	58	画面の一部を拡大表示する	84
映像のアスペクト比	60	リモコンでコンピューターのマウス操作をする	85
映像のアスペクト比を切り替える	60	リモコンでポインターを表示する	86
アスペクトモードの種類	60	ユーザーロゴを設定する	87
各アスペクトモードの投写イメージ	61	複数台のプロジェクターから投写した映像の色差補正	90
カラーモード	62	プロジェクターにIDを設定する	90
カラーモードを変更する	62	操作対象のプロジェクターIDをリモコンで選択する	90
カラーモードの種類	62	複数のプロジェクターの映像品質を合わせる	91
オートアイリスを設定する	63	セキュリティ機能	93
映像の色合いを調整する	65	パスワードプロテクトの種類	93
色相、彩度、明度を調整する	65	パスワードを設定する	93
ガンマを調整する	66	パスワードプロテクトの種類を設定する	94
音量ボタンで音量を調整する	69	パスワードを入力する	95
プロジェクターの便利な機能		操作パネルのボタン操作を制限する	96
2つの映像を同時に投写する	71	操作ボタンロックを解除する	97
2画面投写の入力ソースの組み合わせ	72	セキュリティーケーブルを取り付ける	97
2画面投写中の制限事項	72		

ネットワーク上のプロジェクターを使用する

有線LANでの映像投写 100

- 有線LANに接続する 100
- 有線LANを設定する 100

無線LANでの映像投写 103

- 無線LANユニットを取り付ける 103
- クイックワイヤレスを使用する (Windowsのみ) 105
- 無線LANを設定する 105
- 無線LANアクセスポイントを検索する 107
- Windowsで無線LANを設定する 109
- OS Xでの無線LANを設定する 109
- 無線LANのセキュリティーを設定する 109

モバイルデバイスからのワイヤレス投写 (Screen Mirroring) 111

- Screen Mirroringを設定する 111
- Windows 8.1でScreen Mirroring接続する 113
- Intel WiDiソフトウェアを使ってScreen Mirroring接続する 114
- Miracast機能を使ってScreen Mirroring接続する 115

プロジェクターを監視および制御する

EasyMP Monitor 117

Webブラウザーを使ってネットワークプロジェクターを制御する 118

メール通知でプロジェクターの異常を通知する 120

- 異常通知メールの見方 120

SNMPを使って監視する 122

ESC/VP21コマンドを使用する 123

- ESC/VP21コマンドリスト 123

ケーブル配線 123

PJLinkについて 125

Crestron RoomViewについて 126

- Crestron RoomViewを設定する 126
- Crestron RoomViewを使ってネットワークプロジェクターを制御する 127
- Crestron RoomView操作画面 128
- Crestron RoomView Tools画面 129

プロジェクターのイベントスケジュールを設定する 130

メニューの設定

プロジェクターメニューを操作する 133

ソフトキーボードを操作する 134

画質調整メニュー 135

映像メニュー 137

設定メニュー 139

拡張設定メニュー 141

- 拡張設定メニュー-日付&時刻設定 142

ネットワークメニュー 144

- ネットワークメニュー- Screen Mirroring設定 145
- ネットワークメニュー- 基本設定メニュー 145
- ネットワークメニュー- 無線LANメニュー 146
- ネットワークメニュー- セキュリティーメニュー 147
- ネットワークメニュー- 有線LANメニュー 149
- ネットワークメニュー- メールメニュー 149
- ネットワークメニュー- その他メニュー 150
- ネットワークメニュー- 初期化メニュー 151

節電メニュー	152
情報メニュー	153
情報メニュー-プロジェクター情報	153
Event ID一覧	154
初期化メニュー	155
メニュー設定を別のプロジェクターにコピーする（一括設定機能）	156
USBメモリーを使って一括設定する	156
USBケーブルを使って一括設定する	157

プロジェクターをメンテナンスする

レンズを清掃する	160
本機を掃除する	161
エアフィルターおよび吸排気口のメンテナンス	162
エアフィルターおよび吸排気口を清掃する	162
エアフィルターを交換する	162
ランプのメンテナンス	164
ランプを交換する	164
ランプ点灯時間を初期化する	167
リモコンの電池を交換する	169

困ったときに

トラブルの対処法	172
インジケータの見方	173
ヘルプの見方	176
映像や音声に関するトラブル	177
映像が表示されない	177
USBディスプレイの映像が表示されない	178
「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示される	178
ノート型コンピューターから映像を出力する	178
Macのノート型コンピューターから映像を出力する	179
「この信号は本プロジェクターでは受けられません」というメッセージが表示される	179
映像の一部が表示されない	179
映像が台形にゆがむ	180
映像にノイズが入る、乱れる	180
映像がぼやける	181
映像の明るさや色合いが違う	182
音が出ない、小さい	182
PC Freeで画像ファイル名が正しく表示されない	183
プロジェクター、リモコンの操作に関するトラブル	184
電源が入らない、予期せず切れる	184
リモコンで操作できない	185
パスワードが入力できない	185
「時刻を保持する電池残量が低下しています」というメッセージが表示される	185
ネットワークに関するトラブル	187
Webブラウザを使って設定を変更できない	187
異常が起きたときにメール通知されない	187
ネットワーク経由で投写した映像が乱れる	187
Screen Mirroringで接続できない	188
Screen Mirroringの映像が乱れる	188

付録

オプション・消耗品一覧	191
オプション	191
消耗品	192
スクリーンサイズと投写距離	193
対応解像度	195
本機仕様	197
接続端子	197
外形寸法図	199
用語解説	200
一般のご注意	202
電波法による規制	202
使用限定について	202
本機を日本国外へ持ち出す場合の注意	202
瞬低（瞬時電圧低下）基準について	203
JIS C 61000-3-2適合品	203
表記について	203
商標について	203
ご注意	204
著作権について	204

マニュアル中の表示の意味

安全に関する表示

本製品および取扱説明書には、製品を安全にお使いいただくために絵表示が使われています。

人体への危害や財産への損害を防ぐために、次の絵表示で表記された説明は、内容をよくお読みいただいた上で、説明に従ってお取り扱いください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

一般情報に関する表示

注意	注意して取り扱わないと、本機の故障や損傷の原因になるおそれがある内容を記載しています。
	知っておくと便利な関連情報を記載しています。
【ボタン名】	リモコンまたは操作パネルのボタン名称を示しています。 例：【戻る】ボタン
[メニュー/設定名]	プロジェクターのメニュー、設定の名称を示しています。 例： [画質調整]メニューを選択する ☛ [画質調整] > [アドバンスト]



プロジェクターを使用する前に

本機の特長と各部の名称について説明します。

関連項目

- 「本機の特長」 [p.9](#)
- 「プロジェクターの各部名称と働き」 [p.12](#)

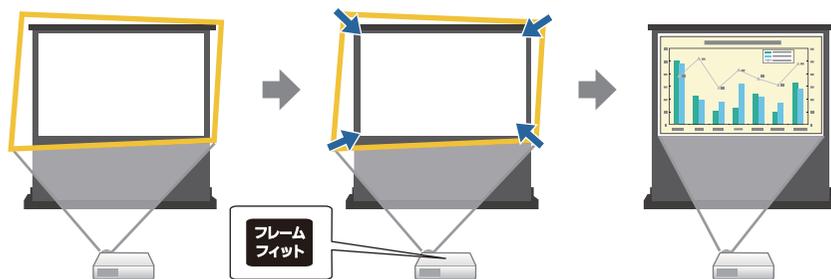
本機は、すばやく簡単に投写準備をすることができ、状況に応じてさまざまな機器と接続できる柔軟性を備えたプロジェクターです。

関連項目

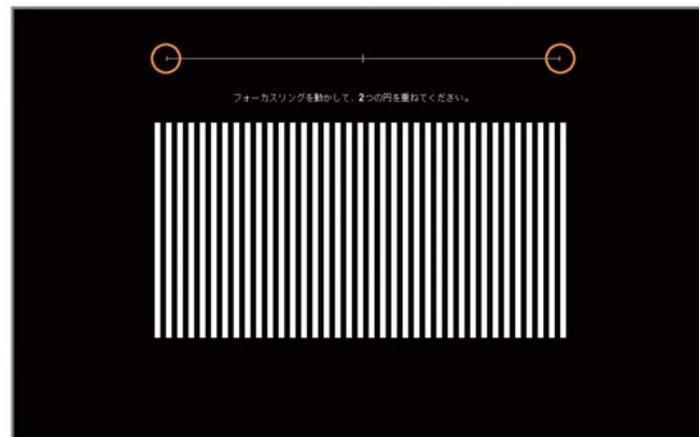
- 「プロジェクターを使用する前に」 [p.8](#)
- 「かんたん投写」 [p.9](#)
- 「柔軟な接続性」 [p.9](#)

かんたん投写

- 電源コードをコンセントに差し込むだけで本機の電源をオンにします(ダイレクトパワーオン)。
- コンピューター1端子の映像信号を検出して、本機の電源をオンにします(オートパワーオン)。
- リアルタイムで自動的にタテヨコの台形補正を行い、常にゆがみのないスクリーンを表示します(自動タテヨコ補正)。
- 投写スクリーンに合わせて映像のゆがみを補正して投写します(フレームフィット機能)。



- フォーカスヘルプ機能を使うと、ピントを正確に補正するためのガイドを表示します。



関連項目

- 「本機の特長」 [p.9](#)
- 「プロジェクターの電源を入れる」 [p.35](#)
- 「自動タテヨコ補正」 [p.45](#)
- 「フレームフィット機能で映像形状を自動で補正する」 [p.45](#)
- 「Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する」 [p.48](#)

柔軟な接続性

本機には簡単に機器と接続するためのさまざまな接続方法があります。

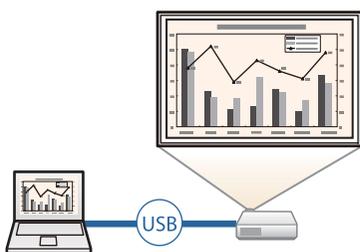
関連項目

- 「本機の特長」 [p.9](#)
- 「コンピューターと接続する」 [p.10](#)

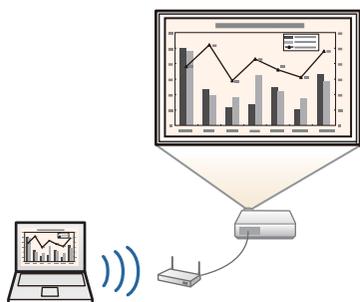
- 「モバイルデバイスと接続する」 [p.11](#)

コンピューターと接続する

- USBケーブルを接続して、映像の投写と音声の出力ができます (USBディスプレイ)。

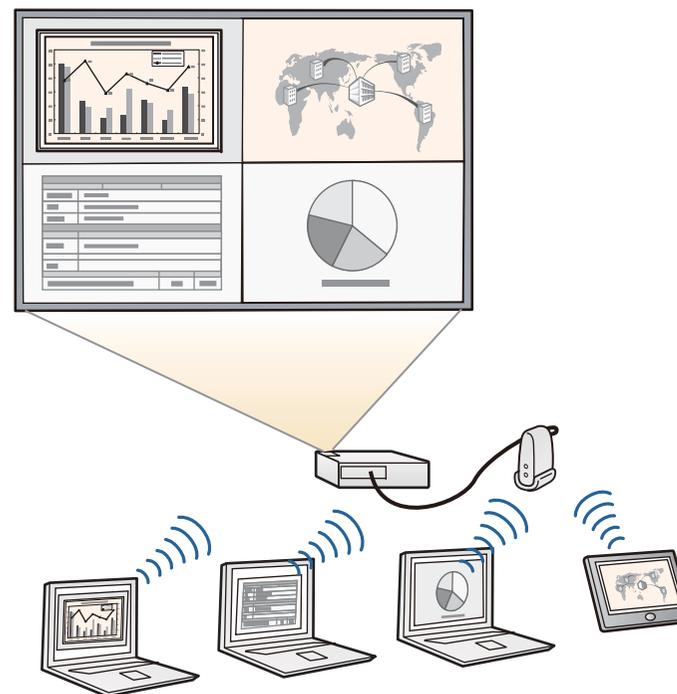


- EasyMP Network Projectionを使うと、ネットワーク経由で本機を共有し、ネットワークに接続したコンピューターの画面を投写できます。詳しくは、『EasyMP Network Projection操作ガイド』をご覧ください。



- EasyMP Multi PC Projectionを使うと、投写画面を分割して最大4つの画面を同時に投写できます。ネットワーク上のコンピューター、Epson iProjectionがインストールされているスマートフォン、タブレット端末の画面を投写できます。

詳しくは、『EasyMP Multi PC Projection操作ガイド』をご覧ください。

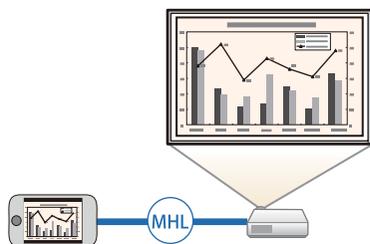


関連項目

- 「柔軟な接続性」 [p.9](#)
- 「USBディスプレイを使用して投写する」 [p.54](#)
- 「ネットワーク上のプロジェクターを使用する」 [p.99](#)

モバイルデバイスと接続する

- 本機のHDMI1/MHL端子とモバイルデバイスをMHLケーブルで接続できます。



- Screen Mirroringを使うと、Intel® WiDiまたはMiracastに対応のモバイルデバイスと本機を無線で接続できます。



- Epson iProjectionを使うと、本機とモバイルデバイスを無線で接続できます。Epson iProjectionはApp Store、Google playからダウンロードできます。



App Store、Google playへ接続する際の通信料はお客様の負担となります。

関連項目

- 「柔軟な接続性」 [p.9](#)
- 「スマートフォン・タブレットを接続する」 [p.24](#)

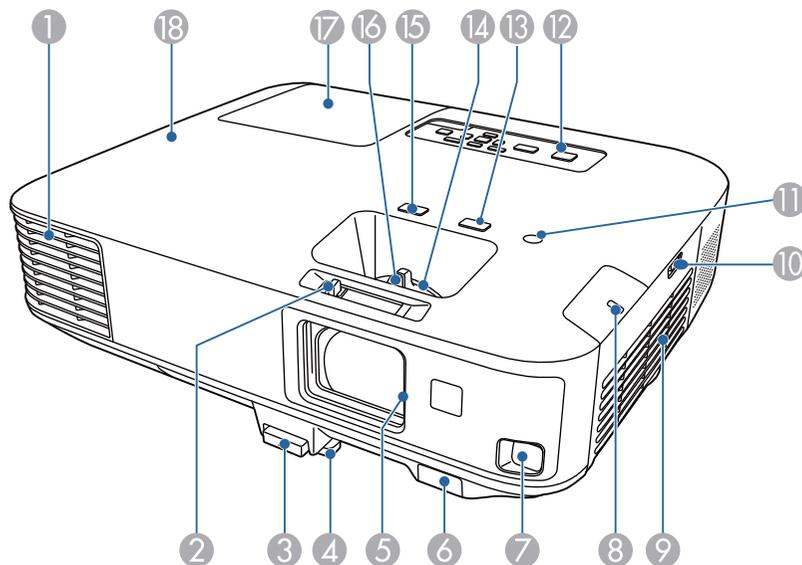
- 「モバイルデバイスからのワイヤレス投写（Screen Mirroring）」 [p.111](#)

本機の各部名称とその働きについて説明します。

関連項目

- ・「プロジェクターを使用する前に」 p.8
- ・「プロジェクターの各部名称 - 前面」 p.12
- ・「プロジェクターの各部名称 - 背面」 p.13
- ・「プロジェクターの各部名称 - 底面」 p.14
- ・「プロジェクターの各部名称 - 操作パネル」 p.15
- ・「プロジェクターの各部名称 - リモコン」 p.16

プロジェクターの各部名称 - 前面



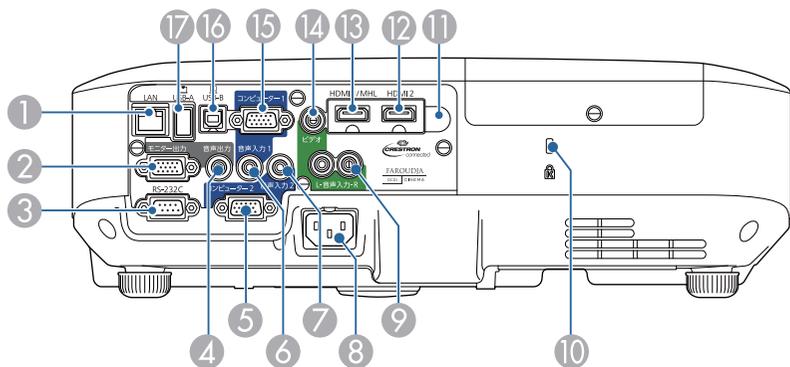
名称	働き
① 排気口	本機内部を冷却した空気の吐き出し口です。 注意 投写中は手や顔を排気口に近づけたり、変形など、熱による悪影響を受けるものを排気口の近くに置かないでください。排気口から温風が出るため、やけどや変形、事故の原因となります。
② スライド式レンズカバー操作部	レバーをスライドさせてレンズカバーを開閉します。
③ フットレバー	フットレバーを押して、フロントフットを伸縮させます。
④ フロントフット	机上設置時に、フットを伸ばして映像の高さを調整します。
⑤ スライド式レンズカバー	本機を使用しないときに閉じて、投写レンズを保護します。投写中に閉めると映像と音声を消すことができます。
⑥ リモコン受光部	リモコン信号を受信します。
⑦ センサー	スクリーン枠を検出するためのセンサーです。
⑧ 無線LANインジケータ	同梱またはオプションの無線LANユニットのアクセス状況をお知らせします。
⑨ 吸気口(エアフィルタ)	本機内部を冷却するための空気を取り込みます。
⑩ エアフィルターカバー操作つまみ	エアフィルターカバーを開くときに、このつまみで操作します。
⑪ 照度センサー	周囲の明るさを感じて、ランプの明るさを調整します。
⑫ 操作パネル	本機の操作をします。
⑬ 【フォーカスヘルプ】ボタン	フォーカスヘルプ画面を投写して、ピントを微調整します。
⑭ ズームリング	映像のサイズを調整します。

名称	働き
15 【フレームフィット】ボタン	フレームフィット機能を実行して、スクリーンに合わせて映像の形状と位置を自動的に補正します。天吊り使用時はボタンを押しても機能しません。
16 フォーカスリング	映像のピントを合わせます。
17 ランプカバー	ランプ交換時に、このカバーを開けて中のランプを交換します。
18 インジケーター	本機の状態を確認します。

関連項目

- 「プロジェクターの各部名称と働き」 p.12
- 「ズームリングで映像を大きさを調整する」 p.51
- 「フォーカスリングで映像のピントを調整する」 p.52
- 「フレームフィット機能で映像形状を自動で補正する」 p.45
- 「インジケーターの見方」 p.173

プロジェクターの各部名称 - 背面



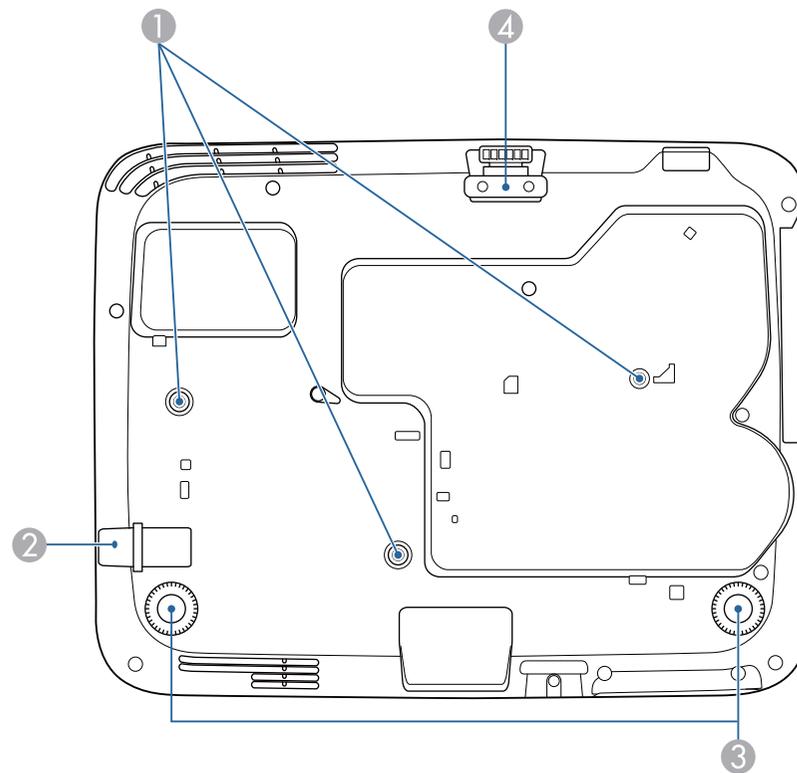
名称	働き
1 LAN端子	LANケーブルを接続して、ネットワークに接続します。
2 モニター出力端子	コンピューター1端子から入力しているアナログRGB信号を、外部モニターに出力します。
3 RS-232C端子	RS-232Cケーブルを接続して、コンピューターから本機を制御します。(通常はこの端子を使用する必要はありません。)
4 音声出力端子	投写中の入力ソースの音声を外部スピーカーに出力します。
5 コンピューター2端子	コンピューター映像信号やビデオ機器のコンポーネントビデオ信号を入力します。
6 音声入力1端子	コンピューター1端子に接続された機器の音声を入力します。
7 音声入力2端子	コンピューター2端子に接続された機器の音声を入力します。
8 電源端子	電源コードを接続します。
9 音声入力(L/R)端子	ビデオ入力端子に接続された機器の音声を入力します。
10 セキュリティースロット	Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応したセキュリティースロットです。
11 リモコン受光部	リモコン信号を受信します。
12 HDMI2端子	HDMIに対応したビデオ機器、コンピューターのビデオ信号を入力します。
13 HDMI1/MHL端子	HDMIに対応したビデオ機器やコンピューター、MHL(Mobile High-Definition)に対応した携帯端末のビデオ信号を入力します。
14 ビデオ入力端子	ビデオ機器のコンポジットビデオ信号を入力します。
15 コンピューター1端子	コンピューター映像信号やビデオ機器のコンポーネントビデオ信号を入力します。

名称	働き
⑬ USB-B端子	同梱のUSBケーブルでコンピューターと接続して、コンピューターの映像を投写したり、ワイヤレスマウス機能を使用したりします。
⑭ USB-A端子	USBメモリーやデジタルカメラを接続して、PDFファイルや動画、画像をPC Freeで投写します。

関連項目

- 「プロジェクターの各部名称と働き」 [p.12](#)
- 「リモコンでコンピューターのマウス操作をする」 [p.85](#)
- 「PC Free機能で投写する」 [p.74](#)
- 「セキュリティーケーブルを取り付ける」 [p.97](#)

プロジェクターの各部名称 - 底面

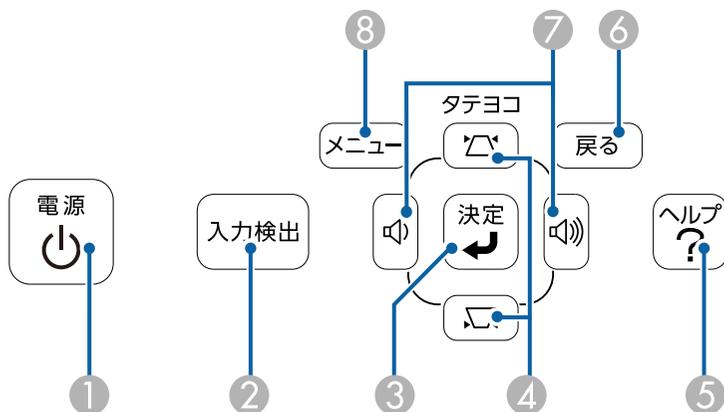


名称	働き
① 天吊り固定部(3箇所)	天井からプロジェクターを吊り下げるときは、オプションの天吊り金具をここに取り付けます。
② セキュリティーケーブル取付け部	市販の盗難防止用ワイヤーロックをこの部分に通して施錠します。
③ リアフット	机上設置時に、フットを伸縮させて水平方向の傾きを調整します。
④ フロントフット	机上設置時に、フットを伸ばして映像の高さを調整します。

関連項目

- 「プロジェクターの各部名称と働き」 [p.12](#)
- 「セキュリティーケーブルを取り付ける」 [p.97](#)

プロジェクターの各部名称 - 操作パネル



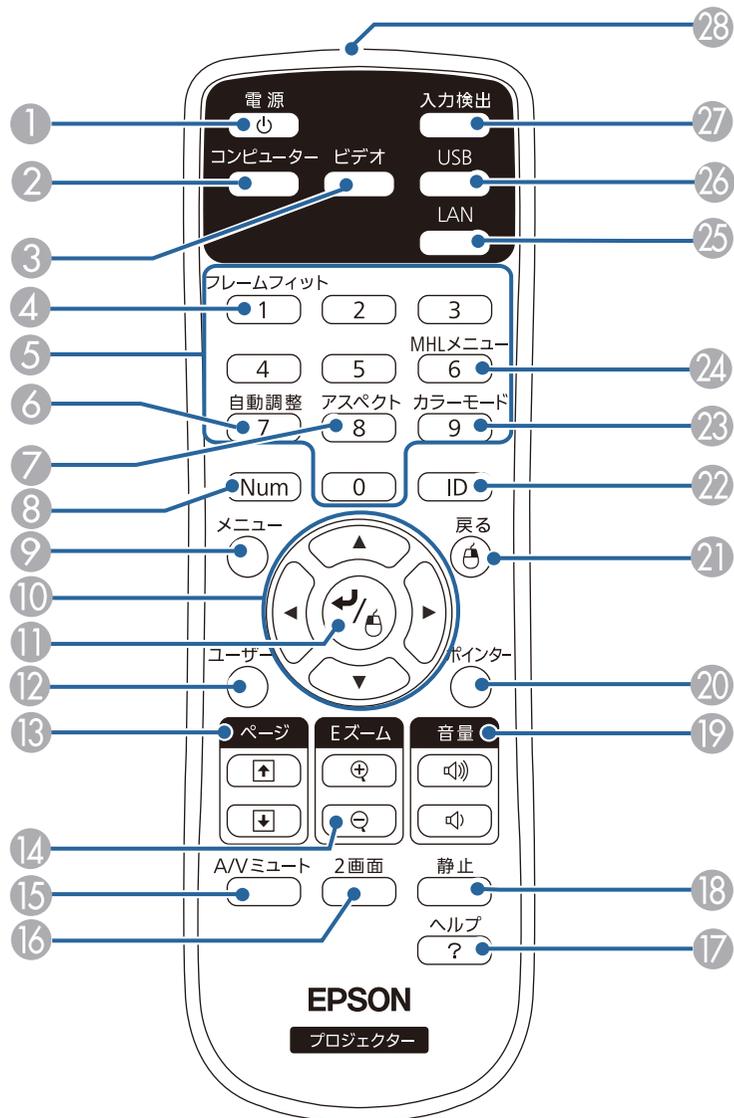
名称	働き
① 電源ボタン	本機の電源をオン/オフします。
② 【入力検出】ボタン	映像信号が入力されている入力ソースに順番に切り替えます。
③ 【決定】ボタン	メニューやヘルプを表示中に押すと、選択項目を決定して、次の階層に進みます。 コンピューター1端子またはコンピューター2端子からアナログRGB信号を投写しているときに押すと、[映像]メニューの[トラッキング]、[同期]、[表示位置]の設定を最適にします。

名称	働き
④ 台形補正ボタン/上下ボタン	台形補正画面を表示して、タテヨコ方向の台形ゆがみを補正できます。 メニューやヘルプを表示中に押すと、メニュー項目を選択します。
⑤ 【ヘルプ】ボタン	ヘルプ画面を表示/終了します。
⑥ 【戻る】ボタン	実行中の機能を終了します。 メニューを表示中に押すと、前のメニュー階層に戻ります。
⑦ 音量ボタン/左右ボタン	スピーカーから出力する音量を調整します。 メニューやヘルプを表示中に押すと、メニュー項目を選択します。
⑧ 【メニュー】ボタン	メニュー画面を表示/終了します。

関連項目

- 「プロジェクターの各部名称と働き」 [p.12](#)
- 「映像メニュー」 [p.137](#)
- 「台形補正ボタンで映像のゆがみを補正する」 [p.47](#)

プロジェクターの各部名称 - リモコン



名称	働き
① 電源ボタン	本機の電源をオン/オフします。
② 【コンピューター】ボタン	コンピューター1端子とコンピューター2端子からの映像に切り替えます。
③ 【ビデオ】ボタン	ビデオ入力端子とHDMI入力端子からの映像に切り替えます。
④ 【フレームフィット】ボタン	フレームフィット機能を実行して、スクリーンに合わせて映像の形状と位置を自動的に補正します。天吊り使用時はボタンを押しても機能しません。
⑤ テンキーボタン	【Num】ボタンを押しながらテンキーボタンを押して、メニュー内で数字を入力します。
⑥ 【自動調整】ボタン	コンピューター1端子またはコンピューター2端子からアナログRGB信号を投写しているときに押すと、[映像]メニューの[トラッキング]、[同期]、[表示位置]の設定を最適にします。
⑦ 【アスペクト】ボタン	アスペクトモードを切り替えます。
⑧ 【Num】ボタン	数字を入力するときに、このボタンを押しながらテンキーボタンを押します。
⑨ 【メニュー】ボタン	メニュー画面を表示/終了します。
⑩ 上下左右ボタン	メニューやヘルプを表示中に押すと、メニュー項目を選択します。
⑪ 【決定】ボタン	メニューやヘルプを表示中に押すと、選択項目を決定して、次の階層に進みます。ワイヤレスマウス機能を使用時に押すと、マウスの左ボタンとして機能します。
⑫ 【ユーザー】ボタン	[設定]メニューの[ユーザーボタン]で設定した機能を実行します。
⑬ 【ページ】送り/戻しボタン	USBケーブルやネットワーク経由でプロジェクターとコンピューターを接続しているときに、コンピューター上のページを送り/戻しします。PC Free機能を使用しているときは、画像ファイルを送り/戻しします。

名称	働き
⑭ 【Eズーム】+/-ボタン	映像を拡大/縮小します。
⑮ 【A/Vミュート】ボタン	映像と音声を一時的に遮断/解除します。
⑯ 【2画面】ボタン	投写画面を分割して、2つの異なる機器の画面を同時に投写します。
⑰ 【ヘルプ】ボタン	ヘルプ画面を表示/終了します。
⑱ 【静止】ボタン	映像を一時停止/解除します。
⑲ 【音量】上げ/下げボタン	スピーカーから出力する音量を調整します。
⑳ 【ポインター】ボタン	投写中の映像にポインターを表示します。
㉑ 【戻る】ボタン	実行中の機能を終了します。 メニューを表示中に押すと、前のメニュー階層に戻ります。 ワイヤレスマウス機能を使用時に押すと、マウスの右ボタンとして機能します。
㉒ 【ID】ボタン	リモコンで操作対象のプロジェクターのIDを選択するときに、このボタンを押しながらテンキーボタンを押します。
㉓ 【カラーモード】ボタン	カラーモードを変更します。
㉔ 【MHLメニュー】ボタン	HDMI1/MHL端子に接続された機器の設定メニューを表示します。
㉕ 【LAN】ボタン	ネットワーク経由で接続している機器からの映像に切り替えます。
㉖ 【USB】ボタン	USBディスプレイとUSB-A端子からの映像に切り替えます。
㉗ 【入力検出】ボタン	映像信号が入力されている入力ソースに順番に切り替えます。
㉘ リモコン発光部	リモコン信号を出力します。

関連項目

- 「プロジェクターの各部名称と働き」 [p.12](#)
- 「フレームフィット機能で映像形状を自動で補正する」 [p.45](#)
- 「映像メニュー」 [p.137](#)
- 「映像のアスペクト比」 [p.60](#)
- 「リモコンでコンピューターのマウス操作をする」 [p.85](#)
- 「拡張設定メニュー」 [p.141](#)
- 「PC Free機能で投写する」 [p.74](#)
- 「2つの映像を同時に投写する」 [p.71](#)
- 「リモコンでポインターを表示する」 [p.86](#)
- 「カラーモード」 [p.62](#)
- 「ネットワーク上のプロジェクターを使用する」 [p.99](#)
- 「USBディスプレイを使用して投写する」 [p.54](#)



プロジェクターを準備する

プロジェクターの準備方法を説明します。

関連項目

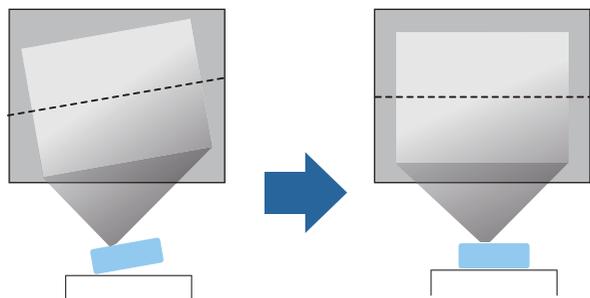
- 「プロジェクターの設置」 [p.19](#)
- 「プロジェクターを接続する」 [p.22](#)
- 「リモコンに電池を取り付ける」 [p.31](#)
- 「レンズカバーを開く」 [p.33](#)

平らな場所にプロジェクターを置いて映像を投写できます。

常に特定の位置に固定して使用するとき、天井にプロジェクターを取り付けることもできます。天井からプロジェクターを吊り下げるときは、オプションの天吊り金具が必要です。

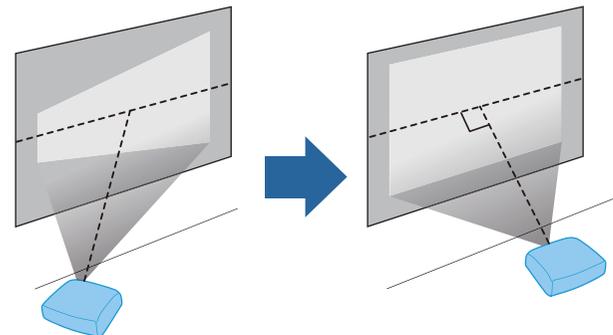
プロジェクターの設置位置を決めるときは、以下の点に注意してください。

- プロジェクターは水平で安定した場所に置くか、本製品に対応した金具を使用して取り付けます。



- 通気のためにプロジェクターの周囲に十分なスペースを確保します。通気の妨げになるものをプロジェクター上面や周囲に置かないでください。
- アース線や延長コードの届く範囲にプロジェクターを設置します。

- 投写面に対してプロジェクターを平行に設置します。



 投写面に対して平行に設置できないときは、台形ゆがみ補正機能を使って映像を補正します。

警告

- 天井からプロジェクターを吊り下げるときは、天吊り金具の取り付けが必要となります。プロジェクターを正しく設置しないと、落下により破損やけがの原因となることがあります。
- プロジェクターの天吊り固定部に、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などを使用しないでください。プロジェクターにそれらの溶剤が付着すると、プロジェクターのケースが割れ、天吊り金具からプロジェクターが落下するおそれがあります。
- 本機の吸気口・排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

注意

- 本機を縦置きして投写しないでください。故障の原因となります。
- 本機を標高1500 m以上の場所で使用するとき、[拡張設定]メニューの[高地モード]を[オン]にして、本機の内部温度が適切に調節されるようにしてください。
 - ☛ [拡張設定] > [動作設定] > [高地モード]

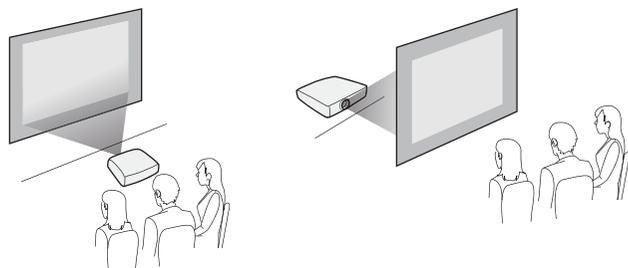
関連項目

- 「プロジェクターを準備する」 p.18
- 「プロジェクターの設置・取り付け」 p.20
- 「投写距離」 p.20
- 「映像の形状補正」 p.45
- 「拡張設定メニュー」 p.141

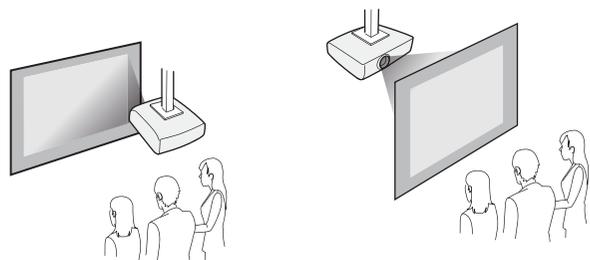
プロジェクターの設置・取り付け

本機は以下の方法で設置、取り付けできます。

フロント・リア



フロント・天吊り/リア・天吊り



天井または裏面から投写するときは、[拡張設定]メニューの[設置モード]を設定します。

関連項目

- 「プロジェクターの設置」 p.19
- 「設置モード」 p.42

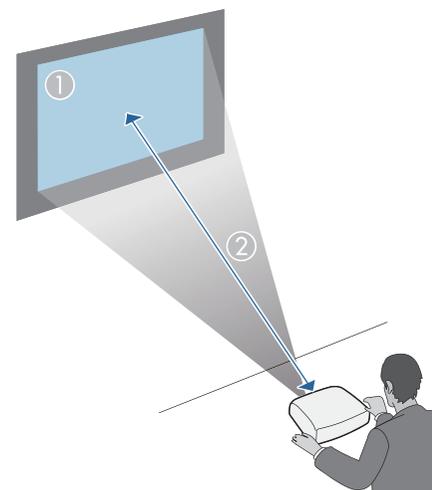
投写距離

本機からスクリーンまでの距離に応じて、映像のおおよその大きさが決まります。本機をスクリーンから遠ざけるほど、投写される映像は大きくなり、表示倍率、アスペクト比などの設定によっても大きさが変わります。

下図を参考にして、本機からスクリーンまでのおおよその距離を決めてください。



台形補正後は、映像が少し小さくなります。



① スクリーンサイズ(インチ)	② およその距離(m)
50	1.5
150	4.5

関連項目

- 「プロジェクターの設置」 [p.19](#)
- 「スクリーンサイズと投写距離」 [p.193](#)

コンピューター、携帯端末、ビデオ機器、オーディオ機器をプロジェクターに接続して、プレゼンテーション資料を投写したり、動画や画像を投写したりできます。また、音声をプロジェクターから出力することもできます。

- USB端子、映像出力端子、またはHDMI端子を搭載したコンピューターを接続できます。
- 動画を投写するときは、DVDプレーヤー、ゲーム機器、デジタルカメラ、スマートフォンなどの機器を接続します。
- プレゼンテーション資料や動画に音声が入っているときは、音声出力ケーブルを接続して本機から音声を出力できます。
- USB機器(USBメモリーやデジタルカメラ)、オプションのエプソン製書画カメラを接続すると、コンピューターを使用せずに映像を投写できます。

関連項目

- 「プロジェクターを準備する」 p.18
- 「コンピューターを接続する」 p.22
- 「スマートフォン・タブレットを接続する」 p.24
- 「ビデオ機器を接続する」 p.25
- 「USB機器を接続する」 p.27
- 「書画カメラを接続する」 p.29
- 「外部出力機器を接続する」 p.29

コンピューターを接続する

プロジェクターとコンピューターを接続します。

関連項目

- 「プロジェクターを接続する」 p.22

- 「USBケーブルを接続して映像と音声を出力する」 p.22
- 「コンピューターケーブルを接続して映像と音声を出力する」 p.23
- 「HDMIケーブルを接続して映像と音声を出力する」 p.23

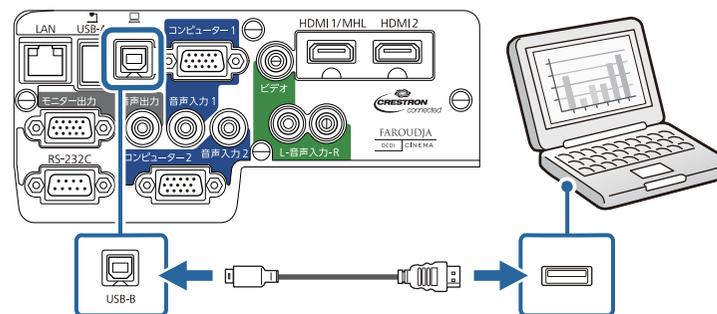
USBケーブルを接続して映像と音声を出力する

コンピューターのUSB端子(USB 2.0推奨)とプロジェクターを接続して、映像と音声をプロジェクターから出力します。この機能をUSBディスプレイといいます。本機とコンピューターは同梱のUSBケーブルで接続してください。



USBハブを使用すると、正しく動作しません。USBケーブルを直接本機に接続してください。

- 1 本機のUSB-B端子にUSBケーブルのType Bコネクターを接続します。



- 2 USBケーブルのTypeAコネクターをコンピューターのUSB端子に接続します。

関連項目

- 「コンピューターを接続する」 p.22
- 「USBディスプレイを使用して投写する」 p.54

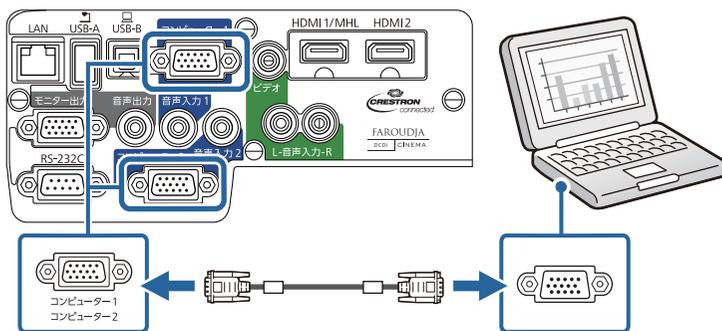
コンピューターケーブルを接続して映像と音声を出力する

同梱のコンピューターケーブルで、プロジェクターとコンピューターを接続します。市販の3.5ミリステレオミニジャックオーディオケーブルを接続することで、本機のスピーカーから音声を出力できます。



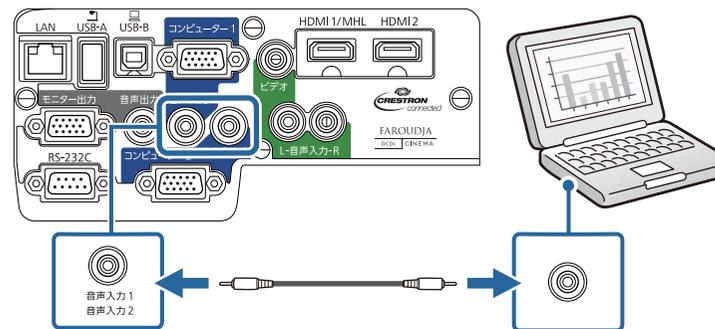
映像出力用のVGA端子を搭載していないMacをお使いのときは、VGA変換アダプターが必要です。お使いのMacに対応した変換アダプターは、Appleにお問い合わせください。

- 1 コンピューターの映像出力端子にコンピューターケーブルを接続します。
- 2 コンピューターケーブルのもう一方のコネクターを本機のコンピューター端子に接続します。



- 3 VGAコネクターのネジを締めます。

- 4 オーディオケーブルをコンピューターのヘッドフォン/スピーカージャックまたは音声出力端子に接続します。
- 5 オーディオケーブルのもう一方のコネクターを、コンピューターケーブルを接続したコンピューター端子に対応する音声入力端子に接続します。



関連項目

- 「コンピューターを接続する」 p.22

HDMIケーブルを接続して映像と音声を出力する

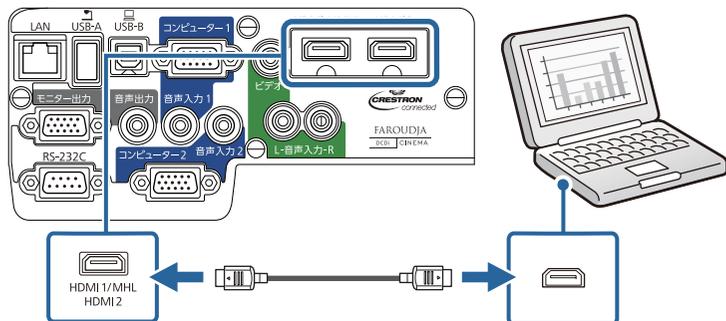
HDMI端子を搭載したコンピューターを使用しているときは、市販のHDMIケーブルでプロジェクターとコンピューターを接続して映像と音声を出力できます。



映像出力用のHDMI端子を搭載していないMacをお使いのときは、HDMI変換アダプターが必要です。お使いのMacに対応した変換アダプターは、Appleにお問い合わせください。2009年以前に発売されたMacはHDMI端子からの音声出力に対応していないことがあります。

- 1 コンピューターのHDMI出力端子にHDMIケーブルを接続します。

2 HDMIケーブルのもう一方のコネクターを本機のHDMI1/MHLまたはHDMI2端子に接続します。



HDMI接続時に出力される音声に問題があるときは、市販の3.5ミリステレオミニジャックオーディオケーブルで本機の音声入力端子とコンピューターの音声出力端子を接続します。[拡張設定]メニューの[HDMI1音声出力]、[HDMI2音声出力]で、オーディオケーブルを接続した入力端子を選択します。

☞ [拡張設定] > [AV出力設定]

関連項目

- 「コンピューターを接続する」 p.22
- 「拡張設定メニュー」 p.141

スマートフォン・タブレットを接続する

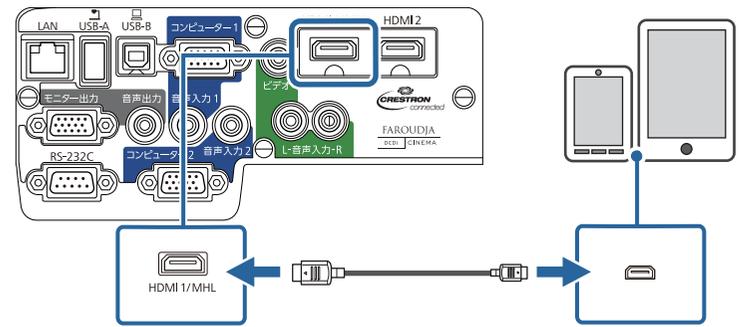
市販のMHLケーブルでスマートフォン、タブレットをプロジェクターに接続して、映像と音声を出力できます。

☞

- MHLケーブルの接続に対応していないスマートフォン、タブレットもあります。
- スマートフォン、タブレットの機種や設定によっては、正しく投写できないことがあります。

1 スマートフォン、タブレットのMHL端子にMHLケーブルを接続します。

2 MHLケーブルのもう一方のコネクターを本機のHDMI1/MHL端子に接続します。



注意

MHL規格に対応していないMHLケーブルを接続すると、スマートフォン、タブレットが高温になったり、液もれや破裂が生じたりするおそれがあります。

映像の投写中は、接続しているスマートフォン、タブレットが充電されます。市販のMHL-HDMI変換アダプターを使用して接続しているときは、スマートフォン、タブレットの充電や、プロジェクターのリモコンを使ったスマートフォン、タブレットの操作ができないことがあります。



映像が正しく投写されないときは、MHLケーブルを一度外し、再度接続します。

関連項目

- 「プロジェクターを接続する」 p.22

ビデオ機器を接続する

プロジェクターにビデオ機器を接続します。

注意

接続に使用するケーブルのコネクタの形状と向きを確認します。形状が合わないコネクタを無理に端子に押し込まないでください。お使いの機器、プロジェクターの破損や故障の原因になります。



接続する機器の端子が特有の形状をしているときは、その機器に同梱またはオプションのケーブルで接続してください。

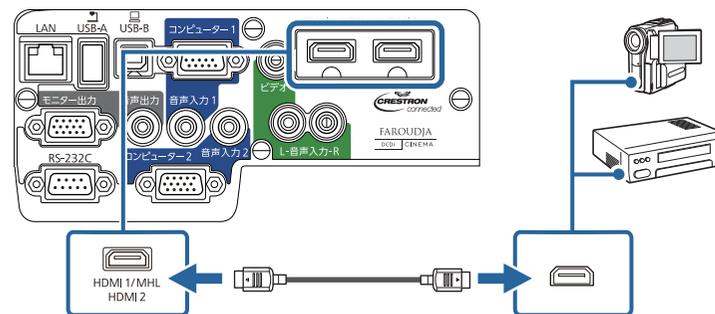
関連項目

- 「プロジェクターを接続する」 p.22
- 「HDMIケーブルで接続する」 p.25
- 「コンポーネント-VGAビデオケーブルで接続する」 p.26
- 「コンポジットケーブルで接続する」 p.26

HDMIケーブルで接続する

HDMI端子を搭載したビデオ機器を使用しているときは、市販のHDMIケーブルでプロジェクターとビデオ機器を接続して映像と音声を出力できます。

- 1 ビデオ機器のHDMI出力端子にHDMIケーブルを接続します。
- 2 HDMIケーブルのもう一方のコネクタを本機のHDMI1/MHLまたはHDMI2端子に接続します。



HDMI接続時に出力される音声中に問題があるときは、市販の3.5ミリステレオミニジャックオーディオケーブルで本機の音声入力端子とビデオ機器の音声出力端子を接続します。[拡張設定]メニューの[HDMI1音声出力]、[HDMI2音声出力]で、オーディオケーブルを接続した入力端子を選択します。

☞ [拡張設定] > [A/V出力設定]

関連項目

- 「ビデオ機器を接続する」 p.25
- 「拡張設定メニュー」 p.141

コンポーネント-VGAビデオケーブルで接続する

コンポーネントビデオ端子を搭載したビデオ機器を使用しているときは、オプションのコンポーネント-VGAビデオケーブルでプロジェクターとビデオ機器を接続できます。コンポーネント端子によっては、コンポーネントビデオケーブルに加えてアダプターケーブルが必要になることがあります。市販のステレオミニジャックオーディオケーブルまたはRCAオーディオケーブルを接続することで、本機のスピーカーから音声を出力できます。



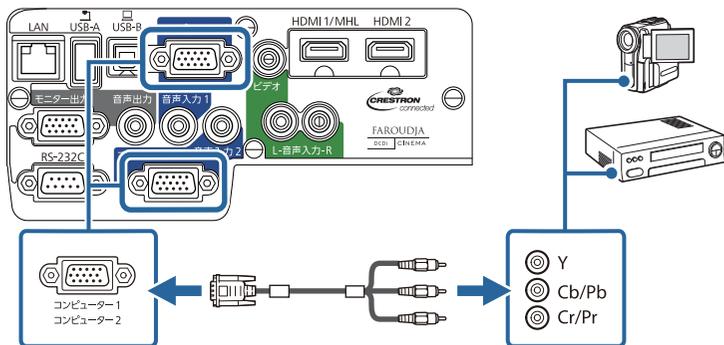
「抵抗なし」と表記されているオーディオケーブルをお使いください。

- 1 コンポーネントコネクタをビデオ機器のコンポーネントビデオ出力端子(緑、青、赤)に接続します。

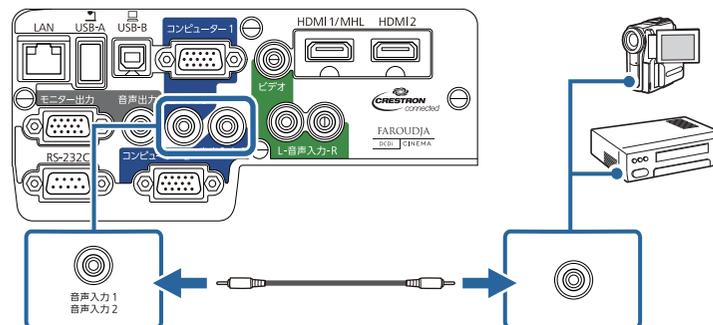


コンポーネントビデオ出力端子は、通常Y、Pb、PrまたはY、Cb、Crと表示されています。アダプターケーブルを使用するときは、コネクタをコンポーネントビデオケーブルに接続します。

- 2 VGAコネクタを本機のコンピューター端子に接続します。



- 3 VGAコネクタのネジを締めます。
- 4 ビデオ機器の音声出力端子にオーディオケーブルを接続します。
- 5 オーディオケーブルのもう一方のコネクタを、VGAコネクタを接続したコンピューター端子に対応する音声出力端子に接続します。



映像の色が正しく投写されないときは、[映像]メニューの[入力信号方式]を変更してください。

関連項目

- 「ビデオ機器を接続する」 p.25
- 「映像メニュー」 p.137

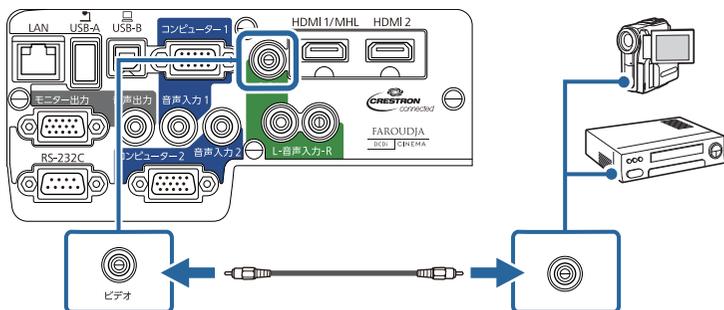
コンポジットケーブルで接続する

コンポジットビデオ端子を搭載したビデオ機器を使用しているときは、市販のRCAビデオケーブルまたはAVケーブルでプロジェクターとビデオ機器を接続できます。市販のRCAオーディオケーブルを接続することで、本機のスピーカーから音声を出力できます。

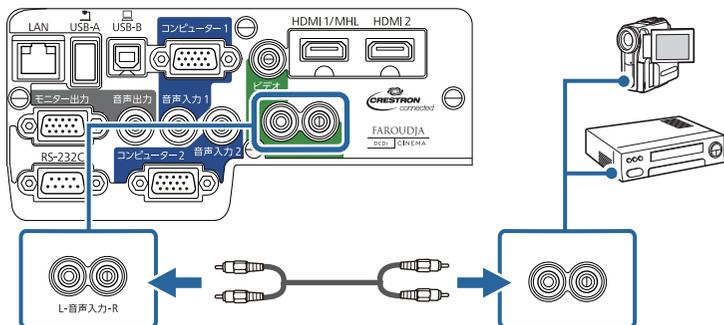


「抵抗なし」と表記されているオーディオケーブルをお使いください。

- 1** コンポジットケーブルの黄色のコネクタをビデオ機器のビデオ出力端子(黄)に接続します。
- 2** コンポジットケーブルのもう一方のコネクタを本機のビデオ端子に接続します。



- 3** ビデオ機器の音声出力端子にA/Vケーブルのコネクタ(赤、白)を接続します。
- 4** A/Vケーブルのもう一方のコネクタ(赤、白)を本機の音声入力(L/R)端子に接続します。



関連項目

- 「ビデオ機器を接続する」 [p.25](#)

USB機器を接続する

プロジェクターにUSB機器を接続します。

関連項目

- 「プロジェクターを接続する」 [p.22](#)
- 「USB機器のデータを投写する」 [p.27](#)
- 「USB機器またはカメラを接続する」 [p.28](#)
- 「USB機器またはカメラを取り外す」 [p.28](#)

USB機器のデータを投写する

以下のUSB機器をプロジェクターに接続すると、コンピューターやビデオ機器を接続しなくても映像を投写できます。

- USBメモリ
- デジタルカメラ、スマートフォン
- USBハードドライブ
- マルチメディアストレージビューワー
- USBメモリーカードリーダー

-  デジタルカメラ、スマートフォンはUSBマストストレージクラスに準拠したUSB機能が搭載されている必要があります。TWAIN準拠の機器は投写できません。
- USBハードドライブは以下の要件を満たしている必要があります。
 - USBマストストレージクラスに準拠していること(対応していないUSBマストストレージクラスの機器もあります)
 - フォーマット形式がFATまたはFAT32であること
 - USBハードドライブに付属のACアダプターから電源供給ができること(USBケーブルから電源供給を受けるハードドライブは推奨しません)
 - ハードドライブのパーティションは1つのみであること

PC Freeを使用して、USB機器、メモリーカードリーダー内の映像ファイルを投写できます。

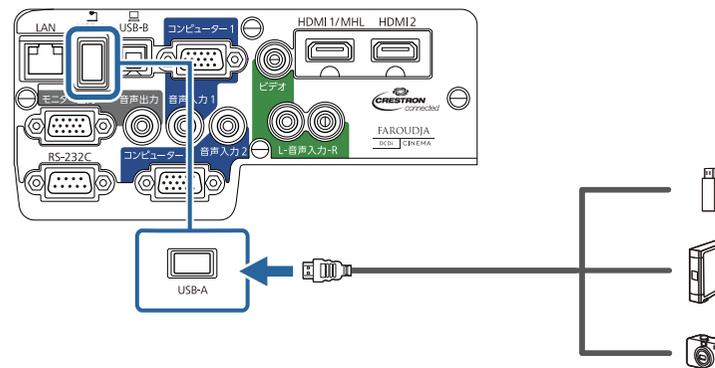
関連項目

- 「USB機器を接続する」 [p.27](#)
- 「PC Free機能で投写する」 [p.74](#)

USB機器またはカメラを接続する

USB機器、カメラをプロジェクターのUSB-A端子に接続して、映像を投写します。

- 1** USB機器に電源アダプターが付属しているときは、USB機器をコンセントに接続します。
- 2** 本機のUSB-A端子にUSBケーブル(またはUSBメモリー、USBメモリーカードリーダー)を接続します。



注意

- USB機器に付属のUSBケーブル、または指定されたUSBケーブルを使用してください。
- USBハブ、長さが3メートル以上のUSBケーブルを使用しないでください。機器が正しく動作しないことがあります。

3 USBケーブルのもう一方のコネクターをUSB機器に接続します。

関連項目

- 「USB機器を接続する」 [p.27](#)

USB機器またはカメラを取り外す

接続したUSB機器、カメラによる投写が終了したら、プロジェクターから機器を取り外します。

- 1** USB機器の電源を切り、電源アダプターを抜きます。
- 2** プロジェクターからUSB機器、カメラを取り外します。

関連項目

- 「USB機器を接続する」 [p.27](#)

書画カメラを接続する

エプソン製書画カメラをプロジェクターに接続して、カメラから読み込んだ映像を投写します。

接続方法は、お使いの書画カメラの機種によって異なります。詳しくは、書画カメラの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- 「プロジェクターを接続する」 [p.22](#)

外部出力機器を接続する

プロジェクターに外部出力機器を接続します。

関連項目

- 「プロジェクターを接続する」 [p.22](#)
- 「外部モニターを接続する」 [p.29](#)
- 「外部スピーカーを接続する」 [p.30](#)

外部モニターを接続する

プロジェクターのコンピューター端子にコンピューターを接続しているときに、接続した外部モニターに映像を表示します。これにより、本機

からの投写映像が見えないときでも、外部モニターに表示した映像を見ることができます。

本機の電源がオフの場合に外部モニターに映像を出力するときは、以下の設定が必要です。

- [節電]メニューで[待機モード]を[通信オン]に設定する。
- [拡張設定]メニューの[AV出力]を[常時]に設定する。

☛ [拡張設定] > [AV出力設定] > [AV出力]



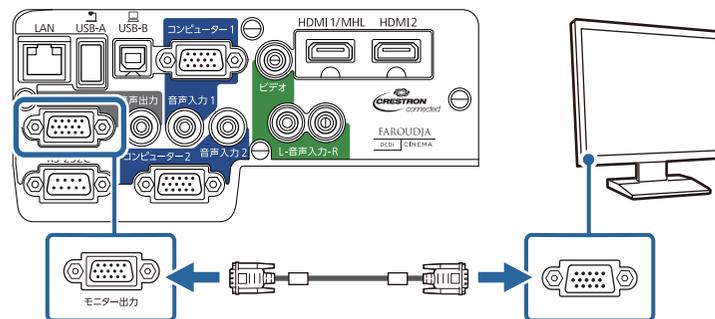
リフレッシュレートが60Hz以下のモニターを使用しているときは、映像が正しく表示できないことがあります。

- 1** 本機のコンピューター端子にコンピューターを接続します。コンピューター端子が2つ以上ある機種では、コンピューター1端子に接続してください。



外部モニターに出力できる映像は、コンピューター1端子から入力しているアナログRGB信号のみです。他の端子から入力している信号やコンポーネントビデオ信号は出力できません。

- 2** 本機のモニター出力端子に外部モニターのケーブルを接続します。



関連項目

- 「外部出力機器を接続する」 p.29
- 「節電メニュー」 p.152
- 「拡張設定メニュー」 p.141

外部スピーカーを接続する

外部スピーカーをプロジェクターに接続して、投写映像の音質を向上できます。本機のリモコンで音量を調整できます。

本機の電源がオフの場合に外部スピーカーから音声を出力するときは、以下の設定が必要です。

- [節電]メニューで[待機モード]を[通信オン]に設定する。
- [拡張設定]メニューの[AV出力]を[常時]に設定する。

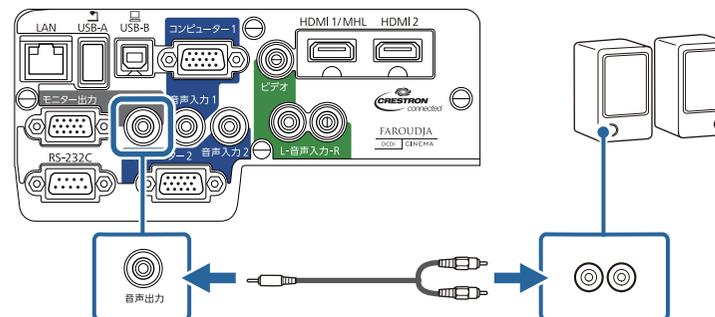
☛ [拡張設定] > [AV出力設定] > [AV出力]



- スピーカー付きのアンプも本機に接続できます。
- 外部スピーカーを接続しているときは、本機の内蔵スピーカーから音声が出力されません。

- 1 必要に応じてオーディオケーブル、ビデオケーブルを使用して、お使いのコンピューターやビデオ機器と本機が接続されていることを確認します。
- 2 ステレオミニジャック-ピンジャックケーブル、またはその他のケーブル、アダプターなど、外部スピーカーに接続するケーブルを用意します。
- 3 必要に応じて、接続ケーブルを外部スピーカーに接続します。

- 4 接続ケーブルのもう一方のコネクターを本機の音声出力端子に接続します。



関連項目

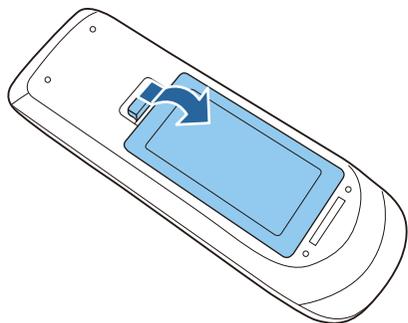
- 「外部出力機器を接続する」 p.29
- 「節電メニュー」 p.152
- 「拡張設定メニュー」 p.141

本機に付属の単3形電池2個をリモコンに取り付けます。

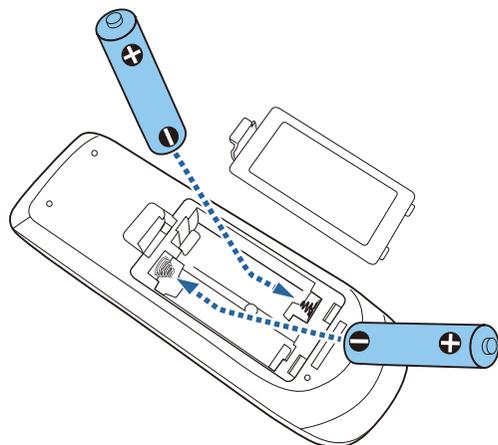
注意

電池を取り扱う前に、『安全にお使いいただくために』を必ずお読みください。

1 電池カバーを開きます。



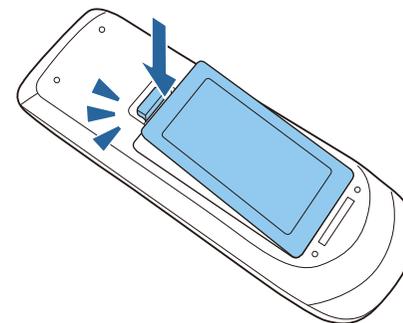
2 電池の+と-の向きを確認してリモコンにセットします。



警告

電池ホルダー内の表示を確認し、(+)(-)を正しく入れてください。電池の使い方を誤ると、電池の破裂・液もれにより、火災・けが・製品腐食の原因となることがあります。

3 電池カバーを閉め、カチッと音がするまで押し込みます。



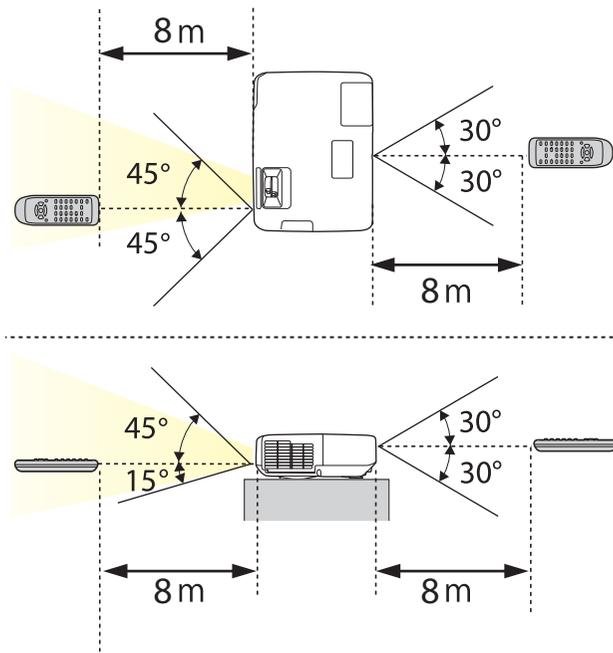
関連項目

- 「プロジェクターを準備する」 p.18
- 「リモコンを操作する」 p.31

リモコンを操作する

プロジェクターから8m以内の範囲内で、リモコンから本機を操作できます。

リモコンは、本機のリモコン受光部に対して下図の角度で使用してください。

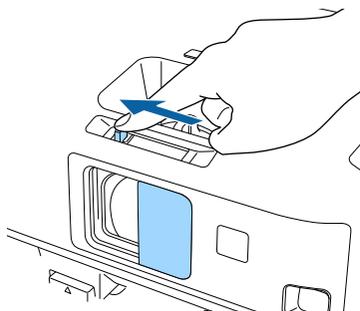


蛍光灯の強い光や直射日光が当たる環境ではリモコンを使用しないでください。プロジェクターが操作に反応しないことがあります。リモコンを長期間使用しないときは、電池を取り外しておきます。

関連項目

- 「リモコンに電池を取り付ける」 [p.31](#)

- 1** レンズカバー操作部をカチッと音がするまでスライドして、レンズカバーを開きます。



- 2** レンズを保護したり、一時的に映像と音声を消すときは、レンズカバーを閉じます。

関連項目

- 「プロジェクターを準備する」 [p.18](#)

プロジェクターの基本機能を使用する

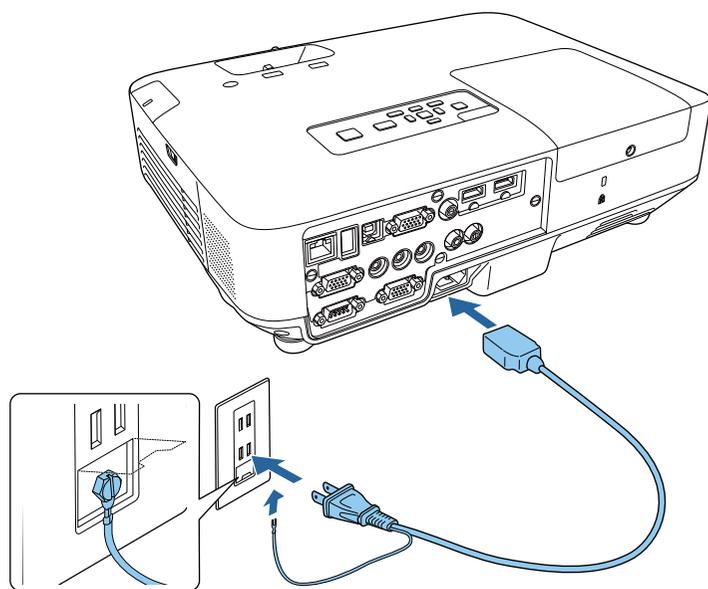
プロジェクターの基本機能を使用します。

関連項目

- 「プロジェクターの電源を入れる」 [p.35](#)
- 「プロジェクターの電源を切る」 [p.37](#)
- 「日時を設定する」 [p.39](#)
- 「メニューの言語を選択する」 [p.41](#)
- 「設置モード」 [p.42](#)
- 「映像の高さを調整する」 [p.44](#)
- 「映像の形状補正」 [p.45](#)
- 「ズームリングで映像を大きさを調整する」 [p.51](#)
- 「フォーカスリングで映像のピントを調整する」 [p.52](#)
- 「USBディスプレイを使用して投写する」 [p.54](#)
- 「投写映像を切り替える」 [p.58](#)
- 「映像のアスペクト比」 [p.60](#)
- 「カラーモード」 [p.62](#)
- 「映像の色合いを調整する」 [p.65](#)
- 「音量ボタンで音量を調整する」 [p.69](#)

プロジェクターの電源を入れた後、使用するコンピューターまたはビデオ機器の電源を入れます。

- 1 プロジェクターの電源端子に電源コードを接続します。
- 2 電源コードをコンセントに差し込みます。



警告

必ず接地接続を行ってください。接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

本機の電源インジケータが青色に点灯します(スタンバイ状態)。スタンバイ状態は、プロジェクターに電力が供給されていて、電源が入っていない状態です。

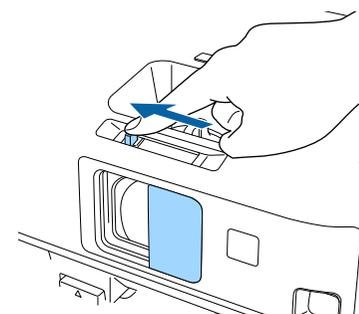
- 3 操作パネルまたはリモコンの電源ボタンを押して本機の電源を入れます。

確認音が鳴り、ステータスインジケータが青色に点滅します(ウォームアップ状態)。ウォームアップが終わると、ステータスインジケータが青色に点灯します。

警告

投写中は本機のレンズをのぞきこまないでください。目に損傷を与えるおそれがあります。特にお子様の行動にご注意ください。

- 4 本機のレンズカバーを開きます。



映像が投写されないときは、以下を試してください。

- レンズカバーが完全に開いていることを確認します。
- 接続されているコンピューターまたはビデオ機器の電源を入れます。
- ノート型コンピューターを使用するときは、コンピューターの画面出力を切り替えます。
- DVDなどのメディアを挿入して再生します。

- 操作パネルまたはリモコンの【入力検出】ボタンを押して入力ソースを検出します。
- リモコンで投写したい入力ソースに対応するボタンを押します。



• [拡張設定]メニューの[ダイレクトパワーオン]が[オン]に設定されているときは、本機に電源コードを接続したときに自動で電源が入ります。停電復旧時などにコンセントに電源プラグが差し込まれた状態になっていると、本機の電源がオンになりますのでご注意ください。

☛ [拡張設定] > [動作設定] > [ダイレクトパワーオン]

• [拡張設定]メニューの[オートパワーオン]が[コンピューター1]に設定されているときは、本機のコンピューター1端子に映像信号が入力されたときに自動で電源が入ります。(事前に[節電]メニューの[待機モード]が[通信オン]に設定されている必要があります。)

☛ [拡張設定] > [動作設定] > [オートパワーオン]

関連項目

- 「プロジェクターの基本機能を使用する」 [p.34](#)
- 「拡張設定メニュー」 [p.141](#)
- 「節電メニュー」 [p.152](#)

コンピューターの画面を見ながらコンピューターをシャットダウンできるようにするため、プロジェクターの電源を切る前にコンピューターをシャットダウンします。



本機を長くお使いいただくために、使用しないときは本機の電源を切ってください。ランプの寿命は、投写モード、環境条件、および使用状況によって異なります。投写映像の明るさは、投写時間の経過にしたがって低下します。

- 1 操作パネルまたはリモコンの電源ボタンを押します。
シャットダウン確認画面が表示されます。

電源を切りますか？

はい :  を押す

いいえ : 他のボタンを押す

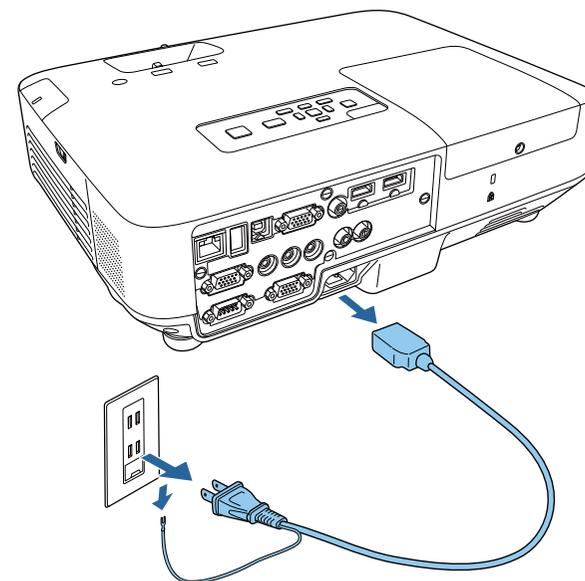
- 2 再度電源ボタンを押します。(電源を切らないときは、他のボタンを押します。)

確認音が2回鳴った後、投写映像が消え、ステータスインジケータが消灯します。



クールダウンの時間が必要ないので、本機をすぐに片付けたり移動したりできます。

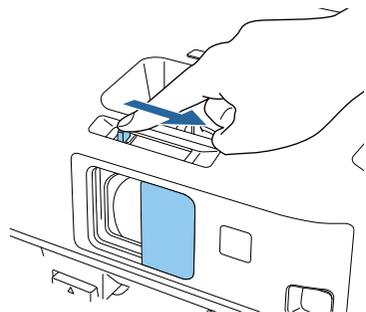
- 3 本機を搬送または保管するときは、電源インジケータが青色に点灯していることを確認してから電源コードを抜いてください。



注意

本機やランプの損傷を防ぐために、電源インジケータが青色に点滅しているときは、電源コードを抜かないでください。

- 4 プロジェクターのレンズカバーを閉めます。

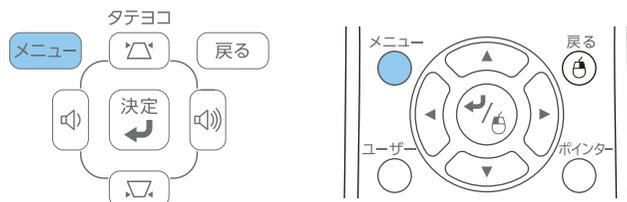


関連項目

- 「プロジェクターの基本機能を使用する」 [p.34](#)

プロジェクターの日時を設定します。

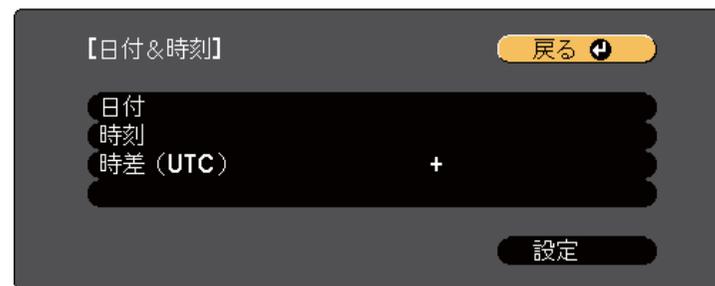
- 1 本機の電源を入れます。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。



- 3 【拡張設定】を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 4 【動作設定】を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 5 【日付&時刻】を選択し、【決定】ボタンを押します。
次の画面が表示されます。



- 6 【日付&時刻】を選択し、【決定】ボタンを押します。
次の画面が表示されます。



- 7 【日付】を選択し、【決定】ボタンを押します。表示されたスクリーンキーボードで本日の日付を入力します。
- 8 【時刻】を選択し、【決定】ボタンを押します。表示されたスクリーンキーボードで現在の時刻を入力します。
- 9 【時差(UTC)】を選択し【決定】ボタンを押して、協定世界時からの時差を設定します。
- 10 終了したら、【設定】を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 11 夏時間を有効にするときは、【夏時間設定】を選択し、【決定】ボタンを押します。表示された画面の各項目を設定します。

【夏時間設定】 戻る ◀

夏時間 オフ
夏時間調整 (分) 0

【夏時間開始】
月 0
週 0
曜日 月
時刻 0

【夏時間終了】
月 0
週 0
曜日 月
時刻 0

設定

関連項目

- 「プロジェクターの基本機能を使用する」 p.34

12 終了したら、[設定]を選択し、【決定】ボタンを押します。

13 インターネット時刻サーバーから自動的に時刻を設定するときは、[インターネット時刻]を選択し、【決定】ボタンを押します。表示された画面の各項目を設定します。

【インターネット時刻】 戻る ◀

インターネット時刻 オフ
インターネット時刻サーバー 0. 0. 0. 0

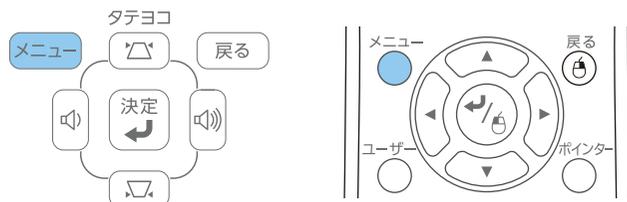
設定

14 終了したら、[設定]を選択し、【決定】ボタンを押します。

15 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

メニューおよびメッセージの言語を変更します。

- 1 本機の電源を入れます。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。



関連項目

- 「プロジェクターの基本機能を使用する」 p.34

- 3 【拡張設定】を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 4 【言語】を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 5 使用する言語を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 6 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

プロジェクターの設置方法によって、映像を適切に投写するために設置モードを変更します。

- [フロント] (デフォルト設定) : 机上に設置して、スクリーンの正面から投写します。
- [フロント・天吊り] : 天吊りまたは壁掛け設置して、映像を上下反転して投写します。
- [リア] : 映像を左右反転してリアスクリーンの裏側から投写します。
- [リア・天吊り] : 天吊りまたは壁掛け設置し、映像を上下左右反転してリアスクリーンの裏側から投写します。

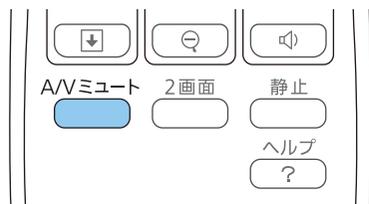
関連項目

- 「プロジェクターの基本機能を使用する」 p.34
- 「リモコンで設置モードを変更する」 p.42
- 「メニューから設置モードを変更する」 p.42
- 「プロジェクターの設置・取り付け」 p.20

リモコンで設置モードを変更する

設置モードを変更して、映像を上下反転します。

- 1 本機の電源を入れ、映像を表示します。
- 2 リモコンの【A/Vミュート】ボタンを5秒間押します。



映像が一時的に消え、上下反転して再度投写されます。

- 3 元の設置モードに戻すには、【A/Vミュート】ボタンをもう一度5秒間押します。

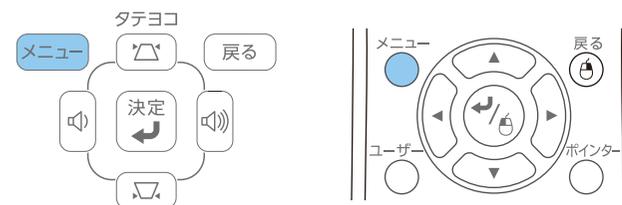
関連項目

- 「設置モード」 p.42

メニューから設置モードを変更する

メニューから設置モードを変更して、映像を上下左右反転します。

- 1 本機の電源を入れ、映像を表示します。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。



- 3 【拡張設定】を選択し、【決定】ボタンを押します。



関連項目

- 「設置モード」 p.42

4 【設置モード】を選択し、【決定】ボタンを押します。

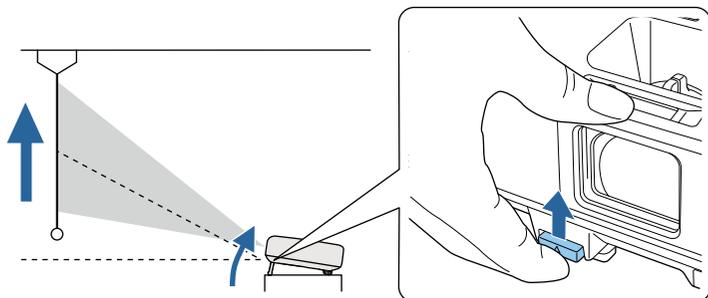


5 設置モードを選択し、【決定】ボタンを押します。

6 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

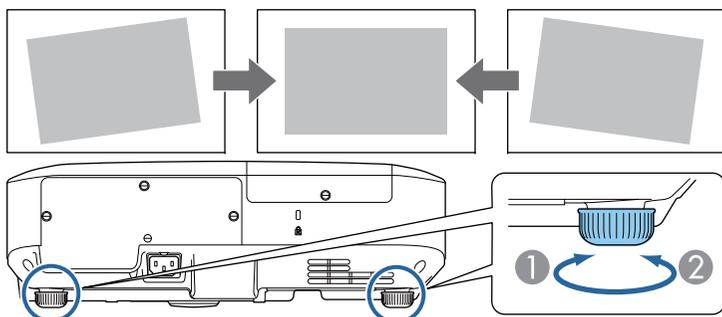
机上設置して投写している場合に映像の高さを調整したいときは、プロジェクターのフットを使って高さを調整します。傾斜角度が大きくなると、ピントが合いにくくなります。傾斜角度が小さくなるようにプロジェクターを設置してください。

- 1 本機の電源を入れ、映像を表示します。
- 2 フットレバーを押し上げ、本機の前面を持ち上げます。



プロジェクターからフロントフットが伸び出します。最大14度まで角度を調整できます。

- 3 フットレバーを放してフロントフットを固定します。
- 4 映像が傾いているときは、リアフットを回して左右の高さを調整します。



- 1 リアフットを伸ばす
- 2 リアフットを縮める

投写映像が台形にゆがむときは、映像の形状を補正します。

関連項目

- 「プロジェクターの基本機能を使用する」 [p.34](#)
- 「映像の形状補正」 [p.45](#)

スクリーンの正面にプロジェクターを設置し、水平にすることで、傾きやゆがみのない映像を投写できます。スクリーンに対して斜めにプロジェクターを設置したり、上下に傾けて設置したときは、映像の形状を補正します。

関連項目

- 「プロジェクターの基本機能を使用する」 p.34
- 「自動タテヨコ補正」 p.45
- 「フレームフィット機能で映像形状を自動で補正する」 p.45
- 「台形補正ボタンで映像のゆがみを補正する」 p.47
- 「Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する」 p.48

自動タテヨコ補正

プロジェクターを移動したり傾けたりしたときに、自動タテヨコ補正によってタテ方向・ヨコ方向の台形ゆがみが自動的に補正されます。

プロジェクターを動かすと、調整用の画面が表示された後に投写映像が自動的に補正されます。

自動タテヨコ補正で投写映像を正しく補正できる条件は、以下のとおりです。

- 投写距離が約1.5～3.0 m (EB-1985WU)
- 投写距離が約0.9～3.0 m (EB-1975W)
- 投写角度が左右約20°、上下約30°
- [拡張設定]メニューの[設置モード]が[フロント]に設定されていること



自動タテヨコ補正を機能させたくないときは、[設定]メニューの[自動タテヨコ補正]を[オフ]に設定します。

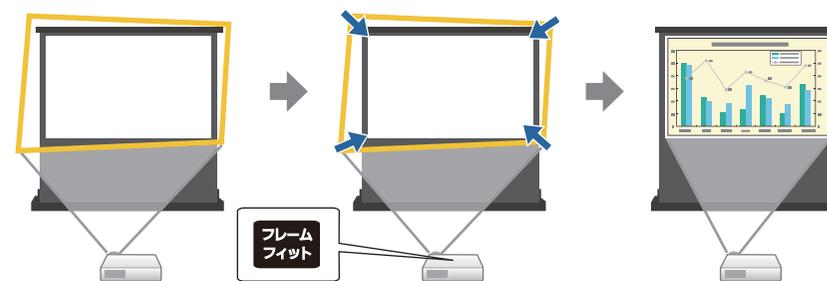
☛ [設定] > [台形補正] > [タテヨコ] > [自動タテヨコ補正]

関連項目

- 「映像の形状補正」 p.45
- 「設置モード」 p.42
- 「拡張設定メニュー」 p.141
- 「設定メニュー」 p.139

フレームフィット機能で映像形状を自動で補正する

フレームフィット機能を使用すると、スクリーンに合わせて映像の形状と位置を自動的に補正できます。



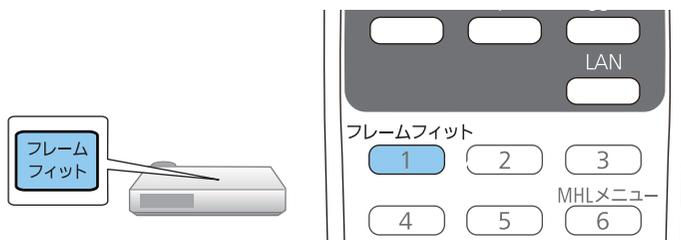
フレームフィットで投写映像を正しく補正できる条件は、以下のとおりです。

- 本機が天吊り設置されていないこと
- スクリーンのサイズが100インチ以下
- 投写距離が約1.5～3.0 m (EB-1985WU)
- 投写距離が約1.2～3.0 m (EB-1975W)

- 投写角度が左右約20°、上下約30°
- 部屋が暗すぎない
- 投写面に模様がなく、本機のセンサーが損傷していない

1 本機の電源を入れ、映像を表示します。

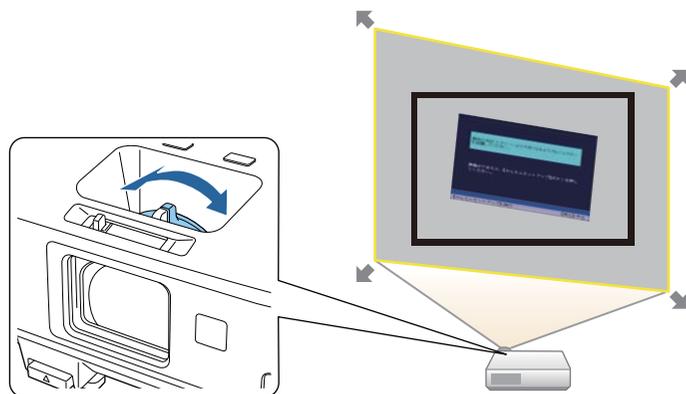
2 操作パネルまたはリモコンの【フレームフィット】ボタンを押します。



スクリーンにメッセージが表示されます。

3 必要に応じて本機の位置を移動して、メッセージがスクリーンの中央に表示されるようにします。

4 黄色の枠がスクリーン枠より大きくなるように、ズームリングで映像を拡大します。



- ズームを最大にしても黄色の枠がスクリーン枠より大きくなりえないときは、本機をスクリーンから遠ざけてください。
- フレームフィットは投写エリア内に2辺以上の枠を検知すると、検知した枠に合わせて補正します。せまい部屋で横長のスクリーンに投写するときなど、黄色の枠をスクリーン枠より大きくできないときは、スクリーンの上下の辺を投写エリア内に収めることで補正できます。



5 再度【フレームフィット】ボタンを押します。

調整用の画面が表示されたら、プロジェクターを動かしたり、映像を遮ったりしないでください。入力されている映像のアスペクト比に合わせて映像が補正された後、以下のメッセージが表示されます。

補正結果は本体操作パネルの ◀▶ で微調整
できます。

6 必要に応じて、操作パネルの台形補正/上下ボタンを押して映像を微調整します。

何も操作しないと、メッセージは約7秒後に消えます。

7 終了したら、【戻る】ボタンを押します。

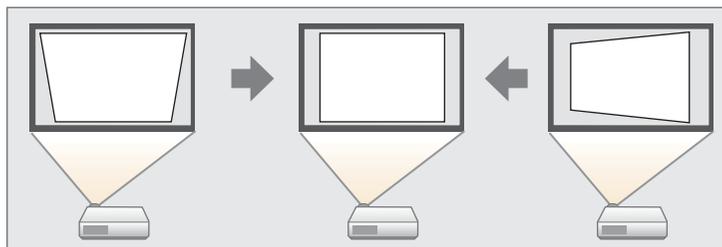
フレームフィット実行後は、[設定]メニューの[台形補正]が[Quick Corner]に設定されます。必要に応じて、操作パネルの台形補正/上下ボタンを押して、Quick Cornerで映像のコーナーを個別に補正できます。

関連項目

- 「映像の形状補正」 p.45
- 「設定メニュー」 p.139
- 「Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する」 p.48

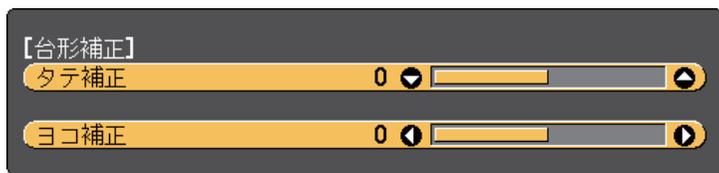
台形補正ボタンで映像のゆがみを補正する

台形補正/上下ボタンを押して、映像のゆがみを補正します。

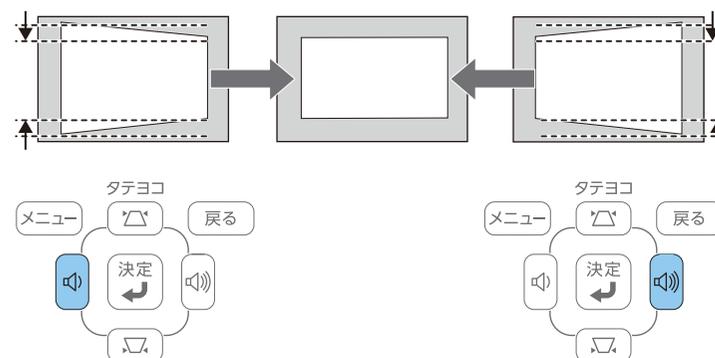
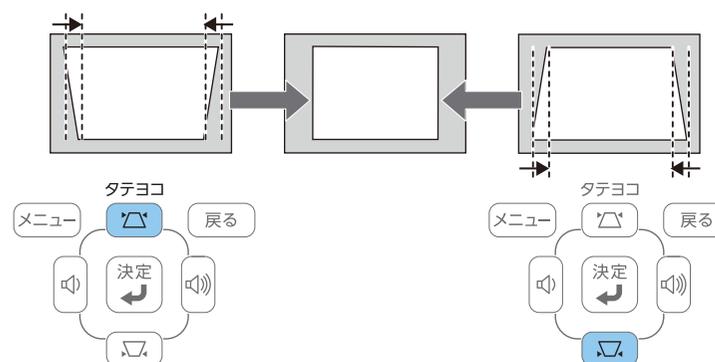


台形補正/上下ボタンで映像を補正できる条件は、投写角度が上下左右約30°のときです。

- 1 本機の電源を入れ、映像を表示します。
- 2 操作パネルの台形補正/上下ボタンを押して、台形補正画面を表示します。



- 3 台形補正/上下ボタンと音量/左右ボタンを押して映像の形状を調整します。



台形補正後は、映像が少し小さくなります。



手の届かない場所に本機が設置されているときは、リモコンの【メニュー】ボタンを押して、[設定]メニューの[タテヨコ]で映像を補正できます。

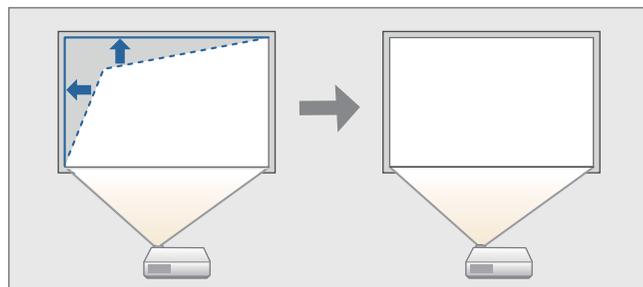
☞ [設定] > [台形補正] > [タテヨコ]

関連項目

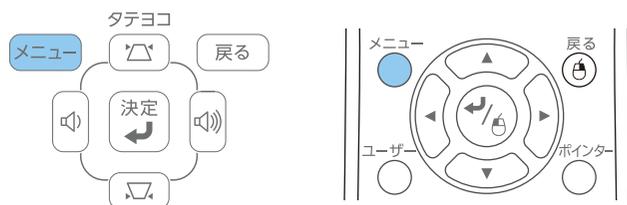
- 「映像の形状補正」 p.45
- 「設定メニュー」 p.139

Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する

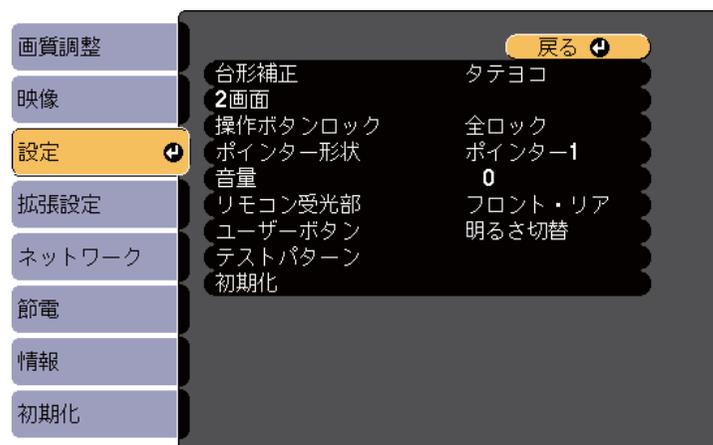
Quick Corner機能を使用して、映像のゆがみと大きさを補正します。



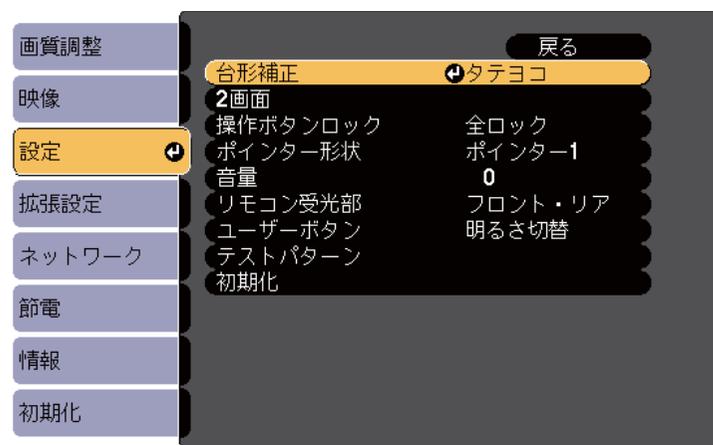
- 1 本機の電源を入れ、映像を表示します。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。



- 3 【設定】を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 4 【台形補正】を選択し、【決定】ボタンを押します。

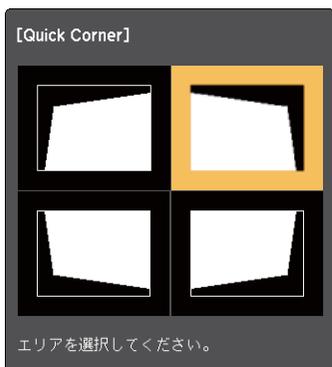


- 5 【Quick Corner】を選択し、【決定】ボタンを押します。必要に応じて【決定】ボタンをもう一度押します。



Quick Corner調整画面が表示されます。

- 6** 上下左右ボタンを押して、調整するコーナーを選択します。その後、【決定】ボタンを押します。



- 7** 上下左右ボタンを押して、映像の形状を調整します。【決定】を押すと、Quick Corner調整画面が表示されます。



- 以下の画面で、グレーの三角形で示される方向にはこれ以上調整できません。



- Quick Cornerで補正した結果を初期化するには、Quick Corner調整画面が表示されているときに【戻る】ボタンを約2秒間押し、【Quick Corner初期化】を選択します。映像の補正方法をタテヨコに切り替えるときは、【タテヨコへ切替】を選択します。



- 8** 手順6と7を繰り返して、調整が必要なすべてのコーナーを調整します。

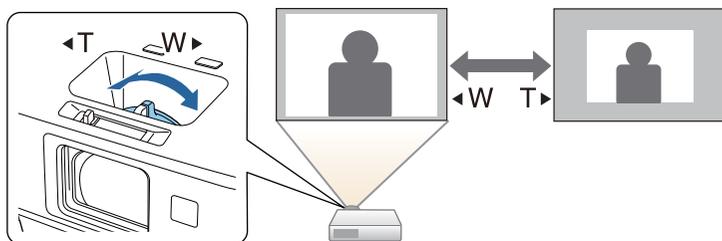
- 9** 終了したら、【戻る】ボタンを押します。

Quick Corner実行後は、[設定]メニューの[台形補正]が[Quick Corner]に設定されます。操作パネルの台形補正/上下ボタンを押したときは、Quick Corner調整画面が表示されます。

関連項目

- 「映像の形状補正」 [p.45](#)
- 「設定メニュー」 [p.139](#)

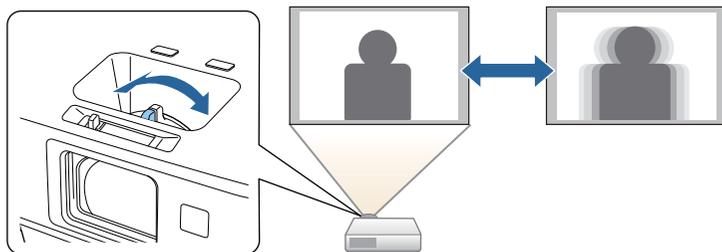
- 1 本機の電源を入れ、映像を表示します。
- 2 ズームリングを回して、映像を拡大/縮小します。



関連項目

- 「プロジェクターの基本機能を使用する」 [p.34](#)

フォーカスリングでピントのズレを補正します。

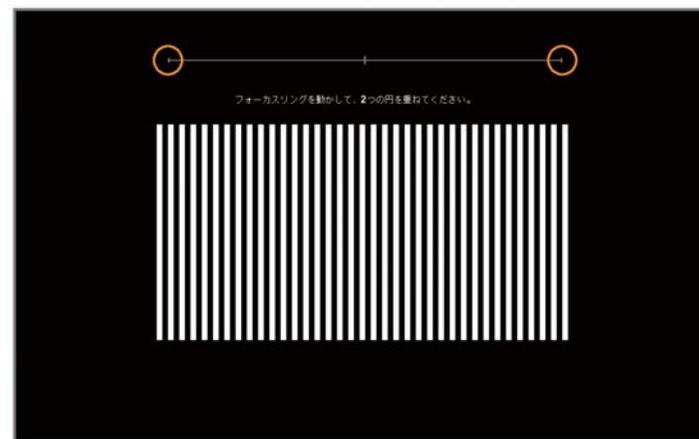


フォーカスヘルプ画面を表示して、ピントのズレを微調整することもできます。

フォーカスヘルプは、以下の条件を満たすときに使用できます。

- スクリーンのサイズが100インチ以下
- 投写距離が約1.5～3.0 m (EB-1985WU)
- 投写距離が約0.9～3.0 m (EB-1975W)
- 投写角度が左右約20°、上下約30°
- 投写環境が明るすぎない

- 1** 本機の電源を入れ、映像を表示します。
- 2** 操作パネルの【フォーカスヘルプ】ボタンを押して、フォーカスヘルプ画面を表示します。



- 3** 2つのオレンジ色の円が、フォーカスヘルプ画面の中央で重なり合うようにフォーカスリングを回します。



- 4** 【フォーカスヘルプ】ボタンまたは【戻る】ボタンを押して終了します。



関連項目

- 「プロジェクターの基本機能を使用する」 [p.34](#)

本機とコンピューターをUSBケーブルで接続して、映像の投写と音声を出します。

関連項目

- 「プロジェクターの基本機能を使用する」 [p.34](#)
- 「USBディスプレイのシステム要件」 [p.54](#)
- 「ドライバーをインストールする」 [p.55](#)
- 「ドライバーをアンインストールする」 [p.56](#)

USBディスプレイのシステム要件

USBディスプレイは以下の条件を満たすコンピューターで使用できます。

条件	Windows	Mac
OS	Windows 2000(Service Pack 4のみ)	OS X • Mac OS X 10.5.x(32ビット) • Mac OS X 10.6.x(32/64ビット) • OS X 10.7.x(32/64ビット) • OS X 10.8.x(64ビット) • OS X 10.9.x(64ビット)
	Windows XP • Professional(32ビット) • Home Edition(32ビット) • Tablet PC Edition(32ビット)	
	Windows Vista • Ultimate(32ビット) • Enterprise(32ビット) • Business(32ビット) • Home Premium(32ビット) • Home Basic(32ビット)	

条件	Windows	Mac
	Windows 7 • Ultimate(32/64ビット) • Enterprise(32/64ビット) • Professional(32/64ビット) • Home Premium(32/64ビット) • Home Basic(32ビット) • Starter(32ビット)	
	Windows 8 • Windows 8(32/64ビット) • Windows 8 Pro(32/64ビット) • Windows 8 Enterprise(32/64ビット)	
	Windows 8.1 • Windows 8.1(32/64ビット) • Windows 8.1 Pro(32/64ビット) • Windows 8.1 Enterprise(32/64ビット)	
CPU	Mobile Pentium III 1.2 GHz以上 (推奨: Pentium M 1.6 GHz以上)	Power PC G4 1 GHz以上 (推奨: Core Duo 1.83 GHz以上)
メモリー容量	256 MB以上 (推奨: 512 MB以上)	512 MB以上
ハードディスク空き容量	20 MB以上	
ディスプレイ	640 × 480から1920 × 1200までの解像度 16ビットカラー以上	640 × 480から1920 × 1200までの解像度 16ビットカラー以上

関連項目

- 「USBディスプレイを使用して投写する」 p.54

ドライバーをインストールする

本機とコンピューターをUSBケーブルで初めて接続したときは、ドライバーのインストールが必要です。次回接続時は、ドライバーのインストールは不要です。



本機に複数の機器を接続しているときは、入力ソースをUSB Displayに切り替えます。

- 1** コンピューターのUSB端子と本機のUSB-B端子をUSBケーブルで接続します。



お使いのコンピューターがWindows 2000またはWindows XPの場合にコンピューターの再起動を促すメッセージが表示されたときは、[いいえ]を選択します。

- 2** 以下のいずれかの操作でドライバーをインストールします。

- Windows 2000の場合：[コンピューター] > [EPSON_PJ_UD] > [EMP_UDSE.EXE]の順にダブルクリックします。
- Windows XPの場合：自動的にインストールが開始されます。



自動的にインストールされないときは、[マイコンピュータ] > [EPSON_PJ_UD] > [EMP_UDSE.EXE]の順にダブルクリックします。

- Windows Vista/Windows 7/Windows 8/Windows 8.1の場合：ダイアログボックスが表示されたら[EMP_UDSE.EXEの実行]をクリックします。
- OS Xの場合：USBディスプレイの[セットアップ]フォルダーが[Finder]に表示されます。[USB Display Installer]アイコンをダブルクリックし、画面の指示に従います。



USBディスプレイの[セットアップ]フォルダーが自動的に表示されないときは、[EPSON_PJ_UD] > [USB Display Installer]の順にダブルクリックします。

- 3** 画面の指示に従います。

しばらくすると、コンピューターの映像が投写されます。映像が投写されるまでは、USBケーブルを抜いたりプロジェクターの電源を切ったりしないでください。



映像が投写されないときは、以下のいずれかの操作を行います。

- Windowsの場合：[すべてのプログラム] > [EPSON Projector] > [Epson USB Display] > [Epson USB Display Ver.x.xx]の順にクリックします。
- OS Xの場合：[Dock]の[USB Display]アイコンをクリックします。

- 4** 投写が終了したら、以下のいずれかの操作を行います。

- Windowsの場合：USBケーブルを取り外します。[ハードウェアの安全な取り外し]を使用する必要はありません。
- OS Xの場合：メニューバーまたは[Dock]の[USB Display]アイコンメニューから[切断]を選択し、USBケーブルを取り外します。



- Windows 2000搭載のコンピューターをユーザー権限でお使いのときは、Windowsのエラーメッセージが表示され使用できないことがあります。Windowsをアップデートして最新の状態にし、コンピューターを再起動してから再度接続し直してください。詳細はお買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
- [USB Display]アイコンが[Dock]に表示されないときは、[アプリケーション]フォルダーの[USB Display]をダブルクリックします。
- [Dock]の[USB Display]アイコンメニューで[終了]を選択すると、次回USBケーブルを接続したときにUSBディスプレイは自動的に開始されません。
- 解像度がWUXGA(1920 × 1200)のプロジェクターで投写中にコンピューターの解像度を変更すると、映像の品質が低下することがあります。

関連項目

- 「USBディスプレイを使用して投写する」 [p.54](#)
- 「投写映像を切り替える」 [p.58](#)
- 「USBケーブルを接続して映像と音声を出力する」 [p.22](#)

ドライバーをアンインストールする

ドライバーをアンインストールします。

関連項目

- 「USBディスプレイを使用して投写する」 [p.54](#)
- 「ドライバーをアンインストールする (Windows 2000)」 [p.56](#)
- 「ドライバーをアンインストールする (Windows XP/Windows Vista/Windows 7)」 [p.56](#)

- 「ドライバーをアンインストールする (Windows 8/Windows 8.1)」 [p.57](#)
- 「ドライバーをアンインストールする (OS X)」 [p.57](#)

ドライバーをアンインストールする(Windows 2000)

- 1** [スタート] - [設定] - [コントロールパネル]の順にクリックします。
- 2** [プログラムの追加と削除]をダブルクリックします。
- 3** [プログラムの変更と削除]をクリックします。
- 4** [Epson USB Display]を選択し、[変更と削除]をクリックします。

関連項目

- 「ドライバーをアンインストールする」 [p.56](#)

ドライバーをアンインストールする(Windows XP/Windows Vista/Windows 7)

- 1** [スタート] - [コントロールパネル]の順にクリックします。
- 2** 以下のいずれかの操作を行います。
 - Windows XPの場合：[プログラムの追加と削除]をダブルクリックします。
 - Windows Vista/Windows 7の場合：[プログラム]の[プログラムのアンインストール]をクリックします。

3 [Epson USB Display]を選択し、次のいずれかを行います。

- Windows XPの場合：[削除]をクリックします。
- Windows Vista/Windows 7の場合：[アンインストール]をクリックします。

関連項目

- 「ドライバーをアンインストールする」 [p.56](#)

ドライバーをアンインストールする(Windows 8/Windows 8.1)

1 チャームの[検索]を選択し、[Epson USB Display]を検索します。

2 [Epson USB Display Ver.x.xx]を右クリック(長押し)します。

3 アプリバーから[アンインストール]を選択します。

4 [Epson USB Display]を選択し、[アンインストール]をクリックします。

5 画面の指示に従って、アンインストールを進めます。

関連項目

- 「ドライバーをアンインストールする」 [p.56](#)

ドライバーをアンインストールする(OS X)

1 [アプリケーション] - [USB Display] - [ツール]の順にダブルクリックします。

2 [USB Display Uninstaller]をダブルクリックし、画面の指示に従ってアンインストールします。

関連項目

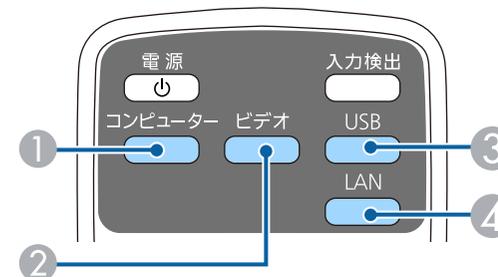
- 「ドライバーをアンインストールする」 [p.56](#)

コンピューターとDVDプレーヤーなど複数の機器をプロジェクターに接続しているときは、投写する映像を切り替えます。

- 1 接続機器の電源が入っていることを確認します。
- 2 ビデオ機器の映像を投写するときは、DVDなどのメディアを挿入して再生します。
- 3 以下のいずれかの操作を行います。
 - 目的の機器からの映像が表示されるまで、操作パネルまたはリモコンの【入力検出】ボタンを押します。



- リモコンで、投写したい入力ソースのボタンを押します。押ししたボタンに対応する入力ソースが複数あるときは、ボタンを再度押して入力ソースを切り替えます。



- 1 コンピューター入力ソース(コンピューター1およびコンピューター2端子)
- 2 ビデオおよびHDMI/MHL入力ソース(ビデオ、HDMI1/MHL、およびHDMI2端子)
- 3 USB入力ソース(USB-AおよびUSB-B端子)
- 4 ネットワーク入力ソース(LANおよびScreen Mirroring)



映像信号が検出されないときは、以下の画面が表示されます。本機と接続機器が正しく接続されていることを確認してください。

【入力検出】

	映像信号
 コンピューター1	なし
 コンピューター2	なし
 ビデオ	なし
 HDMI1	なし
 HDMI2	なし
 USB Display	なし
 USB	なし
 LAN	なし
 Screen Mirroring	なし

・映像信号を入力してください。
・ ボタンで入力ソースを選択できます。

関連項目

- 「プロジェクターの基本機能を使用する」 [p.34](#)

本機はさまざまな縦横比(アスペクト比)で映像を表示できます。通常は、接続機器からの入力信号によって映像のアスペクト比が決まります。一部の入力信号では、映像をスクリーンに合わせるために、リモコンでアスペクト比を切り替えることができます。

常に特定のアスペクト比で投写するときは、[映像]メニューでアスペクトを設定します。

関連項目

- 「プロジェクターの基本機能を使用する」 p.34
- 「映像のアスペクト比を切り替える」 p.60
- 「アスペクトモードの種類」 p.60
- 「各アスペクトモードの投写イメージ」 p.61
- 「映像メニュー」 p.137

映像のアスペクト比を切り替える

投写する映像のアスペクト比を切り替えます。

- 1 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。
- 2 リモコンの【アスペクト】ボタンを押します。



- 3 投写中の入力信号で設定可能なアスペクト比を順に切り替えるときは、【アスペクト】ボタンを繰り返し押します。



投写映像に黒帯が発生するときは、コンピューターの解像度に合わせて[映像]メニューの[入力解像度]を[ワイド]または[ノーマル]に設定してください。

関連項目

- 「映像のアスペクト比」 p.60
- 「映像メニュー」 p.137

アスペクトモードの種類

接続機器からの入力信号に応じて、以下のアスペクト比を選択できます。



入力信号のアスペクト比と解像度によっては、黒帯が発生したり、映像の端が欠けたりすることがあります。

アスペクト比の設定	説明
オート	入力信号と[入力解像度]の設定に従って、アスペクト比が自動的に設定されます。
ノーマル	入力信号のアスペクト比を維持し、投写エリア全体に映像を表示します。
16:9	入力信号のアスペクト比が16:9に変換されます。
フル	入力信号のアスペクト比を維持せずに、投写エリアの横幅全体に映像を表示します。
ズーム	入力信号のアスペクト比を維持し、投写エリア全体に映像を表示します。

アスペクト比の設定	説明
リアル	入力信号のアスペクト比と解像度を維持して表示します。



【オート】は、入力ソースがHDMIのときのみ使用できます。

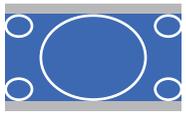
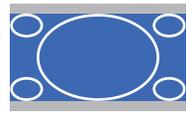
関連項目

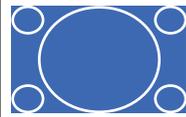
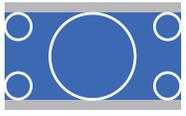
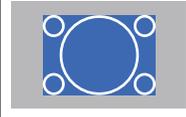
- 「映像のアスペクト比」 [p.60](#)

各アスペクトモードの投写イメージ

入力信号のアスペクト比と解像度によっては、特定のアスペクトモードで黒帯が発生したり、映像の端が欠けたりすることがあります。黒帯が発生する領域と映像の欠けが発生する領域は、以下の表をご覧ください。

解像度WUXGA(1920 × 1200)またはWXGA(1280 × 800)対応プロジェクターの場合

アスペクトモード	入力信号のアスペクト比		
	16:10	16:9	4:3
ノーマル オート			
16:9			

アスペクトモード	入力信号のアスペクト比		
	16:10	16:9	4:3
フル			
ズーム			
リアル			



【リアル】を選択したときのイメージは、入力信号の解像度によって異なることがあります。

関連項目

- 「映像のアスペクト比」 [p.60](#)

本機には、投写環境や映像の種類に応じて、明度、コントラスト、色を最適化するためのカラーモードを用意しています。環境や映像の種類に合ったカラーモードを選択したり、お好みでカラーモードを変更したりできます。

関連項目

- 「プロジェクターの基本機能を使用する」 [p.34](#)
- 「カラーモードを変更する」 [p.62](#)
- 「カラーモードの種類」 [p.62](#)
- 「オートアイリスを設定する」 [p.63](#)

カラーモードを変更する

リモコンでカラーモードを変更して、映像を最適化します。

- 1** 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。
- 2** リモコンの【カラーモード】ボタンを押してカラーモードを切り替えます。



映像の表示が切り替わり、カラーモードの名称が一時的に投写画面に表示されます。

- 3** 投写中の入力信号で選択できるカラーモードを順に切り替えるには、【カラーモード】ボタンを繰り返し押します。



カラーモードは[画質調整]メニューの[カラーモード]でも設定できます。

関連項目

- 「カラーモード」 [p.62](#)
- 「画質調整メニュー」 [p.135](#)

カラーモードの種類

投写している映像の種類に応じて、以下のカラーモードを設定できます。

カラーモード	説明
プレゼンテーション	明るい部屋でカラー映像を投写したプレゼンテーションに最適です。
ダイナミック	明るい部屋での投写に最適です。
シアター	暗い部屋で映画を投写するのに最適です。
スポーツ	明るい部屋でテレビ映像を投写するのに最適です。
sRGB	sRGBに準拠したコンピューターの映像を投写するのに最適です。
黒板	緑色の黒板に投写するとき最適です。(投写映像の色を自動補正)
ホワイトボード	ホワイトボードに投写するとき最適です。(投写映像の色を自動補正)

カラーモード	説明
フォト	明るい部屋で写真などの静止画を投写するのに最適です。
DICOM SIM	エックス線写真などの医用画像を投写するのに最適です。



本機は医療機器ではありませんので、[DICOM SIM]を医療診断の用途ではご利用いただけません。

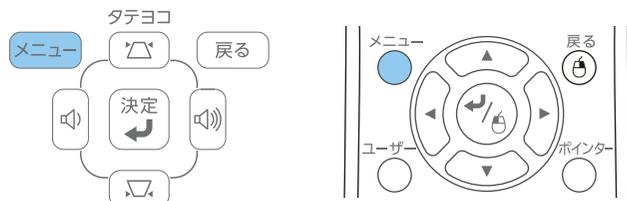
関連項目

- 「カラーモード」 p.62

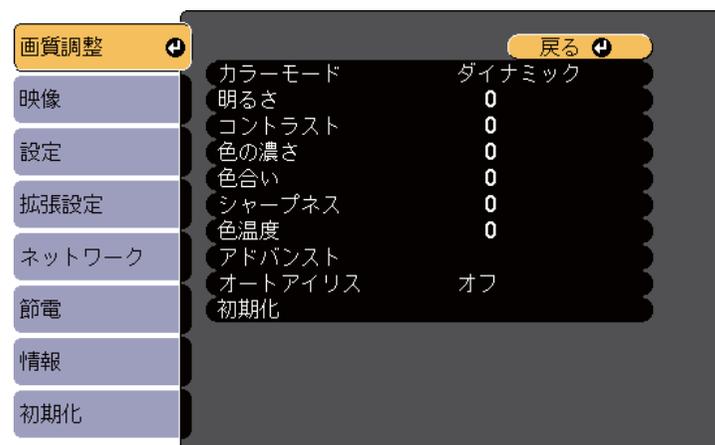
オートアイリスを設定する

カラーモードが[ダイナミック]または[シアター]のとき、映像の明るさに応じて映像を自動的に最適化します。

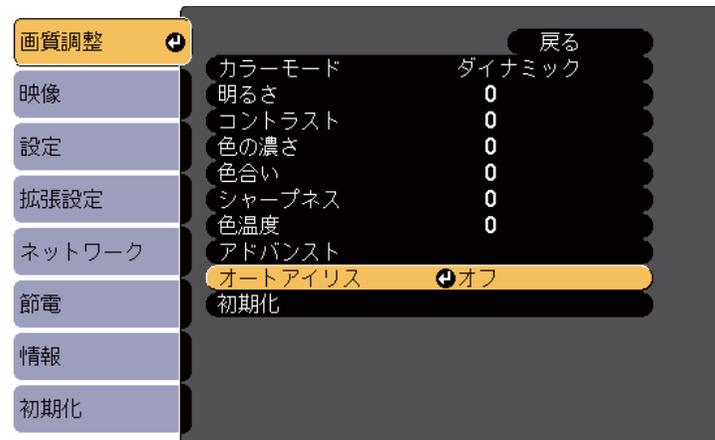
- 1 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。



- 3 【画質調整】を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 4 【オートアイリス】を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 5 以下のいずれかを選択し、【決定】ボタンを押します。

- [高速]：シーンが切り替わったとき、すぐに光量を調整します。
- [標準]：標準の光量調整が行われます。

- 6 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

関連項目

- 「カラーモード」 [p.62](#)

投写映像の色合いを複数の方法で微調整できます。

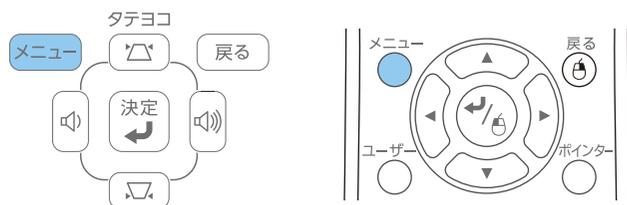
関連項目

- 「プロジェクターの基本機能を使用する」 p.34
- 「色相、彩度、明度を調整する」 p.65
- 「ガンマを調整する」 p.66

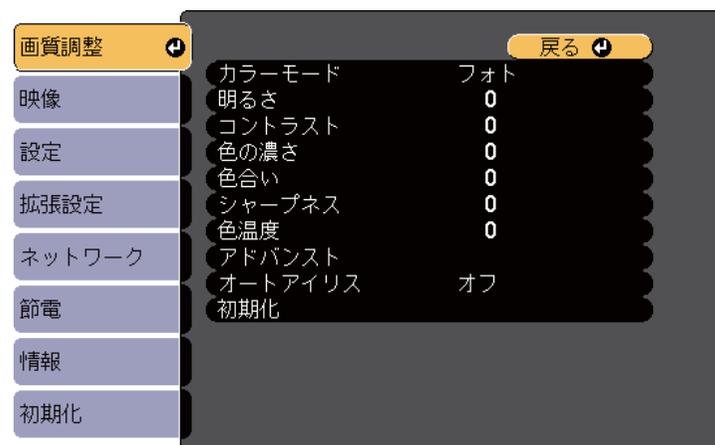
色相、彩度、明度を調整する

映像の色相、彩度、明度を調整します。

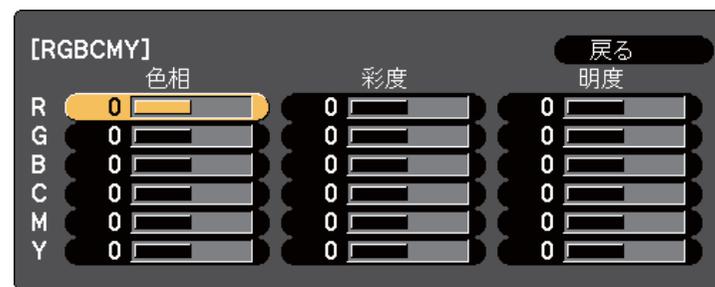
- 1 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。



- 3 【画質調整】を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 4 【アドバンスト】を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 5 【RGBCMY】を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 6 R(赤)、G(緑)、B(青)、C(シアン)、M(マゼンタ)、Y(イエロー)のそれぞれについて、必要に応じて以下を調整します。
 - [色相]：映像全体の色味を、青系～緑系～赤系へと調整します。
 - [彩度]：映像全体の鮮やかさを調整します。
 - [明度]：映像全体の明るさを調整します。



- 7 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

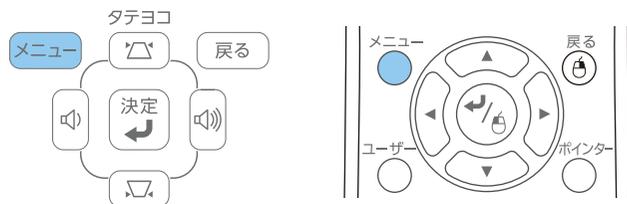
関連項目

- 「映像の色合いを調整する」 p.65

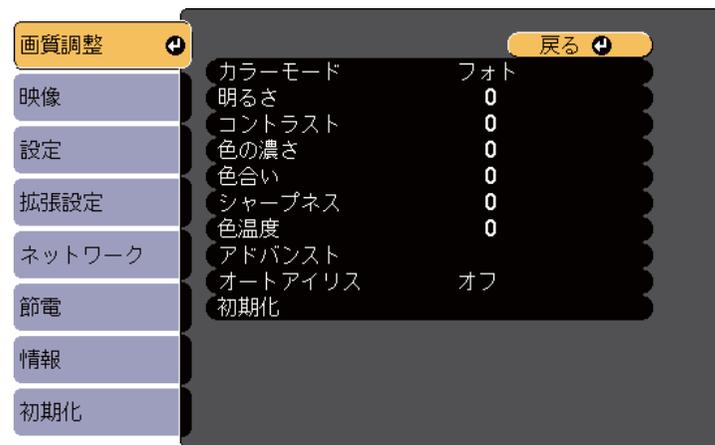
ガンマを調整する

ガンマを調整することにより、接続機器の違いにより生じる投写映像の発色の違いを調整します。

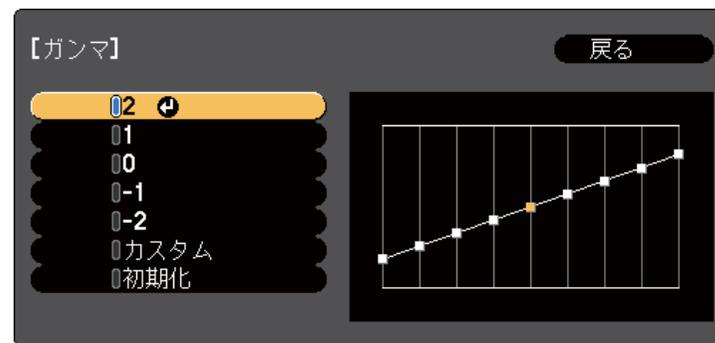
- 1 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。



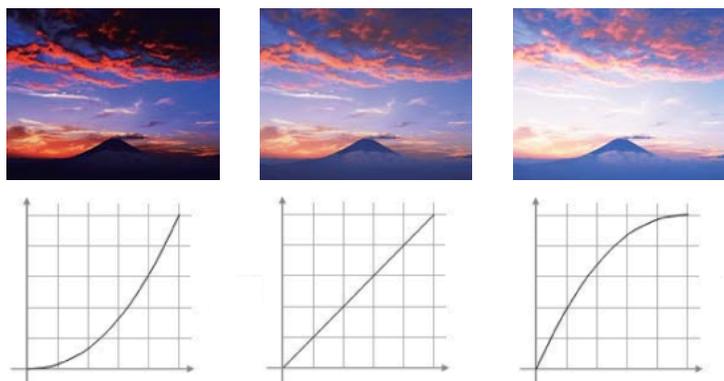
- 3 【画質調整】を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 4 【アドバンスト】を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 5 【ガンマ】を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 6 補正値を選んで調整します。



数値が小さいほど、映像全体の明るさを抑えてメリハリのある映像になります。数値が大きいと、映像の暗い部分が明るくなり、明るい部分は色の濃淡が小さくなります。

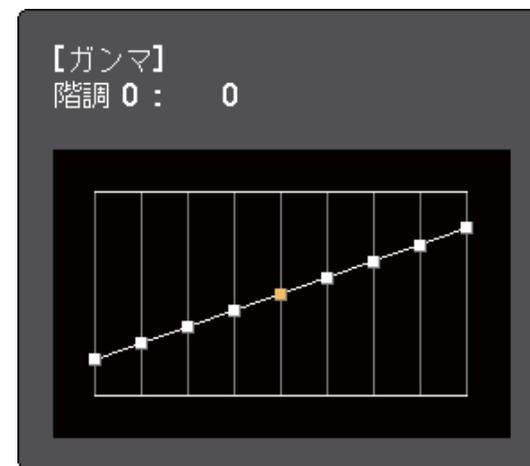
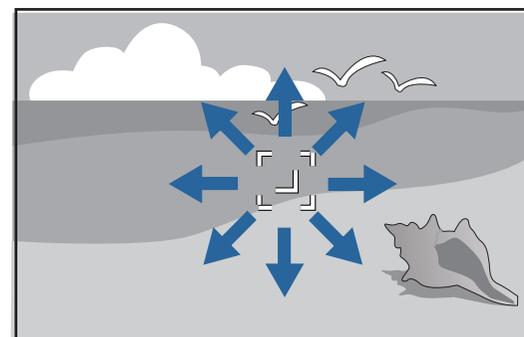


- [画質調整]メニューの[カラーモード]で[DICOM SIM]を選択したときは、投写サイズに応じた補正值を選択します。
 - ・投写サイズが120インチ以下：より大きい数値を選択します。
 - ・投写サイズが120インチ以上：より小さい数値を選択します。
- 本機の設置環境やスクリーンの仕様によっては、医用画像を正しく再現できないことがあります。

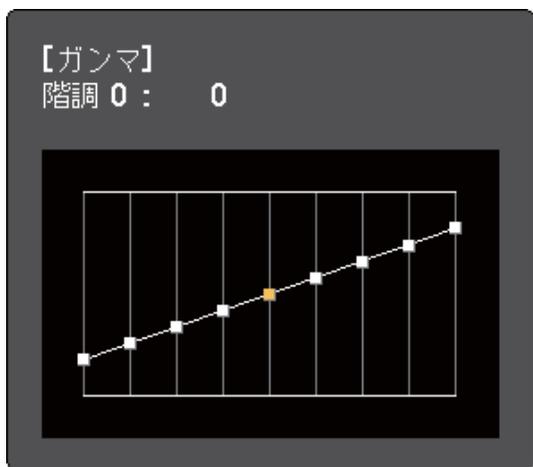
7 調整の精度を上げるには、[カスタム]を選択し、【決定】ボタンを押します。

8 以下のいずれかの方法で映像を調整します。

- 映像を見ながら調整するには、[映像から調整する]を選択します。投写中の映像に表示されるカーソルで明るさを変更したい場所を選択して、【決定】ボタンを押します。選択された階調を上下ボタンで調整し、【決定】ボタンを押します。



- ガンマ調整グラフを使用して調整するには、[グラフから調整する]を選択します。左右ボタンで変更したい階調を選択します。選択された階調を上下ボタンで調整し、【決定】ボタンを押します。



- 9** 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

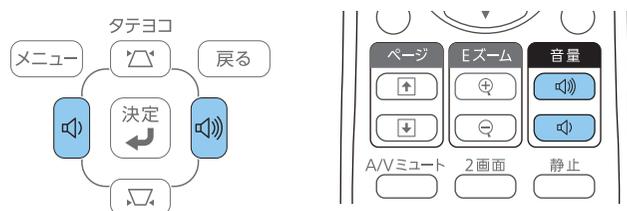
関連項目

- 「映像の色合いを調整する」 [p.65](#)
- 「画質調整メニュー」 [p.135](#)

音量ボタンは、プロジェクターの内蔵スピーカーまたはプロジェクターに接続した外部スピーカーの音量を調整します。

音量は接続した入力ソースごとに調整する必要があります。

- 1 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【音量】ボタンを押して、音量を調整します。



音量調節画面が表示されます。

- 3 メニューから音量を調整するときは、[設定]メニューの[音量]を設定します。設定値は入力ソースごとに保持されます。

注意

初めから音量を上げすぎないでください。突然大きな音が出て、聴力障害の原因になることがあります。

電源を切る前に音量を下げておき、電源を入れた後で徐々に上げてください。

関連項目

- 「プロジェクターの基本機能を使用する」 [p.34](#)
- 「設定メニュー」 [p.139](#)

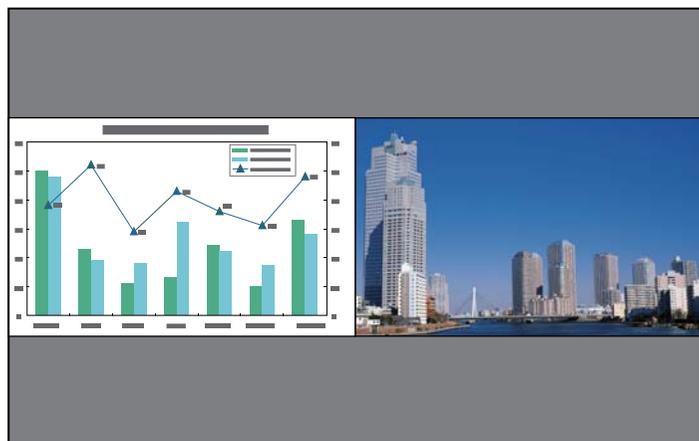
プロジェクターの便利な機能

プロジェクターの各機能を使用します。

関連項目

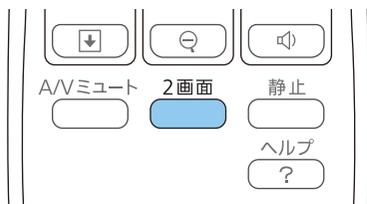
- 「2つの映像を同時に投写する」 [p.71](#)
- 「PC Free機能で投写する」 [p.74](#)
- 「映像と音声を一時的に遮断する」 [p.82](#)
- 「映像を一時的に停止する」 [p.83](#)
- 「画面の一部を拡大表示する」 [p.84](#)
- 「リモコンでコンピューターのマウス操作をする」 [p.85](#)
- 「リモコンでポインターを表示する」 [p.86](#)
- 「ユーザーロゴを設定する」 [p.87](#)
- 「複数台のプロジェクターから投写した映像の色差補正」 [p.90](#)
- 「セキュリティー機能」 [p.93](#)

2画面機能を使用して、異なる機器からの2つの映像を同時に投写します。2画面機能はリモコンまたはメニューから実行できます。



2画面機能の使用中は、本機の一部機能を使用できなかつたり、一部の設定が両方の映像に自動で適用されたりすることがあります。

1 リモコンの【2画面】ボタンを押します。



投写している入力ソースの映像が左画面に投写されます。



【設定】メニューの【2画面】からも同じ操作ができます。

2 【メニュー】ボタンを押します。

次の画面が表示されます。



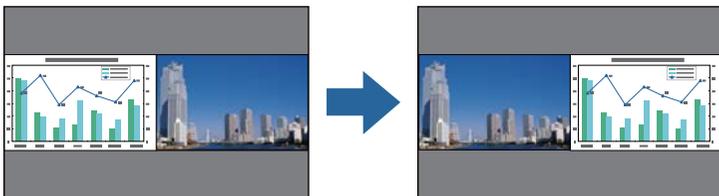
3 右画面に投写する入力ソースを選択するには、【入力ソース】を選択し、【決定】ボタンを押します。入力ソースを選択し、【実行】を選択して【決定】ボタンを押します。



- 組み合わせ可能な入力ソースのみを選択できます。
- 2画面で投写中は、リモコンで入力ソースを切り替える操作をしたときに入力ソース画面が表示されます。

- 4** 左右の映像を切り替えるには、[左右画面入替]を選択し、【決定】ボタンを押します。

投写映像の左右が入れ替わります。



- 5** 一方の映像を縮小してもう一方の映像を拡大するには、[画面サイズ]を選択し、【決定】ボタンを押します。拡大する画面を選択し、【決定】ボタンを押してから、【メニュー】ボタンを押して終了します。



入力している映像信号によっては、[均等]を選択しても左右の映像の大きさが一致しないことがあります。

- 6** 音声を出力する画面を設定するには、[音声切替]を選択し、【決定】ボタンを押します。音声を出力する画面を選択し、【決定】ボタンを押してから【メニュー】ボタンを押して終了します。



拡大している画面または左画面の音声を出力するときは、[オート]を選択します。

- 7** 2画面機能を終了するには、【2画面】ボタンまたは【戻る】ボタンを押します。

関連項目

- 「プロジェクターの便利な機能」 p.70
- 「2画面投写の入力ソースの組み合わせ」 p.72
- 「2画面投写中の制限事項」 p.72

2画面投写の入力ソースの組み合わせ

以下の入力ソースの組み合わせは2画面で投写できません。

- コンピューター1とコンピューター2
- HDMI1/MHL、HDMI2とScreen Mirroring
- USB Display、USBとLAN
- LAN(無線)とScreen Mirroring

関連項目

- 「2つの映像を同時に投写する」 p.71

2画面投写中の制限事項

操作に関する制限事項

2画面で投写中は、以下の操作はできません。

- メニューの設定
- Eズーム
- アスペクトモードの切り替え(アスペクトモードは[ノーマル]に設定されます。)
- リモコンの【ユーザー】ボタンでの操作
- オートアイリス



ヘルプ画面は、映像信号が入力されていないとき、異常・警告通知が表示されたときのみ表示できます。

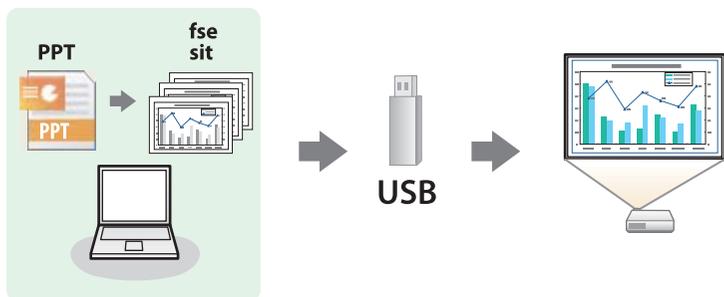
画質調整に関する制限事項

- [画質調整]メニューで調整した設定は左画面にのみ適用され、右画面には初期設定が適用されます。[カラーモード]や[明るさ]など、映像全体に対する設定は、両方の画面に適用されます。
- 右画面では、[映像]メニューの[プログレッシブ]、[ノイズリダクション]は[オフ]に設定されます。
- 映像信号の未入力時にユーザーロゴを表示することはできません。ユーザーロゴを設定していても、青い画面が表示されます。

関連項目

- 「2つの映像を同時に投写する」 [p.71](#)
- 「画面の一部を拡大表示する」 [p.84](#)
- 「映像のアスペクト比」 [p.60](#)
- 「設定メニュー」 [p.139](#)
- 「オートアイリスを設定する」 [p.63](#)
- 「カラーモード」 [p.62](#)
- 「映像の色合いを調整する」 [p.65](#)
- 「映像メニュー」 [p.137](#)
- 「拡張設定メニュー」 [p.141](#)

PC Free機能は、投写ファイルを格納したUSBデバイスを本機に接続して映像を投写します。素早く簡単に映像を投写でき、リモコンから映像を操作することもできます。



関連項目

- 「プロジェクターの便利な機能」 [p.70](#)
- 「サポートファイル形式」 [p.74](#)
- 「PC Free使用時の注意事項」 [p.75](#)
- 「PC Freeのライドショーを開始する」 [p.75](#)
- 「PC FreeでPDFファイルを投写する」 [p.77](#)
- 「PC Freeでムービーを投写する」 [p.78](#)
- 「PC Freeでシナリオを投写する」 [p.79](#)
- 「PC Freeの表示オプション」 [p.80](#)

サポートファイル形式

以下の形式のファイルをPC Freeで投写できます。



- FAT16/32でフォーマットされたUSBデバイスにファイルを格納してください。
- Windows以外のファイルシステムでフォーマットしたUSBデバイスで投写に問題があるときは、Windowsでフォーマットしてください。

ファイルの内容	ファイルタイプ(拡張子)	詳細
静止画	.jpg	以下のファイル形式は投写できません。 • CMYK形式 • プログレッシブ形式 • 高圧縮 • 解像度が8192 × 8192以上
	.bmp	解像度が1920 × 1200以下であること。
	.gif	以下のファイル形式は投写できません。 • 解像度が1920 × 1200以上 • アニメーションファイル
	.png	解像度が1920 × 1200以下であること。
シナリオ	.fse	EasyMP Slide ConverterでPowerPointファイルを変換した形式です。
PDF	.pdf	以下のファイル形式は投写できません。 • PDFバージョンが1.8以降 • 暗号化ファイル
ムービー	.avi (Motion JPEG)	以下のファイル形式は投写できません。 • PCM、ADPCM以外の音声コーデックで保存されたファイル • 解像度が1280 × 1200以上 • ファイルサイズが2 GB以上

関連項目

- 「PC Free機能で投写する」 [p.74](#)

PC Free使用時の注意事項

PC Free機能を使用するときは、以下の点に注意してください。

- PC Freeで投写中は、USBストレージを本機から取り外さないでください。PC Freeが正しく動作しなくなるおそれがあります。
- セキュリティ機能が搭載されているUSBデバイスは、使用できないことがあります。
- ACアダプターが付属されているUSBデバイスを接続するときは、ACアダプターを電源コンセントに接続してください。
- 市販のUSBカードリーダーの中には本機で使用できないものもあります。
- PC Freeで投写中は台形ゆがみを補正できないため、PC Freeを実行する前に映像の形状を補正してください。
- 以下の機能はPC Freeで投写しているときも使用できます。
 - 静止
 - AVミュート
 - Eズーム
 - ポインター

関連項目

- 「PC Free機能で投写する」 p.74
- 「映像を一時的に停止する」 p.83
- 「映像と音声を一時的に遮断する」 p.82
- 「画面の一部を拡大表示する」 p.84
- 「リモコンでポインターを表示する」 p.86

PC Freeのスライドショーを開始する

USBデバイスをプロジェクターに接続した後、入力ソースをUSBに切り替えてスライドショーを開始します。



画面下部の[オプション]を選択し、【決定】ボタンを押して、PC Freeの動作設定を変更したり、画面切替効果を追加したりできます。

1

リモコンの【USB】ボタンを押します。

PC Freeファイル一覧画面が表示されます。



- ドライブの選択画面が表示されたときは、上下左右ボタンでドライブを選択して、【決定】ボタンを押します。
- ドライブの選択画面を表示するには、ファイル一覧画面上部の[ドライブの選択]を選択して、【決定】ボタンを押します。

2

以下の操作で投写するファイルを探します。

- USBデバイスのサブフォルダーにあるファイルを投写するときには、上下左右ボタンで該当のフォルダーを選択して、【決定】ボタンを押します。
- ひとつ上のフォルダーに戻るときは、[上へ戻る]を選択して、【決定】ボタンを押します。
- 同一フォルダー内の表示されていないファイルを表示するときには、[次のページ]または[前のページ]を選択して【決定】ボタンを押すか、【ページ送り/戻し】ボタンを押します。

3 以下のいずれかの操作でファイルを投写します。

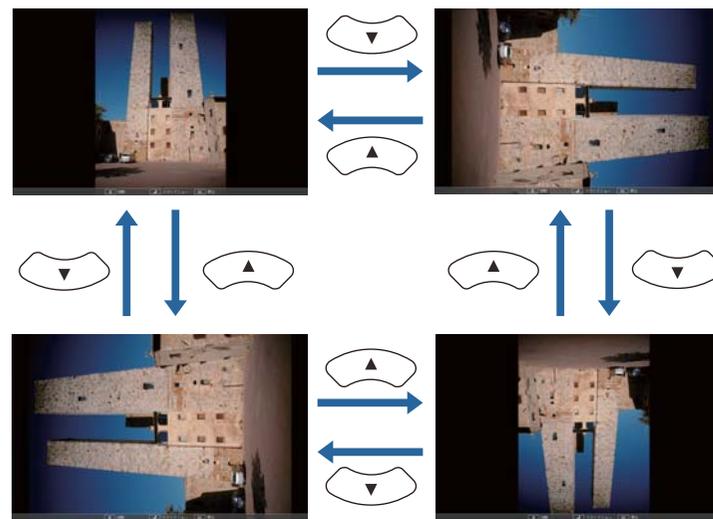
- 投写するファイルを1つずつ選択するときには、上下左右ボタンで画像を選択し、【決定】ボタンを押します。(ファイル一覧画面に戻るには、【戻る】ボタンを押します。)
- 同一フォルダー内のすべての画像をスライドショーで表示するには、上下左右ボタンで画面下部の[スライドショー]を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 画像の切り替え時間を変更できます。画面下部の[オプション]を選択し、【決定】ボタンを押して、表示オプション設定画面で変更してください。
- ファイル名の文字数が表示幅を超える場合や、非対応の記号が含まれている場合は、PC Free機能ではファイル名が短縮または変更されます。

4 投写中は、以下の操作ができます。

- 画像の回転：上下ボタンを押して、画像を回転できます。



- 画像の送り戻し：左右ボタンを押して、表示中の画像の前または次の画像を表示します。

5 画像の投写を終了するときには、【戻る】ボタンを押します。ファイル一覧画面が再度表示されます。

6 必要に応じてUSBデバイスの電源を切り、本機から取り外します。

関連項目

- 「PC Free機能で投写する」 [p.74](#)
- 「USB機器またはカメラを接続する」 [p.28](#)
- 「PC Freeの表示オプション」 [p.80](#)

PC FreeでPDFファイルを投写する

USBデバイスをプロジェクターに接続した後、入力ソースをUSBに切り替えて、PDFファイルの投写を始めます。



PC Freeでは、PDFファイルの以下の操作はできません。

- パスワードの解除
- 電子署名、JPEG2000画像、透明効果、3Dアートワーク、注釈の表示
- マルチメディアコンテンツの再生
- 拡張子が.pdf以外のPDFファイルの表示

1 リモコンの【USB】ボタンを押します。

PC Freeファイル一覧画面が表示されます。



- ドライブの選択画面が表示されたときは、上下左右ボタンでドライブを選択して、【決定】ボタンを押します。
- ドライブの選択画面を表示するには、ファイル一覧画面上部の[ドライブの選択]を選択して、【決定】ボタンを押します。

2 以下の操作で投写するファイルを探します。

- USBデバイスのサブフォルダーにあるファイルを投写するときは、上下左右ボタンで該当のフォルダーを選択して、【決定】ボタンを押します。
- ひとつ上のフォルダーに戻るときは、[上へ戻る]を選択して、【決定】ボタンを押します。
- 同一フォルダー内の表示されていないファイルを表示するときは、[次のページ]または[前のページ]を選択して【決定】ボタンを押すか、【ページ送り/戻し】ボタンを押します。

3 上下左右ボタンで投写するファイルを選択し、【決定】ボタンを押します。(ファイル一覧画面に戻るには、【戻る】ボタンを押します。)

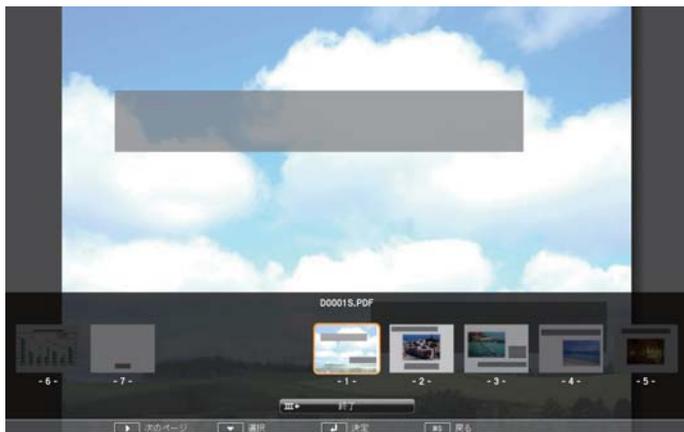
PDFファイルの最初のページが全画面表示されます。



ファイル名の文字数が表示幅を超える場合や、非対応の記号が含まれている場合は、PC Free機能ではファイル名が短縮または変更されます。

4 PDFファイルの投写中は、以下の操作ができます。

- ページの送り戻し：上下ボタンを押して、前または次のページに移動します。
- ページの選択：【戻る】ボタンを押して、ページ選択メニューを表示します。左右ボタンでページを選択して【決定】ボタンを押します。（【戻る】ボタンを押すと、ページ選択メニューは閉じます。）



- ページの拡大：【決定】ボタンを押して、ページを拡大表示します。縦長のページは投写画面の横幅いっぱい、横長のページは投写画面の縦幅いっぱい、に拡大されます。拡大表示中は上下左右ボタンを押して、ページのスクロールができます。通常表示に戻すには、再度【決定】ボタンを押します。
- ページの回転：左右ボタンを押して、ページを回転します。

5 投写を終了するとき、【戻る】ボタンを押して、【終了】を選択して【決定】ボタンを押します。

6 必要に応じてUSBデバイスの電源を切り、本機から取り外します。

関連項目

- 「PC Free機能で投写する」 p.74
- 「USB機器またはカメラを接続する」 p.28

PC Freeでムービーを投写する

USBデバイスをプロジェクターに接続した後、入力ソースをUSBに切り替えて、ムービーの投写を開始します。



画面下部の[オプション]を選択し、【決定】ボタンを押して、PC Freeの動作設定オプションを変更できます。

- 1** リモコンの【USB】ボタンを押します。
PC Freeファイル一覧画面が表示されます。





- ドライブの選択画面が表示されたときは、上下左右ボタンでドライブを選択して、【決定】ボタンを押します。
- ドライブの選択画面を表示するには、ファイル一覧画面上部の[ドライブの選択]を選択して、【決定】ボタンを押します。

2 以下の操作で投写するファイルを探します。

- USBデバイスのサブフォルダーにあるファイルを投写するとき、上下左右ボタンで該当のフォルダーを選択して、【決定】ボタンを押します。
- ひとつ上のフォルダーに戻るときは、[上へ戻る]を選択して、【決定】ボタンを押します。
- 同一フォルダー内の表示されていないファイルを表示するには、[次のページ]または[前のページ]を選択して【決定】ボタンを押すか、【ページ送り/戻し】ボタンを押します。

3 上下左右ボタンでファイルを選択し、【決定】ボタンを押します。



- ファイル名の文字数が表示幅を超える場合や、非対応の記号が含まれている場合は、PC Free機能ではファイル名が短縮または変更されます。
- 同一フォルダー内のすべてのムービーを連続再生するには、画面下部の[スライドショー]を選択します。

4 投写を終了するとき、【戻る】ボタンを押し、[終了]を選択して【決定】ボタンを押します。

ファイル一覧画面に戻ります。

5 必要に応じてUSBデバイスの電源を切り、本機から取り外します。

関連項目

- 「PC Free機能で投写する」 p.74
- 「USB機器またはカメラを接続する」 p.28
- 「PC Freeの表示オプション」 p.80

PC Freeでシナリオを投写する

USBデバイスをプロジェクターに接続した後、入力ソースをUSBに切り替えて、シナリオの投写を始めます。



EasyMP Slide Converterを使用してPowerPointファイルをシナリオに変換する方法は、『EasyMP Slide Converter操作ガイド』をご覧ください。

1 リモコンの【USB】ボタンを押します。

PC Freeファイル一覧画面が表示されます。





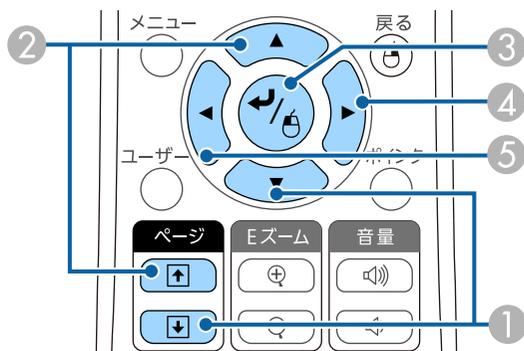
- ドライブの選択画面が表示されたときは、上下左右ボタンでドライブを選択して、【決定】ボタンを押します。
- ドライブの選択画面を表示するには、ファイル一覧画面上部の【ドライブの選択】を選択して、【決定】ボタンを押します。

2 以下の操作で投写するファイルを探します。

- USBデバイスのサブフォルダーにあるファイルを投写するときは、上下左右ボタンで該当のフォルダーを選択して、【決定】ボタンを押します。
- ひとつ上のフォルダーに戻るときは、[上へ戻る]を選択して、【決定】ボタンを押します。
- 同一フォルダー内の表示されていないファイルを表示するときは、[次のページ]または[前のページ]を選択して【決定】ボタンを押すか、【ページ送り/戻し】ボタンを押します。

3 上下左右ボタンでファイルを選択し、【決定】ボタンを押します。

4 シナリオの再生中は、以下の操作で画面を切り替えます。



- 1 次のスライド
- 2 前のスライド

- 3 次のスライドまたはアニメーション
- 4 次のスライドまたはアニメーション(アニメーションの効果は再生されません)
- 5 前のスライドまたはアニメーション(アニメーションの効果は再生されません)

5 投写を終了するときには、【戻る】ボタンを押し、【終了】を選択して【決定】ボタンを押します。(シナリオの再生を続行するときには、【戻る】を選択して【決定】ボタンを押します。)

6 必要に応じてUSBデバイスの電源を切り、本機から取り外します。

関連項目

- 「PC Free機能で投写する」 [p.74](#)
- 「USB機器またはカメラを接続する」 [p.28](#)

PC Freeの表示オプション

PC Freeでは、以下の表示オプションを設定できます。PC Freeファイル一覧画面下部の【オプション】を選択し、【決定】ボタンを押します。



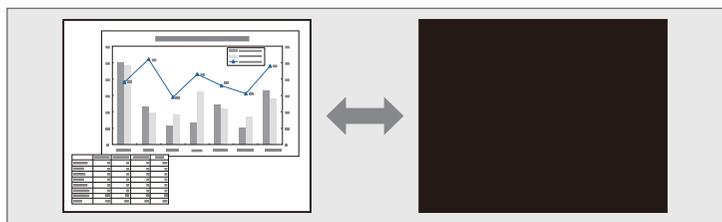
設定	選択肢	説明
	ランダム	画像の切り換え時にランダム効果を入れる

関連項目

- 「PC Free機能で投写する」 p.74

設定	選択肢	説明
表示順序設定	ファイル名順	ファイル名順でファイルを表示
	更新日付順	更新日付順でファイルを表示
ソート方向	昇順	数字やアルファベットの小さい順にファイルを並べる
	降順	数字やアルファベットの大きい順にファイルを並べる
繰り返し再生	オン	スライドショーを連続表示
	オフ	スライドショーを1回のみ表示
表示時間設定	なし	画像の自動送りなし
	1秒～60秒	設定した秒数の間画像を表示した後、自動的に次の画像を表示(高解像度の画像は、設定秒数よりも切り替えが遅れることがあります)
画面切替効果	なし	切り替え効果なし
	ワイプ	画像の切り換え時にワイプ効果を入れる
	ディゾルブ	画像の切り換え時にディゾルブ効果を入れる

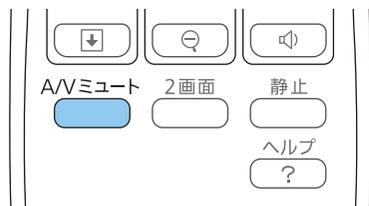
プレゼンテーション中に聴衆の関心を引きたいときなど、投写映像と音声を一時的に消すことができます。遮断中も映像と音声は進んでいるため、遮断した場面から投写を再開することはできません。



リモコンの【AVミュート】ボタンを押したときに、ロゴや写真などを表示するには、[拡張設定]メニューの[AVミュート]で、表示したい画面を設定します。

☛ [拡張設定] > [表示設定] > [AVミュート]

1 リモコンの【AVミュート】ボタンを押して、映像と音声を一時的に遮断します。



2 投写を再開するときは、再度【AVミュート】ボタンを押します。



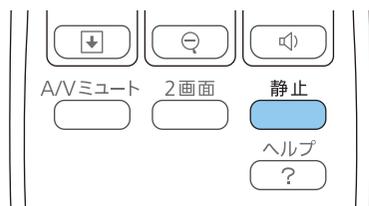
- 本機のレンズカバーを閉じることで、投写を遮断することもできます。
- AVミュートの実行後30分経過すると、自動的に本機の電源が切れます。この機能は[節電]メニューで無効にできます。
 - ☛ [節電] > [レンズカバータイマー]
 - ☛ [節電] > [AVミュートタイマー]
- AVミュート中も投写ランプは動作し続けるため、ランプ点灯時間は加算されます。

関連項目

- 「プロジェクターの便利な機能」 [p.70](#)
- 「拡張設定メニュー」 [p.141](#)
- 「節電メニュー」 [p.152](#)

動画やプレゼンテーションスライドを一時的に停止して、静止画像として投写します。停止中も映像と音声は進んでいるため、停止した場面から投写を再開することはできません。

- 1 リモコンの【静止】ボタンを押して、動画を停止します。

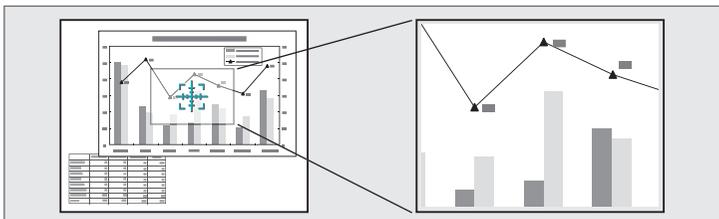


- 2 停止を解除するときは、再度【静止】ボタンを押します。

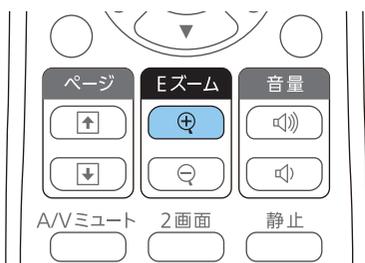
関連項目

- 「プロジェクターの便利な機能」 [p.70](#)

映像の一部にズームして拡大表示することで、プレゼンテーションのポイントに注目させることができます。



1 リモコンの【Eズーム(+)]ボタンを押します。



ズームエリアの中心を示す十字カーソルが画面に表示されます。

2 以下の操作でズームエリアを決めてズームします。

- 十字カーソルの移動：上下左右ボタンでズームしたい位置に十字カーソルを移動します。隣り合う上下左右ボタンを2つ同時に押すと、十字カーソルを斜めに移動できます。
- ズームイン：【Eズーム(+)]ボタンを繰り返し押します。ズームインの速度を上げるには、【Eズーム(+)]ボタンを長押しします。1～4倍まで、25段階で拡大できます。
- ズームエリアの移動：ズームイン中に上下左右ボタンを押すと、ズーム表示エリアを移動できます。
- ズームアウト：【Eズーム(-)]ボタンを押します。
- ズーム解除：【戻る]ボタンを押します。

拡大された映像が投写され、拡大倍率が画面に表示されます。

関連項目

- 「プロジェクターの便利な機能」 p.70

本機のリモコンをコンピューターのワイヤレスマウスとして使用して、コンピューターの画面を操作できます。



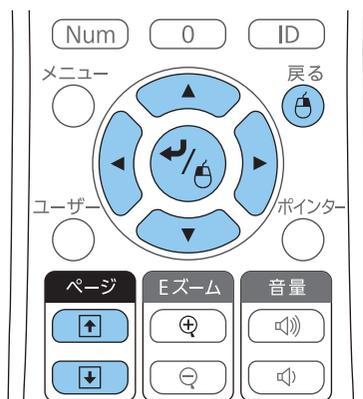
ワイヤレスマウス機能はWindows 2000以降とOS X 10.3.x以降のコンピューターで使用できます。

- 1 本機 の **USB-B**、**コンピューター1**、**コンピューター2**、**HDMI1/MHL**、または**HDMI2**端子のいずれかの端子にコンピューターを接続します。



携帯端末をMHLケーブルで接続して投写しているときは、ワイヤレスマウス機能は動作しません。

- 2 手順1で**USB-B**端子以外の端子にコンピューターを接続したときは、本機の**USB-B**端子とコンピューターを**USB**ケーブルで接続します(ワイヤレスマウス用)。
- 3 映像を投写します。
- 4 以下の操作で、コンピューターを操作します。



- スライド、ページの送り/戻し：【ページ送り/戻し】ボタンを押します。
- カーソルの移動：上下左右ボタンを押します。隣り合う上下左右ボタンを2つ同時に押すと、カーソルを斜めに移動できます。
- クリック：【決定】ボタンを1回押します(ダブルクリックは2回押します)。右クリックするには【戻る】ボタンを押します。
- ドラッグ&ドロップ：【決定】ボタンを押したまま上下左右ボタンを押してカーソルを移動し、目的の場所で【決定】ボタンを放します。

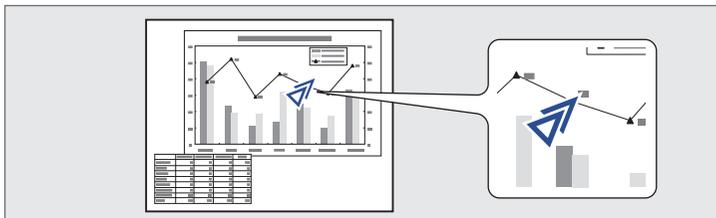


- コンピューターでマウス機能を左右逆に設定しているときは、リモコンでの操作も左右逆になります。
- 以下のときは、ワイヤレスマウス機能は動作しません。
 - ・メニューまたはヘルプ画面の表示中。
 - ・ワイヤレスマウス以外の機能(音量調整など)を実行しているとき。ただし、Eズームまたはポインター機能を使用しているときは、ページ送り/戻しができます。

関連項目

- 「プロジェクターの便利な機能」 [p.70](#)
- 「画面の一部を拡大表示する」 [p.84](#)
- 「リモコンでポインターを表示する」 [p.86](#)

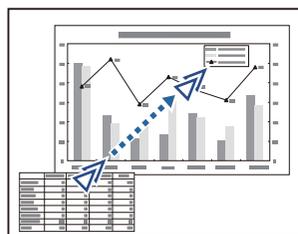
本機のリモコンをポインターとして使用して、画面上の重要な情報に注目させることができます。ポインターの形状は、初期設定では矢印に設定されています。ポインターの形状は、[設定]メニューの[ポインター形状]で変更できます。



1 リモコンの【ポインター】ボタンを押します。



2 上下左右ボタンでポインターを移動します。隣り合う上下左右ボタンを2つ同時に押し、ポインターを斜めに移動できます。



3 ポインターを消すときは、【戻る】ボタンを押します。

関連項目

- 「プロジェクターの便利な機能」 p.70
- 「設定メニュー」 p.139

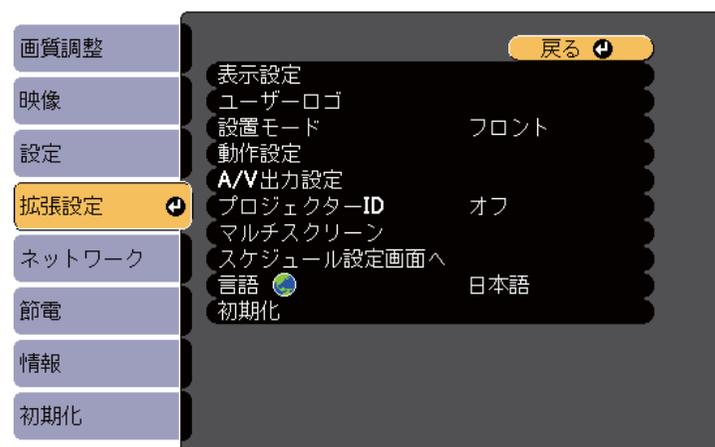
プロジェクターの電源投入時に表示する画像を設定します。本機が入力信号を検出していないときや、投写映像を遮断しているとき(A/Vミュート時)に、設定した画像を表示することもできます。この画像をユーザーロゴと呼びます。

写真、グラフィック、会社のロゴなどをユーザーロゴとして設定し、プロジェクターの所有者を明示することで、本機の盗難防止などに役立ちます。また、パスワードプロテクトを設定して、ユーザーロゴを変更できなくすることができます。



- ユーザーロゴの設定後は、初期設定のロゴに戻せません。
- [パスワードプロテクト]設定画面で[ユーザーロゴ保護]を[オン]にしているときは、[オフ]にしてからユーザーロゴを設定してください。
- 一括設定機能を使用して、複数のプロジェクター間でメニュー設定をコピーすると、ユーザーロゴもコピーされます。複数のプロジェクター間で共有したくない画像は、ユーザーロゴとして設定しないでください。

- 1 ユーザーロゴとして設定する画像を投写します。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 3 【拡張設定】を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 4 【ユーザーロゴ】を選択し、【決定】ボタンを押します。



確認画面が表示されます。

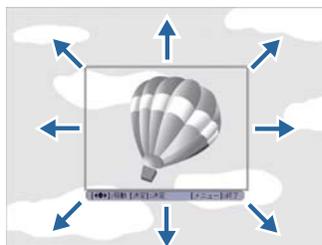


【ユーザーロゴ】を選択すると、台形補正、Eズーム、アスペクトなどの設定が、一時的に無効になります。

- 5** 【はい】を選択し、【決定】ボタンを押します。
投写している画像上に選択枠が表示されます。

 投写している映像信号によっては、映像信号の解像度に合わせて画面サイズが変更されることがあります。

- 6** 上下左右ボタンを押して、ユーザーロゴとして使用する範囲を選択枠で囲み、【決定】ボタンを押します。

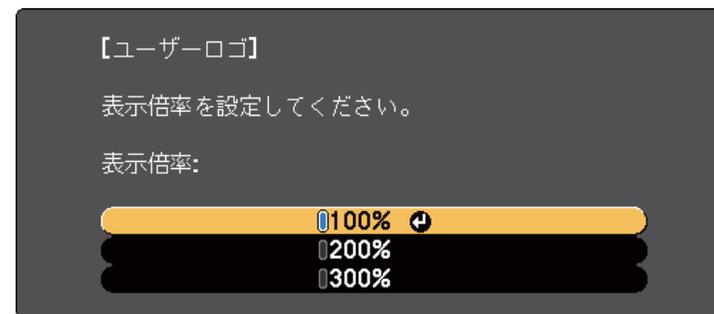


確認画面が表示されます。

 選択枠の大きさ(400 × 300ピクセル)は変更できません。

- 7** 【はい】を選択し、【決定】ボタンを押します。(選択範囲を変更するときは、【いいえ】を選択し、【決定】ボタンを押します。)
ユーザーロゴの表示倍率設定画面が表示されます。

- 8** 表示倍率を選択し、【決定】ボタンを押します。



確認画面が表示されます。

- 9** 【はい】を選択し、【決定】ボタンを押します。

 プロジェクターに画像が保存されるまでしばらく時間がかかります。保存が完了するまで、プロジェクター、リモコン、および接続されているいずれの機器も使用しないでください。

ユーザーロゴが保存され、完了メッセージが表示されます。

- 10** 【戻る】ボタンを押して、メッセージを閉じます。

- 11** 【拡張設定】を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 12** 【表示設定】を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 13** ユーザーロゴを表示するタイミングを設定します。

- 入力信号を未検出のときに表示する：[背景表示]を[ロゴ]に設定します。
- 本機の電源投入時に表示する：[スタートアップスクリーン]を[オン]に設定します。

- **【AVミュート】**ボタンを押したときに表示する：[AVミュート]
を[ロゴ]に設定します。

ユーザーロゴが自由に変更されることを防ぐには、[パスワードプロテクト]設定画面で[ユーザーロゴ保護]を[オン]にしてパスワードを設定してください。

関連項目

- 「プロジェクターの便利な機能」 [p.70](#)
- 「映像と音声を一時的に遮断する」 [p.82](#)
- 「パスワードプロテクトの種類を設定する」 [p.94](#)

複数台のプロジェクターを並べて映像を投写したとき、それぞれの映像の明度と階調の違いを少なくするために、マルチスクリーンカラー調整機能で補正します。

マルチスクリーンカラー調整は、プロジェクターごとにリモコンで調整するため、各プロジェクターにプロジェクターIDを設定してから明度と色合いを調整します。



補正を行っても、それぞれの映像の明度と色合いは完全に一致しないことがあります。

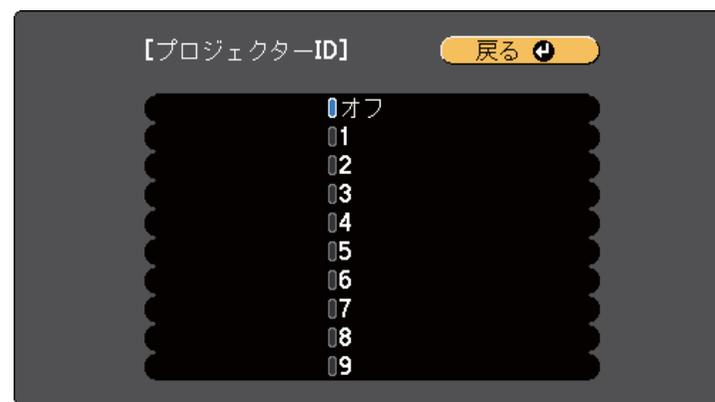
関連項目

- 「プロジェクターの便利な機能」 p.70
- 「プロジェクターにIDを設定する」 p.90
- 「操作対象のプロジェクターIDをリモコンで選択する」 p.90
- 「複数のプロジェクターの映像品質を合わせる」 p.91

プロジェクターにIDを設定する

1台のリモコンから複数のプロジェクターを操作するために、各プロジェクターに一意的IDを指定します。

- 1 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 2 【拡張設定】を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 3 【プロジェクターID】を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 4 対象のプロジェクターに設定するID番号を選択します。その後、【決定】ボタンを押します。



- 5 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

リモコンから操作するすべてのプロジェクターに対して、同様の手順を繰り返します。

関連項目

- 「複数台のプロジェクターから投写した映像の色差補正」 p.90

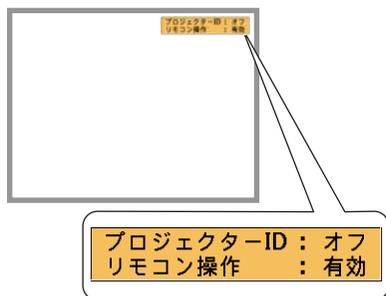
操作対象のプロジェクターIDをリモコンで選択する

プロジェクターのIDを設定した後、リモコンで操作対象のプロジェクターのIDを選択します。

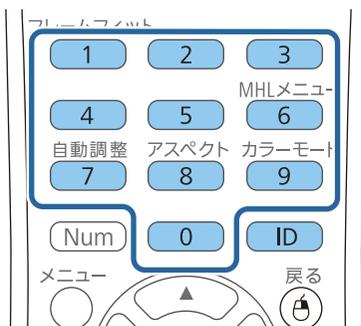
- 1 操作対象のプロジェクターにリモコンを向けて、【ID】ボタンを押します。



プロジェクターに設定されたIDが投写画面に表示されます。表示は約3秒後に消えます。



2 【ID】ボタンを押したまま、操作対象のプロジェクターIDと同じ数字のボタンを押します。



選択したIDが設定されたプロジェクターのリモコン操作が有効になります。

3 【ID】ボタンを押して、IDの設定を確認します。

以下が表示されます。

- [リモコン操作：有効]と表示：現在操作中のプロジェクターでリモコン操作ができるよう設定されています。
- [リモコン操作：無効]と表示：リモコン操作ができないように設定されています。上記の手順を繰り返して、リモコン操作を有効にしてください。



- 操作対象のプロジェクターIDは、プロジェクターの電源を入れるたびに選択する必要があります。
- [プロジェクターID]を[オフ]に設定しているときは、リモコンで選択したID設定に関わらず、プロジェクターをリモコンで操作できます。
- リモコンのID選択時に0を選択したときは、プロジェクターIDの設定に関わらず、すべてのプロジェクターを操作できます。

関連項目

- 「複数台のプロジェクターから投写した映像の色差補正」 [p.90](#)

複数のプロジェクターの映像品質を合わせる

複数台のプロジェクターを並べて投写したときの映像品質を合わせます。

- 1** 映像品質を合わせたいすべてのプロジェクターの電源を入れます。
- 2** 各プロジェクターにID番号を設定します。

- 3 各プロジェクターのカラーモードが同じ設定であることを確認します。
- 4 まず、2台のプロジェクターの明度と色合いを合わせます。1台目のプロジェクターIDをリモコンで選択します。
- 5 リモコンの【メニュー】ボタンを押し、【拡張設定】を選択して、【決定】ボタンを押します。



- 6 【マルチスクリーン】を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 7 【調整レベル】を[1]に設定します。



- 8 2台目のプロジェクターIDをリモコンで選択します。

- 9 【拡張設定】の【マルチスクリーン】で、【調整レベル】を[1]に設定します。
- 10 映像が暗い方のプロジェクターの【明るさ補正】を調整して、映像が明るい方のプロジェクターの明るさに合わせます。(必要に応じて、操作対象のプロジェクターIDをリモコンで選択し直します。)
- 11 各プロジェクターの【調整レベル】を[5]に変更します。ここでは、投写映像が明るい方のプロジェクターの明るさ補正を調整して、投写映像が暗い方のプロジェクターの明るさに合わせます。
- 12 同様にして、【調整レベル】を[2]、[3]、[4]に設定したときの【明るさ補正】を調整します。
- 13 各プロジェクターの【色補正】(【緑-赤】/【青-黄】)を調整します。
- 14 3台以上のプロジェクターを調整するときは、3台目を2台目に、4台目を3台目に合わせる順序で、手順を繰り返してください。

関連項目

- 「複数台のプロジェクターから投写した映像の色差補正」 p.90

以下のセキュリティ機能を使用することで、プロジェクターの盗難や誤用・悪用を防止します。

- **パスワードプロテクト**：パスワードを知らないユーザーが本機を使用できないようにします。また、起動時に表示する画面などの設定を変更できなくします。本機を使用できるユーザーを制限したり、プロジェクターを持ち出しても使用できないことで盗難防止の効果があります。
- **操作ボタンロック**：操作パネルのボタン操作をできなくします。イベントや展示会などで投写中にプロジェクターを操作できないようにしたり、学校などで操作できるボタンを制限したいときに便利です。
- **セキュリティケーブル**：プロジェクターを固定して盗難を防ぎます。

関連項目

- 「プロジェクターの便利な機能」 [p.70](#)
- 「パスワードプロテクトの種類」 [p.93](#)
- 「操作パネルのボタン操作を制限する」 [p.96](#)
- 「セキュリティケーブルを取り付ける」 [p.97](#)

パスワードプロテクトの種類

パスワードを1つ設定して、以下の種類のパスワードプロテクトを設定できます。

- **[電源投入時]**：パスワードを知らないユーザーが本機を起動できなくします。電源コードで本機とコンセントを接続後、最初に電源を入れたときに、事前に設定してあるパスワードの入力が要求されます。ダイレクトパワーオンおよびオートパワーオン機能でプロジェクターが起動したときも、パスワードの入力が必要になります。

- **[ユーザーロゴ保護]**：プロジェクターの電源を入れたときや、入力信号が未検出のとき、A/Vミュート時などに表示されるユーザーロゴの画面設定を変更できなくします。ユーザーロゴを設定していると、プロジェクターの所有者が特定されるため、盗難防止につながります。
- **[ネットワーク保護]**：[ネットワーク]メニューの設定を変更できなくします。
- **[時刻/スケジュール保護]**：時刻設定やスケジュール設定を変更できなくします。

関連項目

- 「セキュリティ機能」 [p.93](#)
- 「パスワードを設定する」 [p.93](#)
- 「パスワードプロテクトの種類を設定する」 [p.94](#)
- 「パスワードを入力する」 [p.95](#)

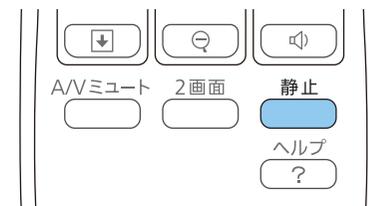
パスワードを設定する

パスワードプロテクトを行うためのパスワードを設定します。



初期設定でパスワードは「0000」に設定されています。異なるパスワードに変更してください。

- 1** リモコンの【静止】ボタンを約5秒間押し続けます。

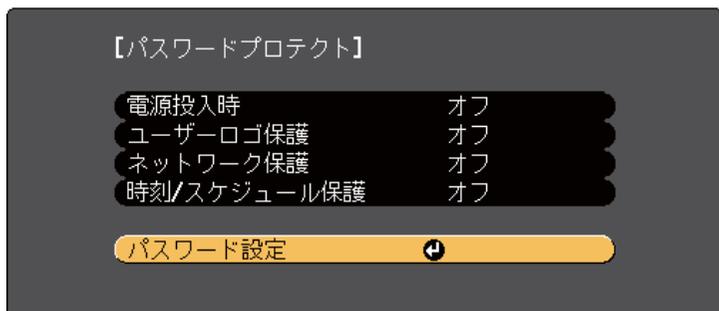


パスワードプロテクト設定メニューが表示されます。



パスワードプロテクトが既に有効になっているときは、パスワードプロテクト設定メニューを表示する前にパスワードの入力が求められます。

- 2** 【パスワード設定】を選択し、【決定】ボタンを押します。



「パスワードを変更しますか?」というメッセージが表示されず。

- 3** 【はい】を選択し、【決定】ボタンを押します。



【いいえ】を選択したときは、パスワードプロテクト設定メニューが再度表示されます。

- 4** リモコンの【Num】ボタンを押したままテンキーボタンを押して、4桁のパスワードを設定します。



入力したパスワードは、「****」と表示されます。4桁目を入力すると、確認画面が表示されます。

- 5** パスワードを再入力します。
「パスワード設定が終了しました。」というメッセージが表示されます。間違えてパスワードを入力した場合は、メッセージが表示されますのでパスワード設定をやり直してください。

- 6** 【戻る】ボタンを押してメニューに戻ります。

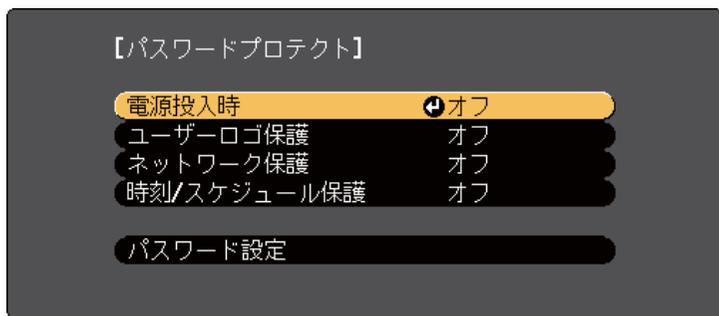
- 7** パスワードを控えて、安全な場所に保管してください。

関連項目

- 「パスワードプロテクトの種類」 [p.93](#)

パスワードプロテクトの種類を設定する

パスワードの設定後、パスワードプロテクト設定メニューで設定したいパスワードプロテクトの種類を選択します。



このメニューが表示されないときは、メニューが表示されるまで約5秒間リモコンの【静止】ボタンを押し続けてください。

- プロジェクターの無断使用を防止したいときは、[電源投入時]を[オン]に設定します。
- ユーザーロゴなどの表示設定の変更を防止したいときは、[ユーザーロゴ保護]を[オン]に設定します。
- ネットワーク設定の変更を防止したいときは、[ネットワーク保護]を[オン]に設定します。
- 時刻設定やスケジュール設定の変更を防止したいときは、[時刻/スケジュール保護]を[オン]に設定します。

パスワードプロテクトステッカーを本機に貼り付けることで、盗難防止効果を向上できます。



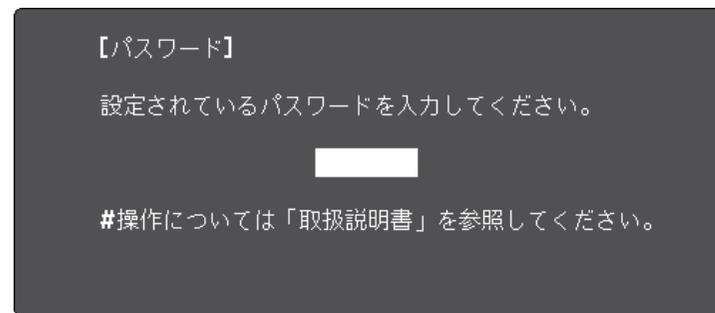
リモコンは必ず安全な場所に保管してください。リモコンを失くすとパスワードを入力できなくなります。

関連項目

- 「パスワードプロテクトの種類」 p.93

パスワードを入力する

パスワード画面が表示されたときは、正しいパスワードを入力します。



- 1 リモコンの【Num】ボタンを押したままテンキーボタンを押してパスワードを入力します。



パスワード画面が閉じます。

- 2 誤ったパスワードを入力したときは、再入力用の画面が表示されます。正しいパスワードを入力します。

注意

- 誤ったパスワードを3回連続で入力すると、「プロジェクターの動作を停止します。」というメッセージが約5分間表示され、プロジェクターはスタンバイ状態になります。電源プラグを抜いて差し直してから、本機の電源を入れます。パスワード入力画面が表示されたら、正しいパスワードを入力してください。
- パスワードを忘れたときは、画面に表示される「[問い合わせコード]: xxxxx」の番号を控えて、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
- 上記の操作を繰り返し、誤ったパスワードを連続30回入力したときは、「プロジェクターの動作が停止します。各修理窓口へ修理を依頼してください。」というメッセージが表示され、それ以上パスワードを入力できなくなります。お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

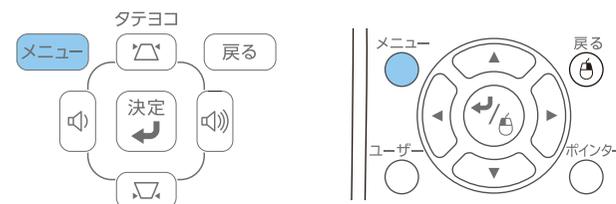
関連項目

- 「パスワードプロテクトの種類」 [p.93](#)

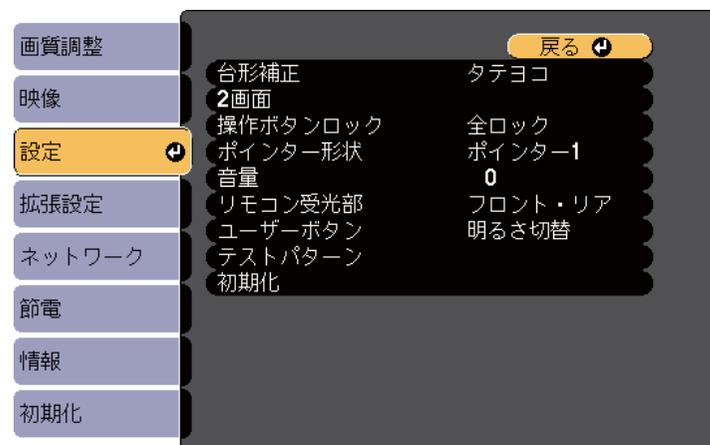
操作パネルのボタン操作を制限する

操作パネルのボタンをロックして、本機の無断使用を防止します。操作パネルのすべてのボタンをロックする設定と、電源ボタン以外のすべてのボタンをロックする設定があります。リモコンからは通常どおり操作できます。

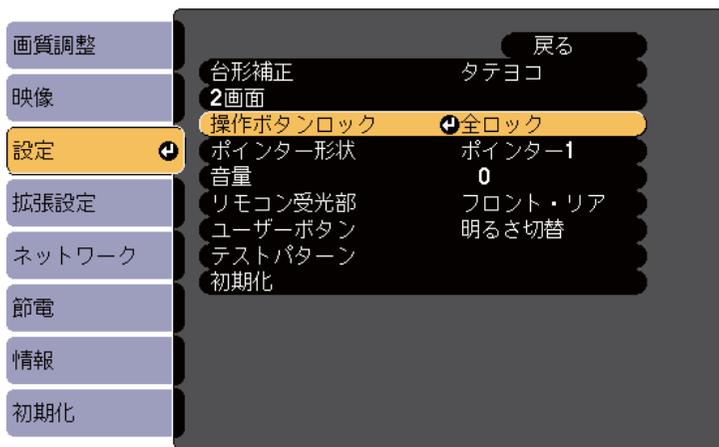
- 1** 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。



- 2** 【設定】を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 3** 【操作ボタンロック】を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 4** ロックの種類を選択し、【決定】ボタンを押します。
- [全ロック]：操作パネルのすべてのボタンをロックします。
 - [操作ロック]：電源ボタン以外のすべてのボタンをロックします。



確認メッセージが表示されます。

- 5** 【はい】を選択し、【決定】ボタンを押します。

操作パネルのボタンがロックされます。

関連項目

- 「セキュリティー機能」 p.93
- 「操作ボタンロックを解除する」 p.97

操作ボタンロックを解除する

以下の方法で、操作ボタンロックを解除します。

- 操作パネルの【決定】ボタンを約7秒間押し続けます。メッセージが表示され、ロックが解除されます。
- [設定]メニューの[操作ボタンロック]を[オフ]に設定します。

関連項目

- 「操作パネルのボタン操作を制限する」 p.96
- 「設定メニュー」 p.139

セキュリティーケーブルを取り付ける

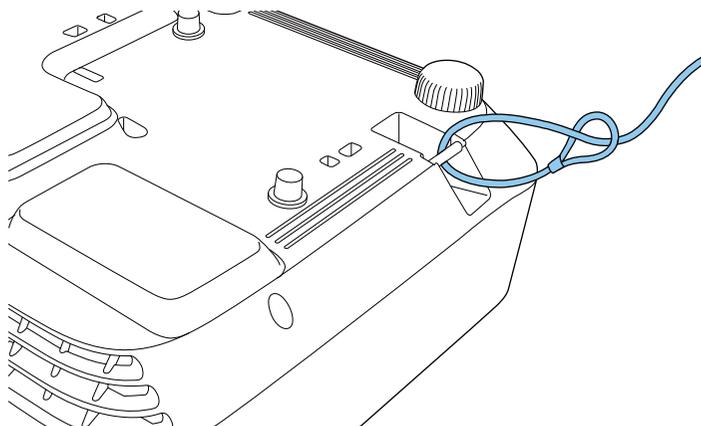
盗難防止のために、2種類のセキュリティーケーブルを本機に取り付けることができます。

- Kensington社製のマイクロサーバーセキュリティーシステムを本機のセキュリティースロットに取り付けます。



マイクロサーバーセキュリティーシステムについての詳細は、<http://www.kensington.com/>をご覧ください。

- ワイヤークーブルを、本機のセキュリティーケーブル取付け部に取り付けて、部屋の建具や動かないものに固定します。



市販の盗難防止用ワイヤーロックを使用できます。ワイヤーロックの施錠方法は、ワイヤーロックに添付の取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- 「セキュリティー機能」 [p.93](#)

ネットワーク上のプロジェクターを使用する

ネットワーク経由でプロジェクターから映像を投写するための設定について説明します。

関連項目

- 「有線LANでの映像投写」 [p.100](#)
- 「無線LANでの映像投写」 [p.103](#)
- 「モバイルデバイスからのワイヤレス投写（Screen Mirroring）」 [p.111](#)

有線LAN経由でプロジェクターから映像を投写できます。ネットワーク経由で投写するには、プロジェクターをネットワークに接続し、プロジェクターおよびコンピューターのネットワーク設定をします。

プロジェクターの接続とネットワーク設定が終わったら、EPSON Projector Software CD-ROMまたはダウンロードしたソフトウェアから、ネットワークソフトウェアをインストールします。ネットワーク経由で映像を投写するには、以下のネットワークソフトウェアが使用できます。

- EasyMP Network Projectionを使用すると、コンピューターの映像をネットワーク経由で投写できます。詳しくは、『EasyMP Network Projection操作ガイド』をご覧ください。
- EasyMP Multi PC Projectionを使用すると、ネットワークに接続された複数のコンピューターの映像を同時に投写して、ミーティングをより活発にできます。詳しくは、『EasyMP Multi PC Projection操作ガイド』をご覧ください。



プロジェクターと無線LANアクセスポイントを含むネットワークをLANケーブルで接続するときは、コンピューターと無線LANアクセスポイントを無線で接続して、EasyMP Network Projectionを使ってワイヤレスに映像を投写できます。

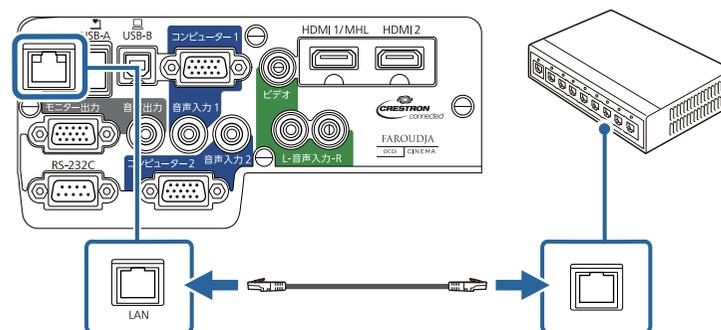
関連項目

- 「ネットワーク上のプロジェクターを使用する」 [p.99](#)
- 「有線LANに接続する」 [p.100](#)
- 「有線LANを設定する」 [p.100](#)

有線LANに接続する

プロジェクターを有線LANに接続するには、100Base-TXまたは10Base-Tネットワークケーブルを使用します。誤作動防止のために、カテゴリ5以上のシールド付きケーブルをお使いください。

- 1** LANケーブルをネットワークハブ、スイッチ、またはルーターに接続します。
- 2** ケーブルのもう一方のコネクターをプロジェクターのLAN端子に接続します。



関連項目

- 「有線LANでの映像投写」 [p.100](#)

有線LANを設定する

ネットワーク経由でコンピューターの映像を投写するには、事前にプロジェクターのネットワーク設定が必要です。



設定の前に、LAN端子にLANケーブルを接続し、プロジェクターを有線LANに接続してください。

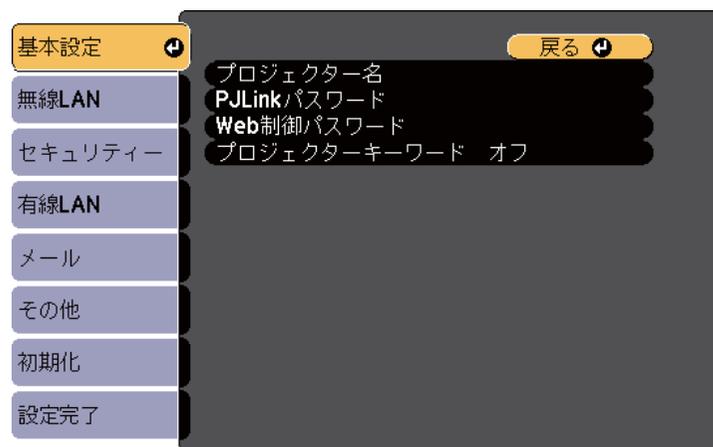
1 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。

2 【ネットワーク】を選択し、【決定】ボタンを押します。



3 【ネットワーク設定画面へ】を選択し、【決定】ボタンを押します。

4 【基本設定】を選択し、【決定】ボタンを押します。



5 必要に応じて以下を設定します。

- [プロジェクター名]：ネットワーク上で本機を識別するための名前を入力します。半角英数字で16文字以内で入力します。
- [PJLinkパスワード]：PJLink対応アプリケーションを使って本機を制御するときの認証用パスワードを設定します。半角英数字で32文字以内で入力します。
- [Web制御パスワード]：Web制御で本機の設定や制御をするときの認証用パスワードを設定します。半角英数字で8文字以内で入力します。(デフォルトのユーザー名はEPSONWEB、デフォルトのパスワードはadminです。)
- [プロジェクターキーワード]：他のユーザーが誤って映像を投写しないように、セキュリティパスワードを有効にできます。プロジェクターキーワードがオンに設定されているプロジェクターから映像を投写するには、投写画面に表示されるキーワードをネットワークソフトウェアで入力する必要があります。



名前、パスワード、およびキーワードの入力には、表示されたスクリーンキーボードを使用します。リモコンの上下左右ボタンを押して文字を選択し、【決定】ボタンを押して入力します。

6 [有線LAN]を選択し、[決定]ボタンを押します。**7** [IP設定]を選択し、[決定]ボタンを押します。**8** 必要に応じて[IP設定]を設定します。

- DHCPを使用できるネットワークの場合は、[DHCP]を[オン]にします。
- DHCPを使用できないネットワークの場合は、[DHCP]を[オフ]にして、プロジェクターの[IPアドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス]を入力します。



リモコンの上下左右ボタンを押して、表示されたスクリーンキーボードで入力する数字を選択します。[決定]ボタンを押して入力します。

9 設定したIPアドレスがLAN待機画面に表示されないようにするには、[IPアドレス表示]を[オフ]に設定します。**10** 設定が終わったら、[設定完了]を選択し、画面の指示に従って設定を保存してメニューを終了します。

関連項目

- 「有線LANでの映像投写」 p.100

無線LAN経由でプロジェクターから映像を投写できます。ネットワーク経由で投写するには、無線LANユニットをプロジェクターに取り付け、プロジェクターおよびコンピューターの無線ネットワーク設定をします。



プロジェクターと無線LANアクセスポイントを含むネットワークをLANケーブルで接続し、コンピューターと無線LANアクセスポイントを無線で接続すると、ネットワークソフトウェアを使ってワイヤレスに映像を投写することもできます。

プロジェクターと無線で接続するには2種類の方法があります。

- オプションのクイックワイヤレス用USBキーを使用する(Windowsのみ)
- プロジェクターの[ネットワーク]メニューから、無線ネットワーク設定をする

無線LANユニットの取り付けとプロジェクターのネットワーク設定が終わったら、EPSON Projector Software CD-ROMまたはダウンロードしたソフトウェアから、ネットワークソフトウェアをインストールします。ネットワーク経由で映像を投写するには、以下のネットワークソフトウェアが使用できます。

- EasyMP Network Projectionを使用すると、コンピューターの映像をネットワーク経由でワイヤレスに投写できます。詳しくは、『EasyMP Network Projection操作ガイド』をご覧ください。
- EasyMP Multi PC Projectionを使用すると、ネットワークに接続された複数のコンピューターの映像を同時に投写して、ミーティングをより活発にできます。詳しくは、『EasyMP Multi PC Projection操作ガイド』をご覧ください。

関連項目

- 「ネットワーク上のプロジェクターを使用する」 p.99
- 「無線LANユニットを取り付ける」 p.103

- 「クイックワイヤレスを使用する (Windowsのみ)」 p.105
- 「無線LANを設定する」 p.105
- 「無線LANアクセスポイントを検索する」 p.107
- 「Windowsで無線LANを設定する」 p.109
- 「OS Xでの無線LANを設定する」 p.109
- 「無線LANのセキュリティーを設定する」 p.109

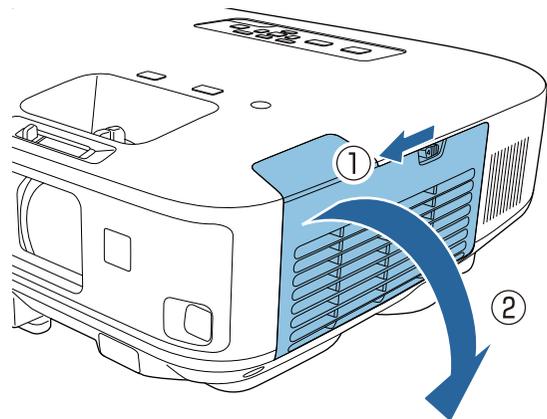
無線LANユニットを取り付ける

プロジェクターを無線LANに接続するには、無線LANユニットを取り付けます。オプションの無線LANユニット以外は取り付けないでください。

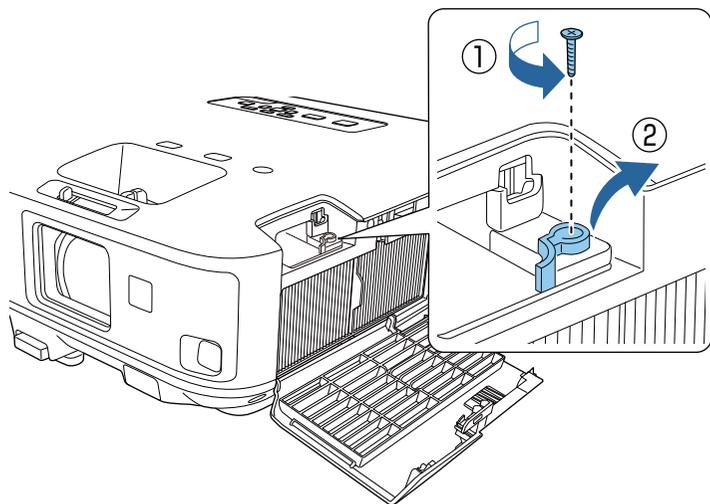
注意

無線LANユニットのインジケーターが緑色に点灯または点滅しているときや、無線LAN経由で映像を投写しているときは、無線LANユニットを取り外さないでください。無線LANユニットの破損や故障の原因になります。

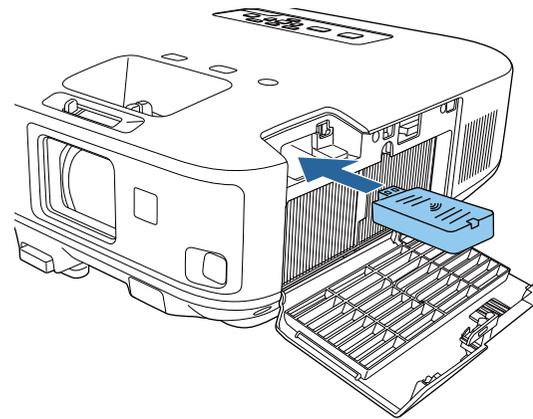
- 1 本機の電源を切り、電源コードを抜きます。
- 2 エアフィルターカバー操作つまみを横に動かして、エアフィルターカバーを開けます。



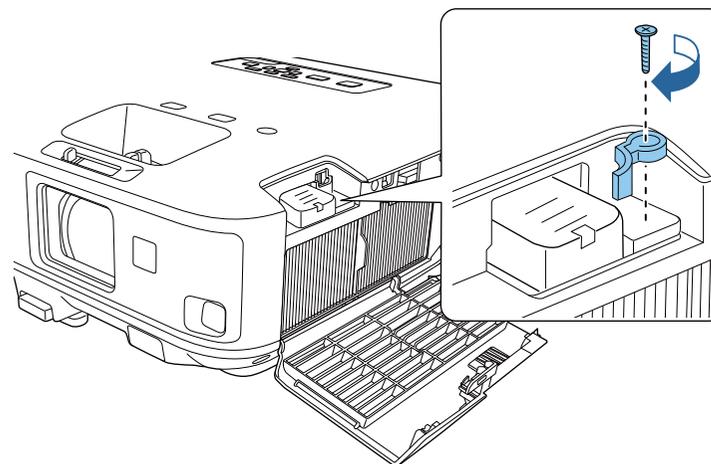
- 3** 無線LANユニットのストッパーを固定しているネジを外し、ストッパーを取り外します。



- 4** 無線LANユニットを取り付けます。



- 5** 無線LANユニットのストッパーを再度取り付け、取り外したネジで固定します。



- 6** エアフィルターカバーを閉めます。

- 7** 本機に電源コードを接続し、電源を入れます。

関連項目

- 「無線LANでの映像投写」 p.103

クイックワイヤレスを使用する(Windowsのみ)

クイックワイヤレス用USBキーを使用すると、無線LANに対応したWindowsコンピュータとプロジェクターを簡単に無線接続できます。USBキーを使用してコンピュータの無線LANの設定が自動で設定でき、投写終了後キーを取り外しできます。



クイックワイヤレス用USBキーはプロジェクターに同梱されていません。

- 1** 本機の電源を入れます。
- 2** USBキーをプロジェクターのUSB-A端子に接続します。
ネットワーク情報の更新が終了したことを通知するメッセージが表示されます。
- 3** USBキーを取り外します。
- 4** コンピューターのUSB端子にUSBキーを接続します。



Windows Vistaで自動再生ウィンドウが表示されたときは、[LaunchQWRD.exeの実行]を選択し、[許可]を選択します。

- 5** 画面の指示に従って、クイックワイヤレス用ドライバーをインストールします。



Windowsファイアウォールのメッセージが表示されたときは、[はい]をクリックしてファイアウォールを無効にします。

しばらくすると、コンピュータの映像がプロジェクターから投写されます。投写されないときは、リモコンの【LAN】ボタンを押すか、コンピュータを再起動します。

- 6** プレゼンテーションを実行します。
- 7** 投写が終了したら、Windowsタスクバーの[ハードウェアの安全な取り外し]を選択し、コンピュータからUSBキーを取り外します。



再度無線LANに接続するには、コンピュータの再起動が必要になることがあります。

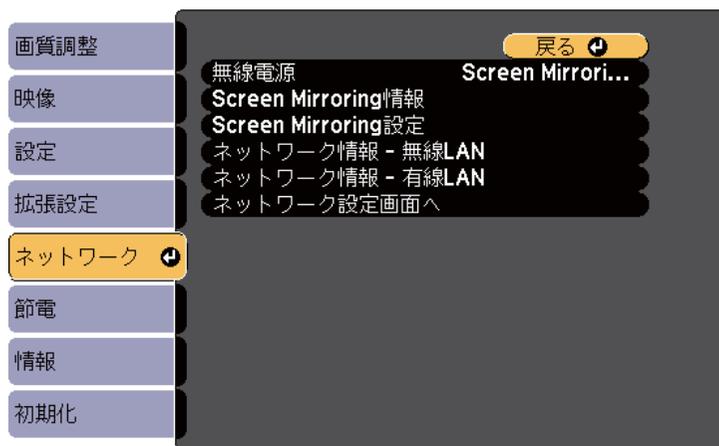
関連項目

- 「無線LANでの映像投写」 p.103

無線LANを設定する

無線ネットワーク経由でコンピュータの映像を投写するには、事前にプロジェクターのネットワーク設定が必要です。

- 1** 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 2** 【ネットワーク】を選択し、【決定】ボタンを押します。

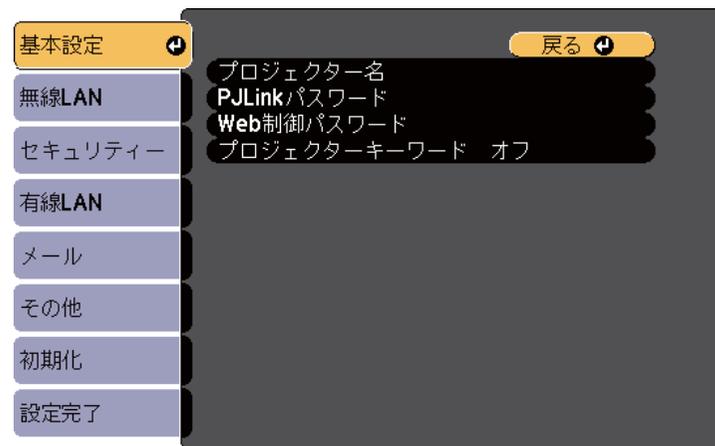


3 [無線電源]を[無線LANオン]に設定します。



4 [ネットワーク設定画面へ]を選択し、【決定】ボタンを押します。

5 [基本設定]を選択し、【決定】ボタンを押します。



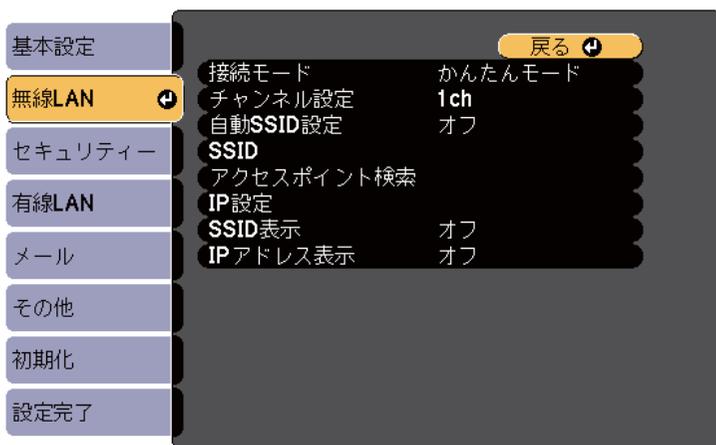
6 必要に応じて以下を設定します。

- [プロジェクター名]：ネットワーク上で本機を識別するための名前を入力します。半角英数字で16文字以内で入力します。
- [PJLinkパスワード]：PJLink対応アプリケーションを使って本機を制御するときの認証用パスワードを設定します。半角英数字で32文字以内で入力します。
- [Web制御パスワード]：Web制御で本機の設定や制御をするときの認証用パスワードを設定します。半角英数字で8文字以内で入力します。(デフォルトのユーザー名はEPSONWEB、デフォルトのパスワードはadminです。)
- [プロジェクターキーワード]：他のユーザーが誤って映像を投写しないように、セキュリティパスワードを有効にできます。プロジェクターキーワードがオンに設定されているプロジェクターから映像を投写するには、投写画面に表示されるキーワードをネットワークソフトウェアで入力する必要があります。



名前、パスワード、およびキーワードの入力には、表示されたスクリーンキーボードを使用します。リモコンの上下左右ボタンを押して文字を選択し、【決定】ボタンを押して入力します。

7 [無線LAN]を選択し、[決定]ボタンを押します。



8 [接続モード]を選択します。

- [かんたんモード]：1台のコンピューターと無線で直接接続できます。
- [マニュアルモード]：無線LANアクセスポイント経由でコンピューターと接続できます。

接続モードを切り替えるときは、画面の指示に従ってネットワーク設定を保存します。保存が完了すると、[ネットワーク]メニューが表示されます。

9 [SSID]および[IP設定]を設定します。

- プロジェクターの検索を高速化するためにSSIDを自動で割り当てる場合は、[自動SSID設定]を[オン]に設定します。SSIDを手動で割り当てる場合は、[SSID]を選択し、プロジェクターのSSIDを入力します。
- DHCPを使用できるネットワークの場合は、[IP設定]を選択し、[DHCP]を[オン]にします。

- DHCPを使用できないネットワークの場合は、[IP設定]を選択して[DHCP]を[オフ]にし、プロジェクターの[IPアドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス]を入力します。

10 設定したIPアドレスがLAN待機画面に表示されないようにするには、[SSID表示]または[IPアドレス表示]設定を[オフ]に設定します。

11 設定が終わったら、[設定完了]を選択し、画面の指示に従って設定を保存してメニューを終了します。

プロジェクターの無線LAN設定が完了したら、コンピューターの無線LAN設定をしてください。

関連項目

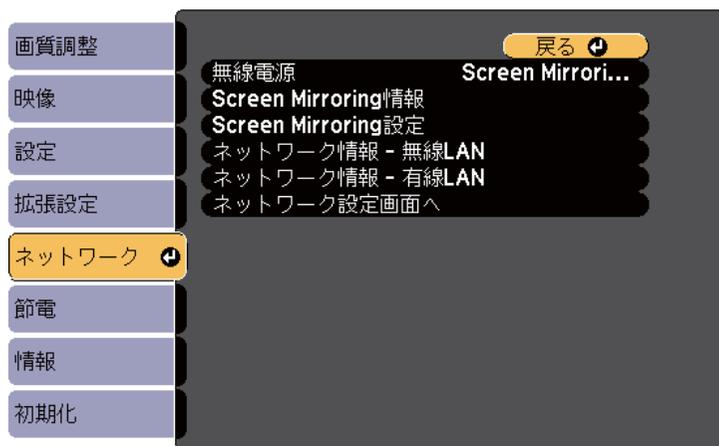
- 「無線LANでの映像投写」 p.103

無線LANアクセスポイントを検索する

アクセスポイント検索機能を使うと、周囲の無線LANアクセスポイントを検索し、接続先を簡単に選択できます。

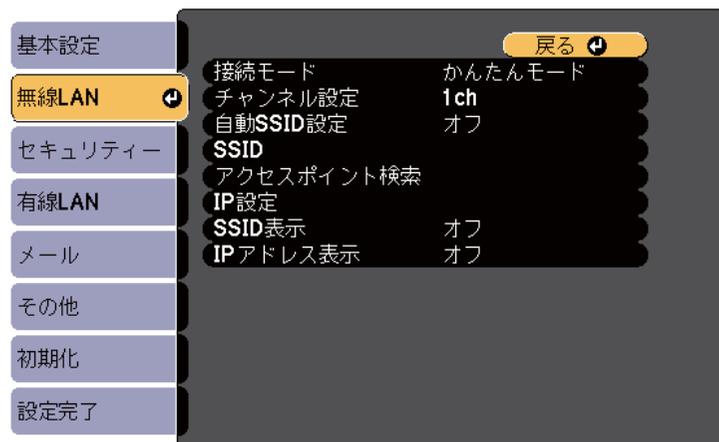
1 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。

2 [ネットワーク]を選択し、[決定]ボタンを押します。



3 [ネットワーク設定画面へ]を選択し、【決定】ボタンを押します。

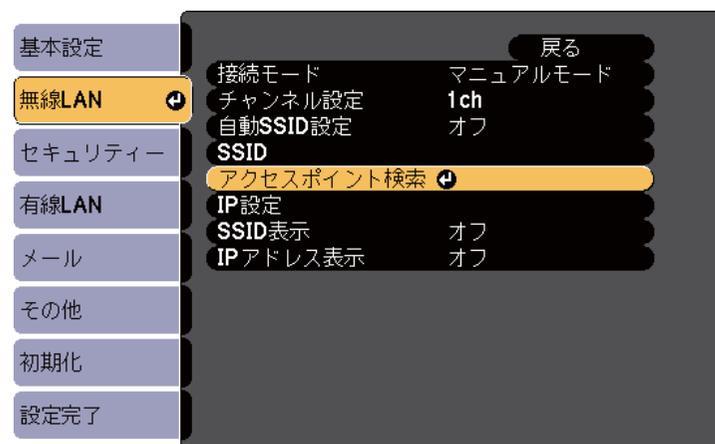
4 [無線LAN]を選択し、【決定】ボタンを押します。



5 [接続モード]を[マニュアルモード]に設定し、【決定】ボタンを押します。

接続モードを切り替えるときは、画面の指示に従ってネットワーク設定を保存します。保存が完了すると、[ネットワーク]メニューが表示されます。

6 [アクセスポイント検索]を選択し、【決定】ボタンを押します。



7 接続する無線LANアクセスポイントの名前を選択し、【決定】ボタンを押します。

8 無線LANアクセスポイントにセキュリティが設定されているときは、[セキュリティ]を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 9 無線LANの設定に合わせて、[セキュリティ]を設定します。
- 10 設定が終わったら、[設定完了]を選択し、画面の指示に従って設定を保存してメニューを終了します。

関連項目

- 「無線LANでの映像投写」 p.103
- 「ネットワークメニュー - セキュリティメニュー」 p.147

Windowsで無線LANを設定する

コンピューターとプロジェクターを接続するには、コンピューターで無線LAN設定をします。

- 1 Windowsタスクバーのネットワークアイコンをダブルクリックし、無線ユーティリティソフトウェアを起動します。

- 2 マニュアルモードで接続するときは、プロジェクターが接続しているネットワークのネットワーク名(SSID)を選択します。
- 3 [接続]をクリックします。

関連項目

- 「無線LANでの映像投写」 p.103

OS Xでの無線LANを設定する

コンピューターとプロジェクターを接続するには、コンピューターで無線LAN設定をします。

- 1 画面上部にあるメニューバーのAirMacアイコンをクリックします。
- 2 マニュアルモードで接続するときは、AirMacがオンに設定されていることを確認し、プロジェクターが接続しているネットワークのネットワーク名(SSID)を選択します。

関連項目

- 「無線LANでの映像投写」 p.103

無線LANのセキュリティを設定する

プロジェクターの無線通信に使うセキュリティを設定できます。無線LANの設定に合わせて、次のいずれかのセキュリティを設定します。

- WPA2セキュリティ

• WPA/WPA2セキュリティ



無線LANのネットワーク設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

- 1 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 2 [ネットワーク]を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 3 [ネットワーク設定画面へ]を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 4 [セキュリティ]を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 5 無線LANの設定に合わせて、セキュリティを設定します。
- 6 設定が終わったら、[設定完了]を選択し、画面の指示に従って設定を保存してメニューを終了します。

関連項目

- 「無線LANでの映像投写」 p.103
- 「ネットワークメニュー - セキュリティメニュー」 p.147

Intel WiDi(バージョン3.5以降)またはMiracastを搭載したノートPC、スマートフォン、タブレットPCなどのモバイルデバイスからプロジェクターに映像を送信できます。

Intel WiDiまたはMiracastに準拠しているデバイスであれば、ソフトウェアを追加でインストールする必要はありません。

Screen Mirroring機能を使用するときは、以下の制限事項があります。

- 3チャンネル以上のマルチチャンネルオーディオは再生できません。
- 解像度1920 × 1080以上、フレームレート50 fps以上の映像は投写できません。
- 3D映像は再生できません。
- Windows 8.1に搭載のMiracast独自拡張機能はサポートされていません。
- Intel WiDiバージョン4の独自拡張機能はサポートされていません。
- 著作権保護されたコンテンツは、Miracast接続では再生できないことがあります。



Intel WiDiは、主にUltrabookや第3世代以降のIntel Coreプロセッサを搭載した2-in-1デバイスに搭載されています。Miracastは、主にAndroid端末やWindows 8.1端末に搭載されています。

デバイスによって、Intel WiDiまたはMiracastを搭載していないことがあります。お使いのモバイルデバイスの取扱説明書をご確認ください。

関連項目

- 「ネットワーク上のプロジェクターを使用する」 [p.99](#)
- 「Screen Mirroringを設定する」 [p.111](#)
- 「Windows 8.1でScreen Mirroring接続する」 [p.113](#)
- 「Intel WiDiソフトウェアを使ってScreen Mirroring接続する」 [p.114](#)
- 「Miracast機能を使ってScreen Mirroring接続する」 [p.115](#)

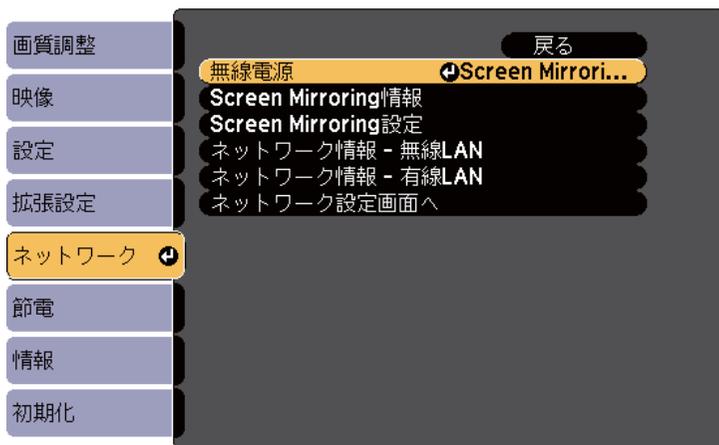
Screen Mirroringを設定する

モバイルデバイスから映像を投写するには、プロジェクターのScreen Mirroring設定を設定します。

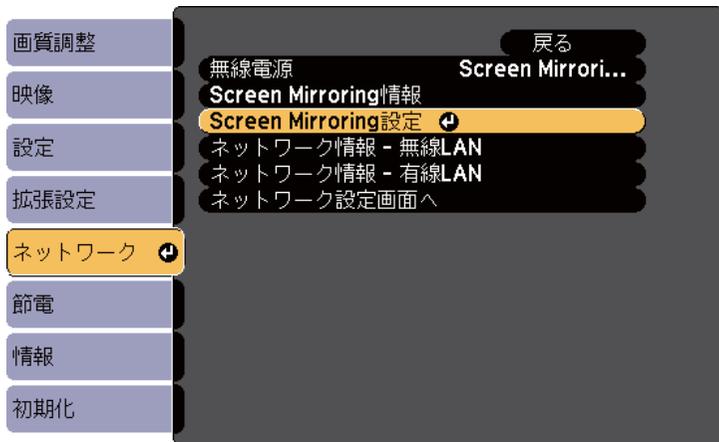
- 1 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 2 【ネットワーク】を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 3 【無線電源】を【Screen Mirroringオン】に設定します。



4 [Screen Mirroring設定]を選択し、[決定]ボタンを押します。



5 必要に応じてScreen Mirroringの設定をします。



- [ディスプレイ名]：接続可能なデバイスの一覧から本機を識別するための名前を入力します。半角英数字で32文字以内で入力します。
- [無線LAN方式]：モバイルデバイスとプロジェクターの通信方式を選択します。
- [パフォーマンス調整]：Screen Mirroringの映像表示速度および品質を調整します。品質を上げるには小さい値を選択し、速度を上げるには大きい値を選択します。
- [接続モード]：WPS (Wi-Fi Protected Setup)の種類を選択します。
- [PINコード通知]：Screen Mirroring以外の入力ソースの映像を投写中に、投写画面にPINコードを表示するかしないかを選択します。

6 設定が終わったら、[設定]を選択し、画面の指示に従って設定を保存してメニューを終了します。

関連項目

- 「モバイルデバイスからのワイヤレス投写 (Screen Mirroring)」
p.111

Windows 8.1でScreen Mirroring接続する

Windows 8.1のコンピューターをお使いのときは、チャームからワイヤレスに映像を投写するための設定ができます。Screen Mirroringで接続すると、映像と音声を本機から出力できます。

- 1 必要に応じて本機の[Screen Mirroring設定]を設定します。
- 2 リモコンの[LAN]ボタンを押して、Screen Mirroringソースに切り替えます。
Screen Mirroring待機画面が表示されます。
- 3 コンピューターでチャームの[デバイス]を選択し、[表示]を選択します。



- 4 [ワイヤレスディスプレイの追加]を選択します。



接続可能なデバイスの一覧が表示されます。

- 5 一覧から本機のディスプレイ名を選択します。



- 6 コンピューターにPIN入力画面が表示されたときは、Screen Mirroring待機画面または投写している映像の右下に表示されているPINコードを入力します。

コンピューターの映像がプロジェクターから投写されます。



接続が確立されるまで時間がかかることがあります。接続が完了するまでプロジェクターの電源コードを抜かないでください。電源コードを抜くと、デバイスがフリーズしたり、誤作動する原因になります。

関連項目

- 「モバイルデバイスからのワイヤレス投写 (Screen Mirroring)」
p.111

Intel WiDiソフトウェアを使ってScreen Mirroring接続する

Intel WiDiソフトウェアがインストールされたWindows 7、Windows 8のモバイルデバイスをお使いのときは、Intel WiDiソフトウェアを使ってワイヤレスに映像を投写できます。Screen Mirroringで接続すると、映像と音声の本機から出力できます。

- 1 必要に応じて本機の[Screen Mirroring設定]を設定します。
- 2 リモコンの[LAN]ボタンを押して、Screen Mirroringソースに切り替えます。
Screen Mirroring待機画面が表示されます。
- 3 モバイルデバイスでIntel WiDiソフトウェアを起動します。
接続可能なデバイスの一覧が表示されます。



- 4 一覧から本機のディスプレイ名を選択します。
- 5 モバイルデバイスにPIN入力画面が表示されたときは、Screen Mirroring待機画面または投写している映像の右下に表示されているPINコードを入力します。
モバイルデバイスの映像がプロジェクターから投写されます。



接続が確立されるまで時間がかかることがあります。接続が完了するまでプロジェクターの電源コードを抜かないでください。電源コードを抜くと、デバイスがフリーズしたり、誤作動する原因になります。

関連項目

- 「モバイルデバイスからのワイヤレス投写 (Screen Mirroring)」
p.111

Miracast機能を使ってScreen Mirroring接続する

Miracastが搭載されたスマートフォンなどのモバイルデバイスをお使いのときは、Miracast機能を使ってワイヤレスに映像を投写できます。Screen Mirroringで接続すると、映像と音声を本機から出力できます。

- 1** 必要に応じて本機の[Screen Mirroring設定]を設定します。
- 2** リモコンの[LAN]ボタンを押して、Screen Mirroringソースに切り替えます。
Screen Mirroring待機画面が表示されます。
- 3** モバイルデバイスでMiracast機能を使用してプロジェクターを検索します。
接続可能なデバイスの一覧が表示されます。
- 4** 一覧から本機のディスプレイ名を選択します。
- 5** モバイルデバイスにPIN入力画面が表示されたときは、Screen Mirroring待機画面または投写している映像の右下に表示されているPINコードを入力します。
モバイルデバイスの映像がプロジェクターから投写されます。



接続が確立されるまで時間がかかることがあります。接続が完了するまでプロジェクターの電源コードを抜かないでください。電源コードを抜くと、デバイスがフリーズしたり、誤作動する原因になります。

モバイルデバイスによっては、接続時にデバイスの削除が必要になることがあります。モバイルデバイスの画面の指示に従って操作してください。

関連項目

- 「モバイルデバイスからのワイヤレス投写 (Screen Mirroring)」
[p.111](#)

プロジェクターを監視および制御する

ネットワーク経由でプロジェクターの監視と制御を行う方法について説明します。

関連項目

- 「EasyMP Monitor」 [p.117](#)
- 「Webブラウザを使ってネットワークプロジェクターを制御する」 [p.118](#)
- 「メール通知でプロジェクターの異常を通知する」 [p.120](#)
- 「SNMPを使って監視する」 [p.122](#)
- 「ESC/VP21コマンドを使用する」 [p.123](#)
- 「PJLinkについて」 [p.125](#)
- 「Crestron RoomViewについて」 [p.126](#)
- 「プロジェクターのイベントスケジュールを設定する」 [p.130](#)

EasyMP Monitorを使用すると、ネットワークに接続されたプロジェクターの状態をコンピューターに表示して確認したり、コンピューターから制御したりできます (Windowsのみ)。詳しくは、『EasyMP Monitor操作ガイド』をご覧ください。

EasyMP Monitorは以下のWebサイトからダウンロードしてください。

<http://www.epson.jp/download/>

関連項目

- 「プロジェクターを監視および制御する」 [p.116](#)

コンピューターのWebブラウザを使って、ネットワークに接続されたプロジェクターのメニュー設定や制御を離れた場所から操作できます。



- Webブラウザは、Internet Explorer 8.0以降またはSafariを使用してください。Webブラウザの接続設定で、プロキシサーバーを使用しない設定にします。メニュー設定の中には、Webブラウザからは設定できない項目があります。
- [節電]メニューで[待機モード]を[通信オン]に設定すると、本機がスタンバイ状態(電源オフ)のときも、Webブラウザを使った設定や制御ができます。

- 1 本機の電源がオンになっていることを確認します。
- 2 ネットワークに接続されているコンピューターでWebブラウザを起動します。
- 3 ブラウザーのアドレス入力部にプロジェクターのIPアドレスを入力し、コンピューターのEnterキーを押します。
Web制御画面が表示されます。



- Web制御画面を表示するには、ログインが必要なことがあります。ログイン画面が表示されたときは、ユーザー名とパスワードを入力します。(デフォルトのユーザー名は**EPSONWEB**、デフォルトのパスワードは**admin**です。)
- パスワードは、[ネットワーク]メニューの[Web制御パスワード]で変更できます。
 - [ネットワーク] > [基本設定] > [Web制御パスワード]

- 4 設定したいメニューを選択し、画面の指示に従って設定します。

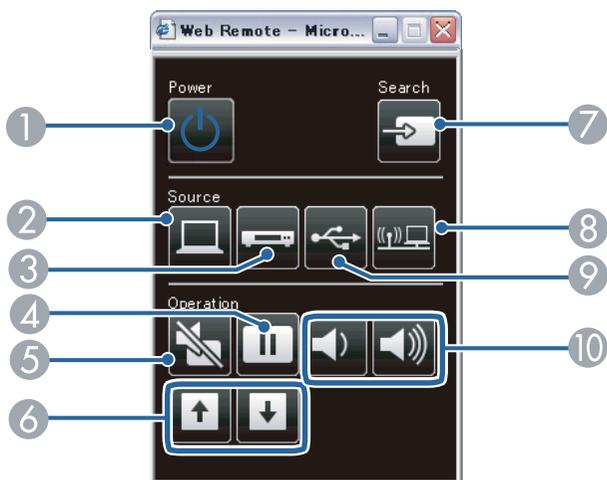


- 以下の項目はWebブラウザでは設定できません。
テストパターン、ポインター形状、ユーザーボタン、ユーザーロゴ、言語、ランプ点灯時間初期化
- 以下の項目はWebブラウザでのみ設定できます。
 - SNMPコミュニティ名(半角英数字で32文字以内)
 - Monitorパスワード(半角英数字で16文字以内)
 - HTTPポート追加(Web制御に使用するポート番号で、80(デフォルト)、843、3620、3621、3625、3629、4352、4649、5357、10000、10001、41794以外の番号)

- 5 投写映像を操作するには、**Web Remote**を選択します。



- 6 アイコンを選択して、本機の手動操作をします。



- ① 電源ボタン
- ② 映像の入カソースをコンピューターに切替
- ③ 映像の入カソースをビデオおよびHDMIに切替
- ④ 静止ボタン
- ⑤ AVミュートボタン
- ⑥ ページ送り/戻しボタン
- ⑦ 映像の入力検出
- ⑧ 映像の入カソースをネットワークに切替
- ⑨ 映像の入カソースをUSBディスプレイまたはUSBデバイスに切替
- ⑩ 音量ボタン

関連項目

- 「プロジェクターを監視および制御する」 [p.116](#)
- 「節電メニュー」 [p.152](#)
- 「ネットワークメニュー - 基本設定メニュー」 [p.145](#)

プロジェクターが異常/警告状態になったとき、異常状態が電子メールで通知されるようにメール通知機能を設定できます。

[節電]メニューで[待機モード]を[通信オン]に設定すると、本機がスタンバイ状態(電源オフ)のときも、通知メールを送信できます。

- 1 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 2 【ネットワーク】を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 3 【ネットワーク設定画面へ】を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 4 【メール】を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 5 【メール通知機能】を【オン】に設定します。
- 6 【SMTPサーバー】にIPアドレスを入力します。



127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255のIPアドレスは使用できません(xは0～255の数値)。

- 7 【ポート番号】にSMTPサーバーのポート番号を1～65535の数値で入力します(デフォルトは25)。

- 8 【宛先設定】を選択し、メールアドレスとメール通知する異常/警告の種類を選択します。宛先は3つまで設定できます。



メールアドレスは半角英数字で32文字以内で入力します。

- 9 設定が終わったら、【設定完了】を選択し、画面の指示に従って設定を保存してメニューを終了します。



本機に致命的な異常が発生し、瞬時に起動停止状態になったときは、メールが送信できないことがあります。

関連項目

- 「プロジェクターを監視および制御する」 [p.116](#)
- 「異常通知メールの見方」 [p.120](#)
- 「節電メニュー」 [p.152](#)

異常通知メールの見方

通知メールを送信する設定をしているとき、本機が異常/警告状態になると、以下の情報を含むメールが送信されます。

- メール差出人：宛先1のアドレス
- メール件名：Epson Projector
- 1行目：異常が生じたプロジェクター名
- 2行目：異常が生じたプロジェクターのIPアドレス
- 3行目：異常の内容



本機に致命的な異常が発生し、瞬時に起動停止状態になったときは、メールが送信できないことがあります。

関連項目

- 「メール通知でプロジェクターの異常を通知する」 [p.120](#)

コンピュータにSNMP(Simple Network Management Protocol)ソフトウェアをインストールして、プロジェクターを監視できます。SNMPによる管理は、ネットワーク管理者が行います。SNMPソフトウェアを使用するときは、本機のSNMP設定をします。

- 1 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 2 【ネットワーク】を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 3 【ネットワーク設定画面へ】を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 4 【その他】を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 5 【SNMP】を【オン】にします。
- 6 トラップIPアドレスに、SNMP通知を受信するIPアドレスを入力します。0～255の数字を入力します。



127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255のIPアドレスは使用できません(xは0～255の数値)。

- 7 設定が終わったら、【設定完了】を選択し、画面の指示に従って設定を保存してメニューを終了します。

関連項目

- 「プロジェクターを監視および制御する」 p.116

ESC/VP21を使用して外部機器から本機を制御できます。

関連項目

- 「プロジェクターを監視および制御する」 [p.116](#)
- 「ESC/VP21コマンドリスト」 [p.123](#)
- 「ケーブル配線」 [p.123](#)

ESC/VP21コマンドリスト

本機に電源オンのコマンドを送信すると、電源が入りウォームアップ状態になります。電源オンの状態になると、本機はコロン `:` (3Ah)を返信します。

本機はコマンドを受け取ると、そのコマンドを実行後 `:` を返信し、次のコマンドを受け付けます。

異常終了のときは、エラーメッセージを出力した後に `:` を返信しません。

以下のコマンドを使用できます。

項目			コマンド
電源のオン/オフ	オン		PWR ON
	オフ		PWR OFF
信号切り替え	コンピューター1	オート	SOURCE 1F
		RGB	SOURCE 11
		コンポーネント	SOURCE 14
	コンピューター2	オート	SOURCE 2F
		RGB	SOURCE 21
		コンポーネント	SOURCE 24
	HDMI1/MHL		

項目			コマンド
	HDMI2		SOURCE A0
	ビデオ		SOURCE 41
	USB Display		SOURCE 51
	USB		SOURCE 52
	LAN		SOURCE 53
	Screen Mirroring		SOURCE 56
A/Vミュート機能のオン/オフ	オン		MUTE ON
	オフ		MUTE OFF

各コマンドの最後に復帰 (CR) コード (0Dh) を追加して送信してください。

詳細はお買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

関連項目

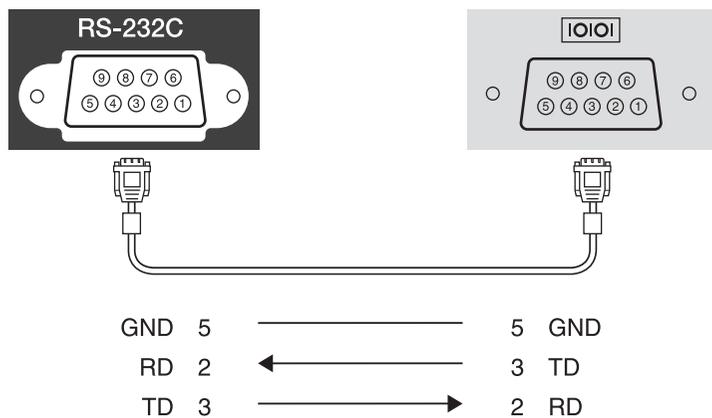
- 「ESC/VP21コマンドを使用する」 [p.123](#)

ケーブル配線

シリアル接続

- コネクター形状：D-Sub 9pin(オス)
- プロジェクター入力端子名：RS-232C
- ケーブルタイプ：クロスケーブル

以下の図では、左の端子がプロジェクター側、右の端子がコンピューター側を示しています。



信号名	働き
GND	各信号線の接地
TD	送信データ
RD	受信データ

通信プロトコル

- ボーレート基準速度：9600bps
- データ長：8bit
- パリティ：なし
- ストップビット：1bit
- フロー制御：なし

関連項目

- 「ESC/VP21コマンドを使用する」 [p.123](#)

JBMIA(社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会)によりネットワーク対応プロジェクターの制御用プロトコルの標準化が進められ、制御用標準プロトコルPJLink Class1が策定されました。

このプロジェクターは、JBMIAによって策定されたPJLink Class1規格に準拠しています。

PJLinkを使用するには、事前にネットワーク設定を行う必要があります。

次のコマンドを除く、PJLink Class1によって規定されているすべてのコマンドに対応しており、PJLink規格適合性検証の結果が承認されています。

<http://pjlink.jbmia.or.jp/>

● 非対応コマンド

働き		PJLinkコマンド
ミュート設定	映像ミュート設定	AVMT 11
	音声ミュート設定	AVMT 21

● PJLinkおよび対応するプロジェクターソースによって規定された入力名

入力ソース	PJLinkコマンド
コンピューター1	INPT 11
コンピューター2	INPT 12
ビデオ	INPT 21
HDMI1/MHL	INPT 32
HDMI2	INPT 33
USB	INPT 41
LAN	INPT 52
USB Display	INPT 53
Screen Mirroring	INPT 57

● 「メーカー名問合せ」で表示するメーカー名

EPSON

● 「機種情報問合せ」で表示する機種名

- EPSON 1985
- EPSON 1980
- EPSON 1975
- EPSON 1970

関連項目

- 「プロジェクターを監視および制御する」 [p.116](#)
- 「ネットワーク上のプロジェクターを使用する」 [p.99](#)

Crestron RoomViewは統合コントロールシステムです。ネットワークで接続された複数の機器を一括して監視、制御できます。Crestron RoomViewを使うと、Webブラウザを利用してプロジェクターの制御や監視ができます。



- Crestron RoomViewを使用するときは、本機のWeb制御機能や、EasyMP Monitor用のMessage Broadcastingプラグインを使用できません。
- [節電]メニューで[待機モード]を[通信オン]に設定すると、本機がスタンバイ状態(電源オフ)でもプロジェクターを制御できます。

Crestron RoomViewの詳細については、Crestron社Webサイトを参照してください。

<http://www.crestron.com>

システム内の機器の監視には、Crestron社が提供するCrestron RoomView ExpressまたはCrestron RoomView Server Editionを使用できます。監視の他にヘルプデスクとの通信、緊急時のメッセージ送信ができます。詳細は以下をご覧ください。

<http://www.crestron.com/getroomview>

本書では、Webブラウザを利用してコンピューターの画面上で本機を操作する方法を説明します。

関連項目

- 「プロジェクターを監視および制御する」 [p.116](#)
- 「Crestron RoomViewを設定する」 [p.126](#)
- 「Crestron RoomViewを使ってネットワークプロジェクターを制御する」 [p.127](#)
- 「節電メニュー」 [p.152](#)

Crestron RoomViewを設定する

Crestron RoomViewを使ってプロジェクターの監視と制御をするには、コンピューターとプロジェクターがネットワークに接続されていることを確認します。無線で接続する場合は、マニュアルモードでネットワークに接続します。

- 1 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 2 【ネットワーク】を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 3 【ネットワーク設定画面へ】を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 4 【その他】を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 5 【Crestron RoomView】を【オン】に設定して、プロジェクターが検出されるようにします。
- 6 設定が終わったら、【設定完了】を選択し、画面の指示に従って設定を保存してメニューを終了します。

- 7 プロジェクターの電源を入れなおして設定を有効にします。

関連項目

- 「Crestron RoomViewについて」 p.126

Crestron RoomViewを使ってネットワークプロジェクターを制御する

プロジェクターでCrestron RoomViewを使用する設定にすると、コンピューターのWebブラウザを使ってネットワークに接続されたプロジェクターの設定や制御ができます。

- 1 ネットワークに接続されているコンピューターでWebブラウザを起動します。

- 2 ブラウザーのアドレス入力部にプロジェクターのIPアドレスを入力し、コンピューターのEnterキーを押します。
次の画面が表示されます。



- 3 投写する入力ソースを[Sources List]から選択します。上下ボタンをクリックして、入力ソースをスクロールできます。
- 4 画面上のボタンを操作します。プロジェクターのリモコンボタンと同様の操作ができます。画面の下部にあるボタンは左右にスクロールできます。



ボタンは以下のように動作します。

- OK : 【決定】ボタン
- Menu : プロジェクターのメニュー表示

- 5 プロジェクターの情報を表示するには、[Info]をクリックします。

6 プロジェクター情報、Crestron Control情報、およびパスワードを変更するには、[Tools]をクリックし、表示された画面で設定してから、[Send]をクリックします。

7 設定が終わったら、[Exit]をクリックして画面を閉じます。

関連項目

- 「Crestron RoomView(について)」 p.126
- 「Crestron RoomView操作画面」 p.128
- 「Crestron RoomView Tools画面」 p.129

Crestron RoomView操作画面

操作画面を使って、プロジェクターの制御と投写映像の調整ができます。



① Power	電源をオン/オフします。
---------	--------------

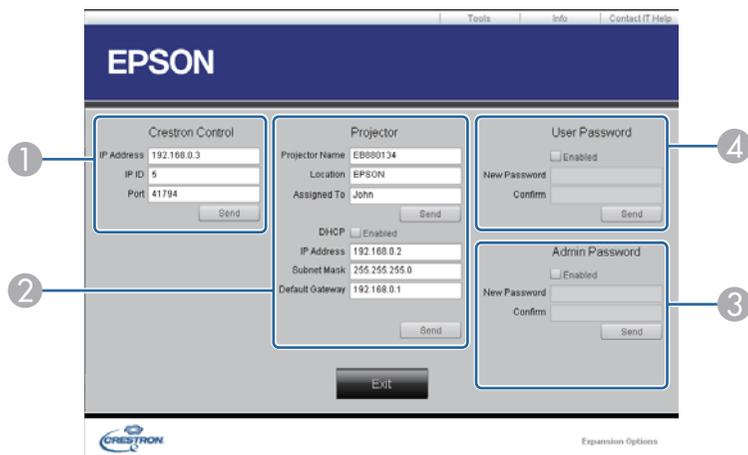
Vol-/Vol+	音量を調整します。
A/V Mute	映像と音声を一時的に遮断/解除します。
②	投写する入力ソースを切り替えます。[Source List]に表示されていない入力ソースを表示するには、(a)、(b)をクリックして上下にスクロールします。映像信号が入力されているソースは青色で表示されます。入力ソース名は任意で変更できます。
③ Freeze	映像を一時停止/解除します。
Contrast	映像のコントラストを調整します。
Brightness	映像の明るさを調整します。
Color	映像の色の濃さを調整します。
Sharpness	映像のシャープ感を調整します。
Zoom	投写映像の一部をズームします。上下左右ボタンをクリックすると、ズームされた映像の表示位置を移動できます。
④ 上下左右ボタン	リモコンの上下左右ボタンと同じ操作をします。
OK	リモコンの【決定】ボタンと同じ操作をします。
Menu	メニュー画面を表示/終了します。
Auto	コンピューター1端子またはコンピューター2端子からアナログRGB信号を投写しているときにクリックすると、[映像]メニューの[トラッキング]、[同期]、[表示位置]の設定を最適にします。
Search	映像信号が入力されている入力ソースの映像に切り替えます。
Esc	リモコンの【戻る】ボタンと同じ操作をします。
⑤ Contact IT Help	Help Deskウィンドウが表示されます。Crestron RoomView Expressを利用する管理者に対して、メッセージの送受信を行います。
Info	接続しているプロジェクターの情報を表示します。
Tools	接続しているプロジェクターの設定を変更します。

関連項目

- 「Crestron RoomViewを使ってネットワークプロジェクターを制御する」
p.127

Crestron RoomView Tools画面

Tools画面を使って、接続しているプロジェクターの設定を変更できます。



①	Crestronの集中制御コントローラーを設定します。	
②	Projector Name	接続しているプロジェクターを、ネットワーク上で識別するための個別の名前を入力します。(半角英数字16文字以内)
	Location	接続しているプロジェクターの設置場所名を入力します。(半角英数字記号32文字以内)
	Assigned To	プロジェクターのユーザー名を入力します。(半角英数字記号32文字以内)

DHCP	DHCPを使用するときは選択します。DHCPを有効にしたときは、IPアドレスなどは入力できません。
IP Address	接続しているプロジェクターに割り当てるIPアドレスを入力します。
Subnet Mask	現在接続しているプロジェクターのサブネットマスクを入力します。
Default Gateway	現在接続しているプロジェクターのゲートウェイアドレスを入力します。
Send	変更した内容を確定します。
③ Enabled (Admin Password)	Tools画面を開くときにパスワードの入力を求めるときは選択します。
New Password	Tools画面を開くときのパスワードを変更するには新しいパスワードを入力します。(半角英数字26文字以内)
Confirm	[New Password]に入力したパスワードを再度入力します。一致しないときは、エラーが表示されません。
Send	[Admin Password]で変更した内容を確定します。
④ Enabled (User Password)	操作画面を開くときにパスワードの入力を求めるときは選択します。
New Password	操作画面を開くときのパスワードを変更するには新しいパスワードを入力します。(半角英数字26文字以内)
Confirm	[New Password]に入力したパスワードを再度入力します。一致しないときは、エラーが表示されません。
Send	[User Password]で変更した内容を確定します。

関連項目

- 「Crestron RoomViewを使ってネットワークプロジェクターを制御する」
p.127

プロジェクターの電源のオン/オフや入力ソースの切り替えなど、最大30件のイベントをプロジェクターにスケジュール登録できます。設定した日時に選択したイベントが自動的に実行されます。

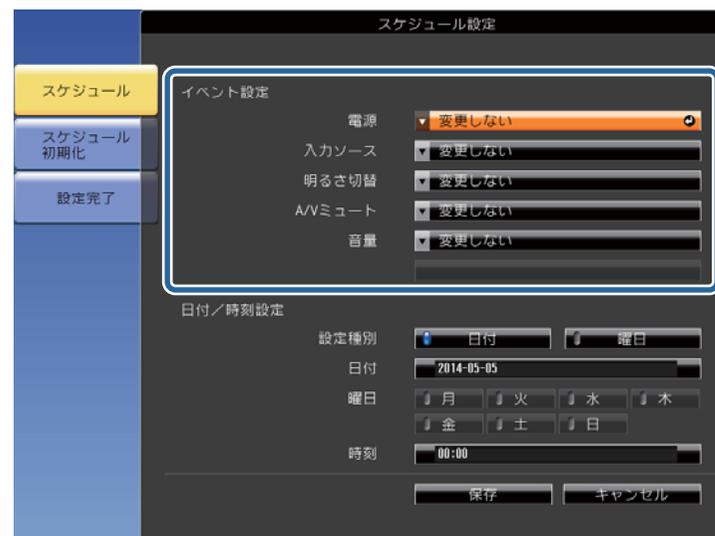
警告

燃えやすい物をプロジェクターのレンズの前に置かないでください。スケジュール機能によりプロジェクターの電源が自動でオンになり、火災の原因となることがあります。

- 1 [日付&時刻]メニューで日時を設定します。
☛ [拡張設定] > [動作設定] > [日付&時刻]
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 3 [拡張設定]を選択し、【決定】ボタンを押します。
 パスワードプロテクト画面で[時刻/スケジュール保護]をオンにしているときは、事前に[時刻/スケジュール保護]をオフにします。
- 4 [スケジュール設定画面へ]を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 5 [新規追加]を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 6 イベント実行時のプロジェクターの動作内容を設定します。



- 7 イベントを実行する日付や曜日、時刻を選択します。



- 8** [保存]を選択し、[決定]ボタンを押します。
登録したイベントが画面に表示されます。イベントのステータスや時刻はアイコンやインジケータで示されます。



- ①  : 有効なイベント
 : 定期的なイベント
 : 無効なイベント
 ②  : 1回限りのイベント
 : 定期的なイベント
 : 通信監視のオン/オフ
 : 無効なイベント

- 9** 登録されているイベントを編集するには、イベントを選択し、[戻る]ボタンを押します。

- 10** 表示されたメニューから操作を選択します。

- [有効]/[無効]：選択したイベントを有効または無効にできません。
- [編集]：イベントの動作内容または日時を変更できます。
- [削除]：登録したイベントを一覧から削除できます。

- 11** [設定完了]を選択して、[はい]を選択します。

登録したイベントをすべて削除するには、[スケジュール初期化]を選択します。

関連項目

- 「プロジェクターを監視および制御する」 [p.116](#)
- 「日時を設定する」 [p.39](#)
- 「パスワードを設定する」 [p.93](#)

メニューの設定

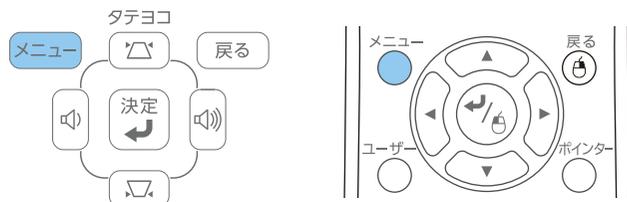
プロジェクターメニューの機能と設定について説明しています。

関連項目

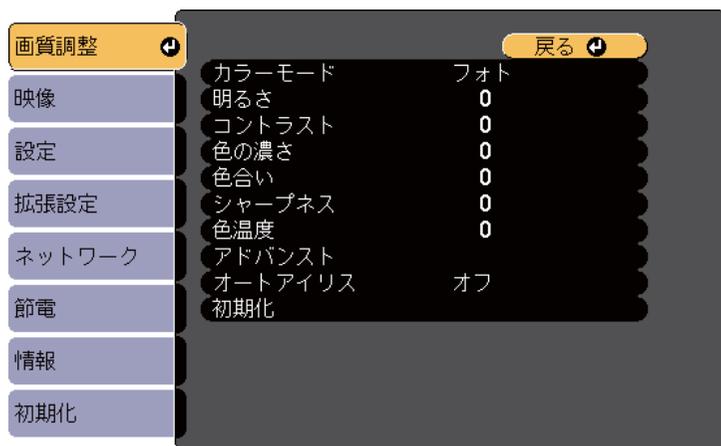
- 「プロジェクターメニューを操作する」 [p.133](#)
- 「ソフトキーボードを操作する」 [p.134](#)
- 「画質調整メニュー」 [p.135](#)
- 「映像メニュー」 [p.137](#)
- 「設定メニュー」 [p.139](#)
- 「拡張設定メニュー」 [p.141](#)
- 「ネットワークメニュー」 [p.144](#)
- 「節電メニュー」 [p.152](#)
- 「情報メニュー」 [p.153](#)
- 「初期化メニュー」 [p.155](#)
- 「メニュー設定を別のプロジェクターにコピーする（一括設定機能）」 [p.156](#)

プロジェクターのメニューを使うと、プロジェクターの各種動作を設定できます。プロジェクターのメニューは投写画面に表示されます。

- 1 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。



[画質調整]メニューが表示されます。



- 2 上下ボタンを押して、左側に表示されるメニュー項目を選択します。各メニューの設定が右側に表示されます。



現在投写している入力ソースによって設定できる項目が異なります。

- 3 表示されている項目を変更するには、【決定】ボタンを押します。

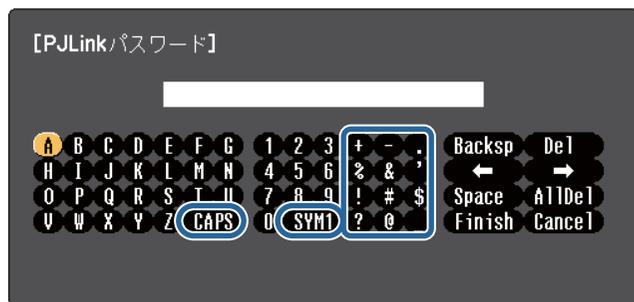
- 4 上下ボタンを押して、設定を選択します。
- 5 メニュー画面の下に表示されるナビゲーションに従って項目を設定します。
- 6 メニュー設定をすべて初期設定に戻すには、【初期化】を選択します。
- 7 メニューの設定が終わったら、【戻る】ボタンを押します。
- 8 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

関連項目

- 「メニューの設定」 p.132

数字や文字の入力が必要なときはソフトキーボードが表示されます。

- 1 リモコンまたは操作パネルの上下左右ボタンを使って、入力する数字や文字を選択し、【決定】ボタンを押します。



【CAPS】キーを選択すると、文字の大文字小文字が切り替わります。【SYM1/2】キーを選択すると、枠に囲まれている記号が変わります。

- 2 テキストの入力後、キーボードの【Finish】を選択して入力を確定します。【Cancel】を選択すると、テキストの入力を取り消します。



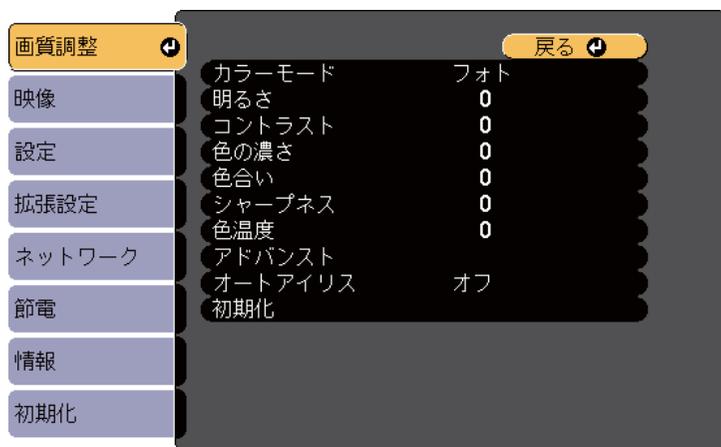
コンピューターのWebブラウザーを使って、ネットワークに接続されたプロジェクターの設定や制御ができます。プロジェクターメニューのソフトキーボードでは入力できない文字があります。ソフトキーボードで入力できない文字はWebブラウザーを使って入力してください。

関連項目

- 「メニューの設定」 [p.132](#)

- 「Webブラウザーを使ってネットワークプロジェクターを制御する」 [p.118](#)

[画質調整]メニューでは、現在投写している入力ソースの映像の画質を調整できます。現在投写している入力ソースによって設定できる項目が異なります。



設定を変更するには、変更したい入力ソースの映像が投写されていることを確認してください。

設定	選択肢	説明
カラーモード	カラーモードの一覧を参照	使用シーンに応じて、画質を選択できます。
明るさ	レベル調整	映像の明るさを調整します。
コントラスト	レベル調整	映像のコントラストを調整します。
色の濃さ	レベル調整	映像の色の濃さを調整します。
色合い	レベル調整	映像の色合いを調整します。
シャープネス	レベル調整	映像のシャープ感を調整します。

設定	選択肢	説明
色温度	5000K ~ 10000K (カラーモードがsRGB またはDICOM SIMの場合) -3~6(その他のカラーモードの場合)	映像全体の色合いを調整します。高い値を選択すると青みがかった映像になり、低い値を選択すると赤みを帯びた映像になります。
アドバンスト	ガンマ RGB RGBCMY	映像のガンマレベル、色相を調整します。 [ガンマ]：補正値を選んだり、投写映像やガンマグラフを見ながら映像の発色を調整します。 [RGB]：オフセット、ゲインをR(赤)、G(緑)、B(青)の成分ごとに調整します。 [RGBCMY]：R(赤)、G(緑)、B(青)、C(シアン)、M(マゼンタ)、Y(イエロー)ごとに色相、彩度、明度を調整します。
オートアイリス	オフ 標準 高速	カラーモードを[ダイナミック]または[シアター]に設定しているとき、映像に合わせて投写時の光量を調整します。
初期化	—	[画質調整]メニューで調整したすべての値を初期値に戻します。



[明るさ]の設定はランプの明るさには影響しません。ランプの明るさを変更するには、[節電]メニューで[明るさ切替]を設定します。

関連項目

- 「メニューの設定」 p.132

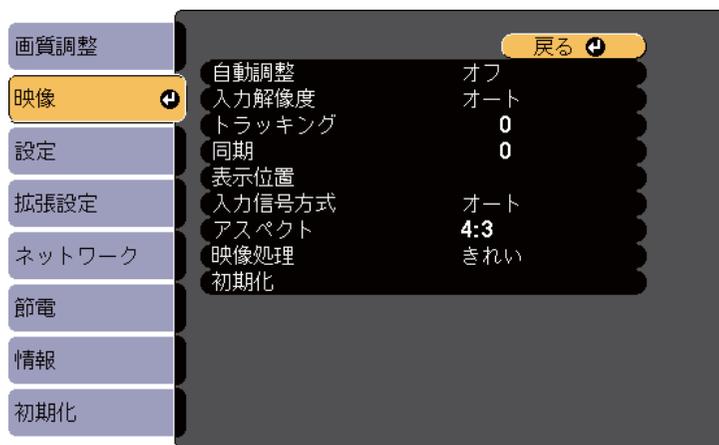


- 「カラーモードの種類」 [p.62](#)

本機は入力信号方式を自動的に検出し、映像設定を最適化します。詳細な設定が必要なときは、[映像]メニューを使用できます。現在投写している入力ソースによって設定できる項目が異なります。



現在の入力ソースがUSB Display、USB、LAN、またはScreen Mirroringのとき、[映像]メニューは設定できません。



リモコンの【自動調整】ボタンを押して、[表示位置]、[トラッキング]、[同期]の設定を初期値に戻すことができます。

設定を変更するには、変更したい入力ソースの映像が投写されていることを確認してください。

設定	選択肢	説明
自動調整	オン オフ	[オン]にすると、トラッキング、同期、表示位置を最適な状態に自動調整します。

設定	選択肢	説明
入力解像度	オート ノーマル ワイド	[オート]に設定しても投写映像が欠けるときは、入力信号の解像度を設定します。
トラッキング	レベル調整	映像に縦の縞模様が出ないように映像を調整します。
同期	レベル調整	映像にぼやけ、ちらつきが出ないように映像を調整します。
表示位置	上 下 左 右	投写画面内の映像の表示位置を調整します。
プログレッシブ変換 (インターレース信号 (480i/576i/1080i) 入力時)	オフ ビデオ フィルム/オート	インターレース信号をプログレッシブ信号に変換します。 [オフ]：動きの速いビデオ映像に適しています。 [ビデオ]：一般のビデオ映像に適しています。 [フィルム/オート]：映画フィルムやCG、アニメーションに適しています。
ノイズリダクション	オフ NR1 NR2	アナログ映像のちらつきを2段階のレベルで抑えます。

設定	選択肢	説明
HDMIビデオレベル	オート 通常 拡張	HDMI入力端子に接続された機器の設定に合わせて、本機のビデオレベルを設定します。 [オート]：ビデオレベルを自動的に検出します。 [通常]：コンピューター以外の機器からの映像に適しています。映像の黒い部分が明るすぎる場合に選択すると効果的です。 [拡張]：コンピューターからの映像に適しています。映像が暗すぎる場合に選択すると効果的です。
入力信号方式	オート RGB コンポーネント	コンピューター端子からの映像信号を選択します。 [オート]：映像信号を自動的に検出します。 [RGB]：コンピューター/RGBビデオ入力の色を補正します。 [コンポーネント]：コンポーネントビデオ入力の色を補正します。
ビデオ信号方式	オート NTSC NTSC4.43 PAL M-PAL N-PAL PAL60 SECAM	ビデオ端子からの映像信号を設定します。 [オート]：映像信号を自動的に検出します。 [オート]に設定している場合に映像にノイズが入ったり、映像が映らないときは、接続している機器に応じて適切な映像信号を選択します。
アスペクト	アスペクト比の一覧を参照	映像のアスペクト比(縦横比)を設定します。

設定	選択肢	説明
オーバースキャン (コンポーネントビデオ信号、RGBビデオ信号方式の 入力時)	オート オフ 4% 8%	出画率(投写する映像の範囲)を変更して、映像がトリミングされる範囲を設定します。
映像処理	きれい 速い	映像処理の速度、画質を調整します。 [速い]：映像の表示速度を速くします。 [きれい]：映像の画質が向上します。
初期化	—	[入力信号方式]と[映像処理]を除く、[映像]メニューで調整したすべての値を初期値に戻します。



以下のときは、[ノイズリダクション]は設定できません。

- [映像処理]が[速い]に設定されている。
- [プログレッシブ変換]が[オフ]に設定されている。
- デジタルRGB信号が入力されている。
- インターレース信号(480i/576i/1080i)が入力されている。

関連項目

- 「メニューの設定」 [p.132](#)
- 「アスペクトモードの種類」 [p.60](#)

[設定]メニューでは、プロジェクターの各種設定ができます。



設定	選択肢	説明
台形補正	タテヨコ Quick Corner	台形にゆがんだ投写画面を補正します。 [タテヨコ]：縦方向、横方向のゆがみを補正します。また、自動補正のオン/オフを設定します。 [Quick Corner]：投写画面のコーナーの形状を個別に補正します。
2画面	画面サイズ 入力ソース 左右画面入替 音声切替	投写画面を分割し、2つの映像を横に並べて表示します。(【戻る】ボタンを押すと、2画面表示を終了します。)
操作ボタンロック	全ロック 操作ロック オフ	操作パネルの操作制限を設定します。 [全ロック]：すべてのボタンをロックします。 [操作ロック]：電源ボタンを除くすべてのボタンをロックします。 [オフ]：ボタンをロックしません。

設定	選択肢	説明
ポインター形状	ポインター 1： ポインター 2： ポインター 3： 	ポインター形状を選択します。
音量	レベル調整	本機のスピーカーまたは外部スピーカーの音量を調整します。設定した内容は入力ソースごとに保持されます。
リモコン受光部	フロント・リア フロント リア オフ	リモコンからの操作信号を受信する受光部を制限します。[オフ]にすると、リモコンからの操作ができなくなります。
ユーザーボタン	明るさ切替 情報 プログレッシブ変換 テストパターン マルチスクリーン 入力解像度	リモコンの【ユーザー】ボタンに割り当てるメニュー項目を設定します。ボタンを押すと、割り当てたメニュー項目がワンタッチで表示されます。
テストパターン	—	機器を接続せずに映像のフォーカス、ズーム、台形補正を調整できるようにテストパターンを表示します。(【戻る】ボタンを押すと、パターン表示を終了します。) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">注意 長時間パターンを表示していると投写映像に残像が残ることがあります。</div>

設定	選択肢	説明
初期化	—	[ユーザーボタン]を除く、[設定]メニューで調整したすべての値を初期値に戻します。

関連項目

- 「メニューの設定」 [p.132](#)

[拡張設定]メニューでは、プロジェクターの詳細な設定ができます。



設定	選択肢	説明
表示設定	メッセージ表示 背景表示 スタートアップスクリーン A/Vミュート	表示に関する設定をします。 [メッセージ表示]：[オン]にすると、入力ソース名、カラーモード名、アスペクト比、映像信号が入力されていないときのメッセージ、高温警告などのメッセージが、投写画面上に表示されます。 [背景表示]：映像信号が入力されていないときに投写する画面の背景色やロゴ表示を選択します。 [スタートアップスクリーン]：[オン]にすると、投写開始時にユーザーロゴを表示します。 [A/Vミュート]：A/Vミュート時に表示する画面の背景色やロゴ表示を選択します。
ユーザーロゴ	—	本機の識別やセキュリティ向上のために、本機で表示するユーザーロゴを登録します。

設定	選択肢	説明
設置モード	フロント フロント・天吊り リア リア・天吊り	映像が正しい方向で投写されるように、スクリーンに対する本機の設置方法を選択します。
動作設定	ダイレクトパワーオン 高地モード 起動時入力検出 オートパワーオン 日付&時刻	本機の動作に関する設定をします。 [ダイレクトパワーオン]：電源プラグを差し込むだけで、本機の電源が入ります。 [高地モード]：標高約1500m以上の場所で本機を使えるように動作を制御します。 [起動時入力検出]：[オフ]にすると、本機を前回使用したときと同じ入力ソースから映像を投写します。 [オートパワーオン]：[コンピューター1]に設定すると、本機がスタンバイ状態のときも映像信号を検出して、本機の電源が自動で入り映像が投写されます。(事前に[節電]メニューで[待機モード]を[通信オン]に設定します。) [日付&時刻]：本機の日時を設定します。
A/V出力設定	A/V出力 音声出力 HDMI1音声出力 HDMI2音声出力	音声出力、映像出力に関する設定をします。 [A/V出力]：[常時]に設定すると、本機がスタンバイ状態のときも、外部機器に音声と映像を出力します。(事前に[節電]メニューで[待機モード]を[通信オン]に設定します。) [音声出力]/[HDMI1音声出力]/[HDMI2音声出力]：[オート]または[HDMI]に設定して音声が出力されないとき、音声入力ソースを設定します。

設定	選択肢	説明
プロジェクターID	オフ 1~9	複数のプロジェクターをリモコンから操作するときにする本機のIDを設定します。
マルチスクリーン	調整レベル(1~5) 明るさ補正 色補正(緑-赤) 色補正(青-黄)	各[調整レベル]で明るさ補正、色補正を設定して、プロジェクターを複数台で並べて投写したときの各映像の色合いや明るさの差を補正できます。
スケジュール設定画面へ	スケジュール設定画面へ移動	プロジェクターにイベントスケジュールを登録して、設定した日時に選択したイベントを自動的に実行します。
言語	言語設定	メニュー、メッセージに表示する言語を選択します。
初期化	—	[設置モード]、[高地モード]、[起動時入力検出]、[A/V出力]、[プロジェクターID]、[マルチスクリーン]、[言語]、[スケジュール設定画面へ]を除く、[拡張設定]メニューで調整したすべての値を初期値に戻します。



[パスワードプロテクト]で[ユーザーロゴ保護]を[オン]にすると、ユーザーロゴに関する設定([背景表示]、[スタートアップスクリーン]、[A/Vミュート]、[表示設定])は変更できません。事前に[ユーザーロゴ保護]を[オフ]に設定します。

関連項目

- 「メニューの設定」 p.132
- 「拡張設定メニュー - 日付&時刻設定」 p.142
- 「パスワードプロテクトの種類を設定する」 p.94

拡張設定メニュー - 日付&時刻設定

日付&時刻画面で、本機の日時を設定します。

☛ [拡張設定] > [動作設定] > [日付&時刻]



[パスワードプロテクト]で[時刻/スケジュール保護]を[オン]にすると、[日付&時刻]は変更できません。事前に[時刻/スケジュール保護]を[オフ]に設定します。



設定	選択肢	説明
日付&時刻	日付 時刻 時差(UTC)	[日付]：今日の日付を設定します。 [時刻]：現在の時刻を設定します。 [時差(UTC)]：協定世界時からの時差を設定します。
夏時間設定	夏時間 夏時間開始 夏時間終了 夏時間調整(分)	[夏時間]：[オン]にすると、夏時間を有効にします。 [夏時間開始]：夏時間を開始する日時を設定します。 [夏時間終了]：夏時間を終了する日時を設定します。 [夏時間調整(分)]：標準時間と夏時間の差を調節します。

設定	選択肢	説明
インターネット時刻	インターネット時刻 インターネット時刻サーバー	[インターネット時刻]：[オン]にすると、インターネット時刻サーバーから時刻を自動的に更新します。 [インターネット時刻サーバー]：インターネット時刻サーバーのIPアドレスを入力します。

関連項目

- 「拡張設定メニュー」 [p.141](#)
- 「パスワードプロテクトの種類を設定する」 [p.94](#)

[ネットワーク]メニューでは、ネットワーク情報の表示、ネットワーク経由で本機を使うための設定ができます。

[パスワードプロテクト]で[ネットワーク保護]を[オン]にすると、ネットワーク設定は変更できません。事前に[ネットワーク保護]を[オフ]に設定します。



設定	選択肢	説明
無線電源	Screen Mirroring オン 無線LANオン 両方オフ	無線LAN接続を設定します。 Screen Mirroring機能を使って投写するには、[Screen Mirroringオン]を選択します。本機とコンピュータを無線LAN経由で接続するには[無線LANオン]を選択します。無線LANで接続しないときは、オフに設定しておくことで他人からの不正アクセスを防ぐことができます。
Screen Mirroring情報	ディスプレイ名 MACアドレス 地域コード バージョン	[無線電源]を[Screen Mirroringオン]に設定しているとき、Screen Mirroringの詳細情報を表示します。

設定	選択肢	説明
Screen Mirroring設定	Screen Mirroring設定画面へ移動	Screen Mirroringの接続を設定します。
ネットワーク情報 - 無線LAN	接続モード 無線LAN方式 アンテナレベル プロジェクター名 SSID DHCP IPアドレス サブネットマスク ゲートウェイアドレス MACアドレス 地域コード	[無線電源]を[無線LANオン]に設定しているとき、無線ネットワークのステータス、詳細情報を表示します。
ネットワーク情報 - 有線LAN	プロジェクター名 DHCP IPアドレス サブネットマスク ゲートウェイアドレス MACアドレス	有線ネットワークのステータス、詳細情報を表示します。
ネットワーク設定画面へ	ネットワーク設定画面へ移動	ネットワークの詳細設定をします。



コンピューターのWebブラウザを使って、ネットワークに接続されたプロジェクターのメニュー設定や制御を離れた場所から操作できます。

関連項目

- 「メニューの設定」 [p.132](#)

- 「ネットワークメニュー - Screen Mirroring設定」 p.145
- 「ネットワークメニュー - 基本設定メニュー」 p.145
- 「ネットワークメニュー - 無線LANメニュー」 p.146
- 「ネットワークメニュー - セキュリティーメニュー」 p.147
- 「ネットワークメニュー - 有線LANメニュー」 p.149
- 「ネットワークメニュー - メールメニュー」 p.149
- 「ネットワークメニュー - その他メニュー」 p.150
- 「ネットワークメニュー - 初期化メニュー」 p.151
- 「パスワードプロテクトの種類を設定する」 p.94

ネットワークメニュー - Screen Mirroring設定

[Screen Mirroring設定]画面で、Screen Mirroringの設定をします。

☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [Screen Mirroring設定]



設定	選択肢	説明
ディスプレイ名	32文字以内の半角英数字	Screen Mirroring機能を使用してプロジェクターを検索するときに、本機を識別するための名前を入力します。

設定	選択肢	説明
無線LAN方式	802.11a/g/n 802.11g/n	本機とモバイルデバイスの通信方式を選択します。
パフォーマンス調整	1 2 3 4	Screen Mirroringの映像表示速度および品質を調整します。 1：表示品質が向上します。 4：表示速度が向上します。
接続モード	PIN/PBC PIN	WPS(Wi-Fi Protected Setup)の種類を選択します。接続のセキュリティを強化するには[PIN]を選択します。PBC接続のみ対応のモバイルデバイスをお使いのときは、[PIN/PBC]を選択します。
PINコード通知	オン オフ	Screen Mirroring以外の入力ソースの映像を投写中に、投写画面にPINコードを表示するかしないかを選択します。[オン]にすると、投写画面に8桁のPINコードが表示されます。
初期化	—	[Screen Mirroring設定]で調整したすべての値を初期値に戻します。

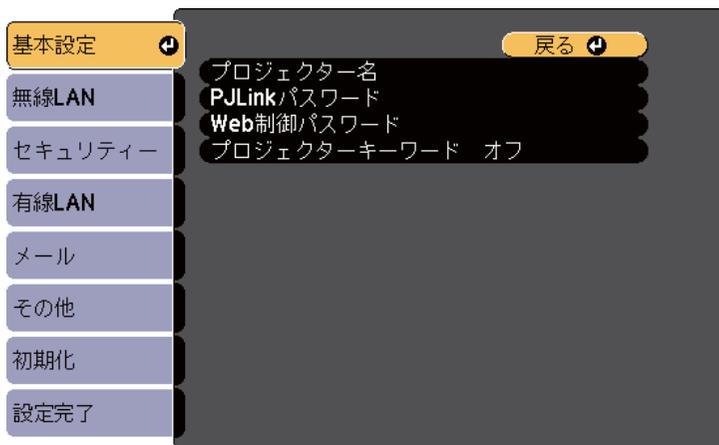
関連項目

- 「ネットワークメニュー」 p.144

ネットワークメニュー - 基本設定メニュー

[基本設定]メニューでは、ネットワークの基本設定ができます。

☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [基本設定]



設定	選択肢	説明
プロジェクター名	16文字以内の半角英数字	ネットワーク上で本機を識別するための名前を入力します。
PJLinkパスワード	32文字以内の半角英数字	PJLink対応アプリケーションを使って本機を制御するときの認証用パスワードを設定します。
Web制御パスワード	8文字以内の半角英数字	Web制御で本機の設定や制御をするときの認証用パスワードを設定します。(デフォルトのユーザー名はEPSONWEB、デフォルトのパスワードはadminです。)
プロジェクターキーワード	オン オフ	[オン]にすると、他のユーザーが誤って映像を投写しないように、セキュリティパスワードを有効にできます。プロジェクターから映像を投写するには、投写画面に表示されるキーワードを EasyMP Network Projection、EasyMP Multi PC Projection で入力する必要があります。

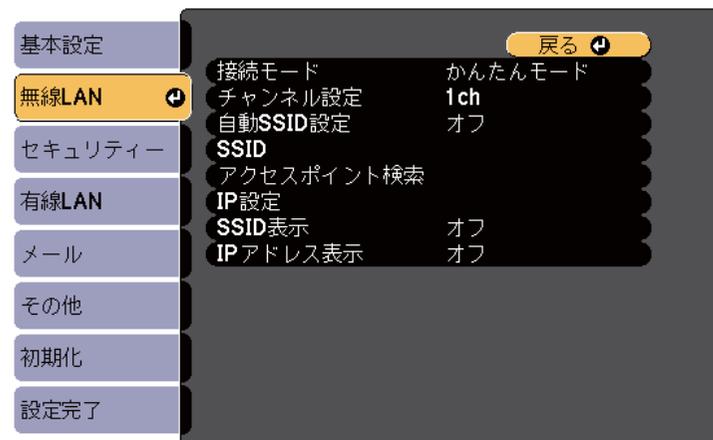
関連項目

- 「ネットワークメニュー」 p.144

ネットワークメニュー - 無線LANメニュー

[無線LAN]メニューでは、無線LANの設定ができます。

- ☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [無線LAN]



設定	選択肢	説明
接続モード	かんたんモード マニュアルモード	接続モードを選択します。 [かんたんモード]：1台のコンピューターと無線で直接接続できます。 かんたんモードで接続するには、EasyMP Network Projectionを使用します。[自動SSID設定]を[オン]にすると、本機が簡易アクセスポイントになります。オフのときは、アドホックモードで接続が構成されます。 [マニュアルモード]：無線LANアクセスポイント経由でコンピューターと接続できます。インフラストラクチャーモードで接続が構成されます。
チャンネル設定	1ch 6ch 11ch	[かんたんモード]の無線通信で使用する周波数の帯域(チャンネル)を選択します。
自動SSID設定	オン オフ	[かんたんモード]で接続するとき、SSIDを自動生成します。[オン]にすると、プロジェクターの検索速度が向上します。1台のコンピューターから複数のプロジェクターに接続するときには[オフ]にします。
SSID	32文字以内の半角英数字	本機のSSID(ネットワーク名)を設定します。本機が接続する無線LANシステムでSSIDが定められているときは、そのSSIDを設定します。 SSIDを空欄または[ANY]に設定すると、ANY接続ができます。
アクセスポイント検索	検索画面へ移動	マニュアルモードで接続するとき、周囲の無線LANアクセスポイントを検索します。アクセスポイントの設定によっては、一覧に表示されないアクセスポイントがあります。セキュリティは別途設定が必要です。

設定	選択肢	説明
IP設定	DHCP IPアドレス サブネットマスク ゲートウェイアドレス	[DHCP]：DHCPを使用できるネットワークの場合は、[オン]にします。DHCPを使用できないネットワークの場合は、[オフ]にして、プロジェクターの[IPアドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス]を入力します。0～255の数字を入力します。 0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255のアドレスは、IPアドレス、ゲートウェイアドレスに使用できません(xは0～255の数値)。0.0.0.0、255.255.255.255のアドレスはサブネットマスクに使用できません。
SSID表示	オン オフ	LAN待機画面にSSIDを表示するかどうかを選択します。
IPアドレス表示	オン オフ	LAN待機画面にIPアドレスを表示するかどうかを選択します。

関連項目

- 「ネットワークメニュー」 [p.144](#)

ネットワークメニュー - セキュリティーメニュー

[セキュリティー]メニューでは、本機が無線通信に使うセキュリティーを設定できます。

- ☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [セキュリティー]



設定	選択肢	説明
セキュリティ	なし WPA2-PSK WPA/WPA2-PSK	無線LANの設定に合わせてセキュリティの種類を選択します。 セキュリティの設定については、ネットワーク管理者の指示に従ってください。

設定	選択肢	説明
パスワード	8～32文字のパスワード	セキュリティの設定で[WPA2-PSK]または[WPA/WPA2-PSK]を選択したときは、ネットワークに接続するためのパスワードを入力します。 パスワードを入力し、【決定】ボタンを押すと、値が設定されます。設定された値はアスタリスク(*)で表示されます。 パスワードがデフォルトから変更されていない場合に、EasyMP Network Projectionを使用して接続するときは、パスワードをコンピューターに入力する必要はありません。 セキュリティ強化のため、パスワードは定期的に変更することをお勧めします。ネットワーク設定を初期化すると、パスワードは初期値に戻ります。

セキュリティの種類

オプションの無線LANユニットを装着してマニュアルモードで接続するときは、セキュリティを設定することを強くお勧めします。

WPAは、無線ネットワークのセキュリティ強度を向上するための暗号化規格です。本機はTKIP、AESの暗号化方式に対応しています。

また、WPAにはユーザー認証機能もあります。WPA認証には、認証サーバーを使用する方法と、サーバーを使用せずにコンピューターとアクセスポイントの間で認証する方法があります。本機は、認証サーバーを使用しない方法に対応しています。



設定の詳細については、ネットワーク管理者の指示に従ってください。

関連項目

- 「ネットワークメニュー」 p.144

ネットワークメニュー - 有線LANメニュー

[有線LAN]メニューでは、有線LANの設定ができます。

- ☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [有線LAN]



設定	選択肢	説明
IP設定	DHCP IPアドレス サブネットマスク ゲートウェイアドレス	[DHCP]：DHCPを使用できるネットワークの場合は、[オン]にします。DHCPを使用できないネットワークの場合は、[オフ]にして、プロジェクターの[IPアドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス]を入力します。0～255の数字を入力します。 0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255のアドレスは、IPアドレス、ゲートウェイアドレスに使用できません(xは0～255の数値)。0.0.0.0、255.255.255.255のアドレスはサブネットマスクに使用できません。
IPアドレス表示	オン オフ	LAN待機画面にIPアドレスを表示するかしないかを選択します。

関連項目

- 「ネットワークメニュー」 p.144

ネットワークメニュー - メールメニュー

[メール]メニューでは、本機が異常/警告状態になったとき、異常状態が電子メールで通知されるようにメール通知機能を設定できます。

- ☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [メール]



設定	選択肢	説明
メール通知機能	オン オフ	[オン]にすると、本機が異常/警告状態になったとき、設定した宛先に異常状態を通知するメールを送信します。
SMTPサーバー	IPアドレス	SMTPサーバーのIPアドレスを入力します。0～255の数字を入力します。127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255のIPアドレスは使用できません(xは0～255の数値)。
ポート番号	1～65535(デフォルトは25)	SMTPサーバーのポート番号を選択します。
宛先1設定 宛先2設定 宛先3設定	32文字以内の半角英数字	メールアドレスおよびメール通知する異常/警告の種類を選択します。宛先は3つまで設定できます。

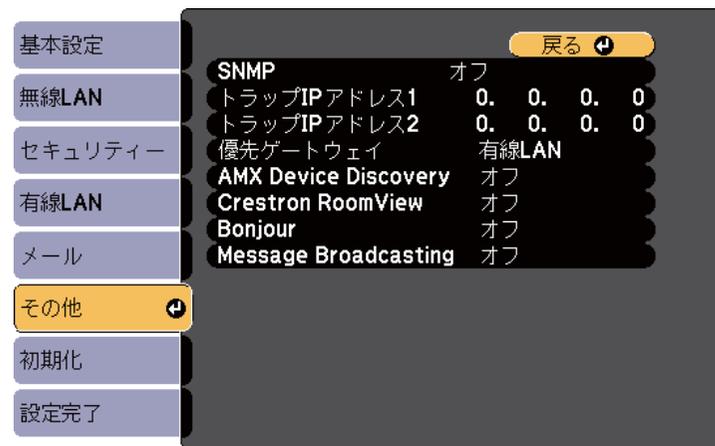
関連項目

- 「ネットワークメニュー」 p.144

ネットワークメニュー - その他メニュー

[その他]メニューでは、ネットワークの詳細な設定ができます。

☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [その他]



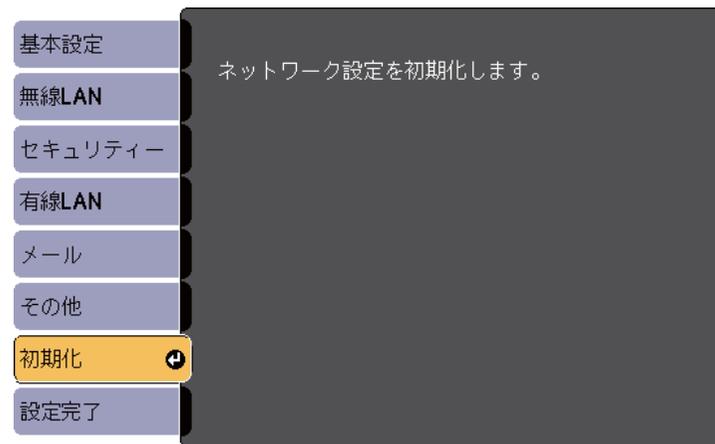
設定	選択肢	説明
SNMP	オン オフ	[オン]にすると、SNMPを使用して本機を監視します。本機を監視するには、コンピューターにSNMPマネージャープログラムがインストールされている必要があります。SNMPによる管理は、必ずネットワーク管理者が行ってください。初期値は[オフ]です。
トラップIPアドレス1 トラップIPアドレス2	IPアドレス	SNMP通知を受信するIPアドレスを入力します。0～255の数字を入力します。127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255のIPアドレスは使用できません(xは0～255の数値)。

設定	選択肢	説明
優先ゲートウェイ	有線LAN 無線LAN	優先ゲートウェイを設定できます。
AMX Device Discovery	オン オフ	AMX Device Discoveryを使用するときは、[オン]にして、本機が検出されるようにします。
Crestron RoomView	オン オフ	Crestron RoomViewを使用するときは、[オン]にして、ネットワーク経由でプロジェクターの監視と制御をします。 Crestron RoomViewを有効にすると、EasyMP MonitorのEpson Message Broadcasting機能が無効になります。
Bonjour	オン オフ	Bonjourを使用してネットワークに接続するときは、[オン]にします。 Bonjourサービスの詳細については、Apple社のWebサイトをご覧ください。 http://www.apple.com/
Message Broadcasting	オン オフ	[オン]にすると、EPSON Message Broadcasting機能を有効にします。 Message Broadcastingおよび操作ガイドは以下のWebサイトからダウンロードできます。 http://www.epson.jp/download/

関連項目

- 「ネットワークメニュー」 p.144
- 「Crestron RoomViewについて」 p.126

☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [初期化]



設定	選択肢	説明
ネットワーク設定を初期化します。	はい いいえ	[はい]を選択すると、ネットワーク設定をすべて初期化します。

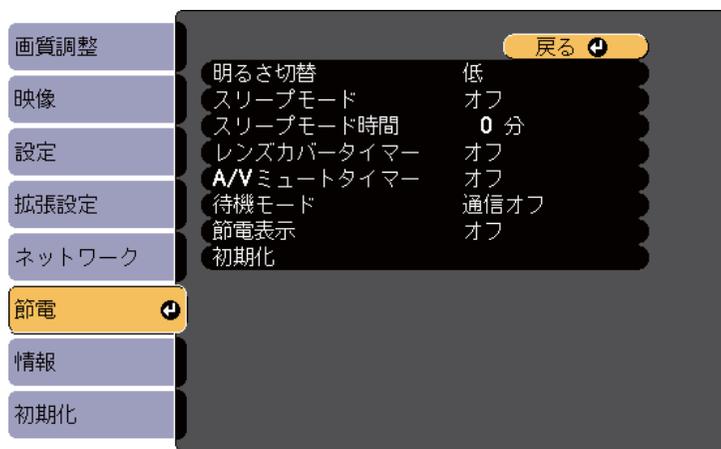
関連項目

- 「ネットワークメニュー」 p.144

ネットワークメニュー - 初期化メニュー

[初期化]メニューでは、ネットワーク設定をすべて初期化できます。

[節電]メニューでは、本機の消費電力を抑えるための設定ができます。節電効果が有効な設定をしているときは、メニュー項目の横に葉っぱのアイコンが表示されます。



設定	選択肢	説明
明るさ切替	オート 高 低	ランプの明るさを選択します。 [オート]：照度センサーで周囲の明るさを感知し、ランプの明るさを自動的に調整します。 [高]：ランプを最も明るくします。 [低]：投写映像が明るすぎるときにランプの明るさを抑えます。投写中の消費電力とファン回転音が低下します。 高地または高温になりやすい場所で本機をお使いのときは、設定が変更できないことがあります。
スリープモード	オン オフ	[オン]に設定すると、一定時間映像信号の入力がないときに、自動的に本機の電源が切れます。
スリープモード時間	1～30分	スリープモードで電源が自動で切れるまでの時間を設定します。

設定	選択肢	説明
レンズカバータイマー	オン オフ	[オン]に設定すると、スライド式レンズカバーを閉じてから30分後に自動的に本機の電源が切れます。
A/Vミュートタイマー	オン オフ	[オン]に設定すると、[A/Vミュート]を実行してから30分後に自動的に本機の電源が切れます。
待機モード	通信オン 通信オフ	[通信オン]に設定すると、スタンバイ状態でも以下の操作が可能です。 <ul style="list-style-type: none"> ネットワーク経由で本機を監視・制御する 外部機器に音声と映像を出力する ([A/V出力]が[常時]のときのみ) ● [拡張設定] > [A/V出力設定] > [A/V出力]
節電表示	オン オフ	[オン]に設定すると、ランプの明るさが通常状態と低輝度状態で切り替わるときに、投写画面の左下に節電状態を示す葉っぱのアイコンを表示します。
初期化	—	[待機モード]を除く、[節電]メニューで調整したすべての値を初期値に戻します。

関連項目

- 「メニューの設定」 p.132
- 「拡張設定メニュー」 p.141

[情報]メニューでは、本機の情報、バージョンを確認できます。このメニューの設定は変更できません。



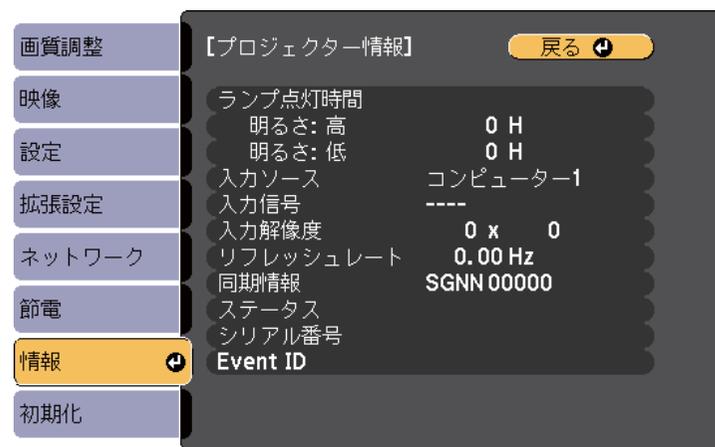
情報の項目	説明
プロジェクター情報	プロジェクターの情報を表示します。
バージョン	[Main]、[Video]、[Video2]のファームウェアバージョンを表示します。

関連項目

- 「メニューの設定」 [p.132](#)
- 「情報メニュー - プロジェクター情報」 [p.153](#)

情報メニュー - プロジェクター情報

[情報]メニューの[プロジェクター情報]では、本機の状態や投写している映像信号の情報を確認できます。



現在投写している入力ソースによって設定できる項目が異なります。ランプ点灯時間は、ランプを10時間以上使用するまで加算されません。

情報の項目	説明
ランプ点灯時間	[明るさ：高]、[明るさ：低]のそれぞれでランプを使用した時間([H])を表示します。黄色で情報が表示される場合は、エプソン純正の交換用ランプを早めに入手してください。
入力ソース	現在の入力ソースが接続されている端子の名前を表示します。
入力信号	現在の入力ソースの入力信号方式を表示します。
入力解像度	現在の入力ソースの解像度を表示します。
ビデオ信号方式	現在の入力ソースのビデオ信号方式を表示します。
リフレッシュレート	現在の入力ソースのリフレッシュレートを表示します。
同期情報	サービス技術者が必要とする情報を表示します。
ステータス	サービス技術者が必要とするプロジェクターの問題に関する情報を表示します。

情報の項目	説明
シリアル番号	本機のシリアル番号を表示します。
Event ID	プロジェクターの特定の問題に対応するEvent ID番号を表示します。Event IDコードの一覧を参照してください。

関連項目

- 「情報メニュー」 p.153
- 「Event ID一覧」 p.154

Event ID一覧

[情報]メニューの[Event ID]に番号が表示されるときは、番号を確認して以下のとおり対処してください。

問題が解決しないときは、ネットワーク管理者にお問い合わせいただくか、お問い合わせ先に記載の連絡先にお問い合わせください。

Event ID	原因と対処法
0432	ネットワークソフトウェアの起動に失敗しました。プロジェクターの電源を一度切ってから、再度電源を入れます。
0435	
0434	ネットワークの通信状態が不安定です。ネットワークの通信状態を確認し、しばらくしてから再接続します。
0481	
0482	
0485	
0433	転送した映像を表示できません。ネットワークソフトウェアを再起動します。
0484	コンピューターから通信が切断されました。ネットワークソフトウェアを再起動します。

Event ID	原因と対処法
0483	ネットワークソフトウェアが予期せず終了しました。ネットワークの通信状態を確認してから、プロジェクターの電源を一度切り、再度電源を入れます。
04FE	
0479	プロジェクターにシステムエラーが発生しました。プロジェクターの電源を一度切ってから、再度電源を入れます。
04FF	
0891	同じSSIDのアクセスポイントが見つかりません。プロジェクターとコンピューター、アクセスポイントに同一のSSIDを設定します。
0892	WPA/WPA2の認証方式が一致しません。無線ネットワークのセキュリティ設定が正しいことを確認します。
0893	TKIP/AES暗号化方式が一致しません。無線ネットワークのセキュリティ設定が正しいことを確認します。
0894	不正なアクセスポイントに接続したため通信が切断されました。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
0898	DHCPの取得に失敗しました。DHCPサーバーが正しく動作していることを確認します。DHCPを使用しないときは、本機の[ネットワーク]メニューにある[DHCP]設定を[オフ]にします。 <ul style="list-style-type: none"> ☛ [ネットワーク] > [無線LAN] > [IP設定] > [DHCP] ☛ [ネットワーク] > [有線LAN] > [IP設定] > [DHCP]
0899	その他、接続に関するエラー

関連項目

- 「情報メニュー - プロジェクター情報」 p.153

[初期化]メニューの[全初期化]を選択して、本機の設定を初期化できます。

また、[ランプ点灯時間初期化]を選択して、ランプを交換したときにランプ点灯時間をゼロに戻すこともできます。



以下の設定は、[全初期化]を使っても初期値に戻りません。

- 入力信号方式
- ユーザーロゴ
- マルチスクリーン
- スケジュール設定
- 言語
- 日付&時刻
- [ネットワーク]メニュー項目
- ランプ点灯時間
- パスワード

関連項目

- 「メニューの設定」 [p.132](#)

1台のプロジェクターで設定したメニューの内容を、USBメモリまたはUSBケーブルで接続されたコンピューターに保存して、別のプロジェクターにコピーできます。同じ型番のプロジェクターにのみ設定をコピーできます。

以下の内容は一括設定機能ではコピーされません。

- [ネットワーク]メニュー([メール]メニュー、[その他]メニューを除く)
- [情報]メニューの[ランプ点灯時間]、[ステータス]



台形補正などの投写画面の調整をする前に一括設定機能を実行してください。投写画面を調整した設定もコピー先のプロジェクターに適用されるため、一括設定機能を実行する前の設定は上書きされません。

一括設定機能を実行すると、ユーザーロゴもコピーされます。複数のプロジェクター間で共有したくない画像は、ユーザーロゴとして設定しないでください。

注意

一括設定は、お客様の責任において行ってください。停電や通信異常などが原因で一括設定に失敗したときは、修理費用が有償となる場合があります。

関連項目

- 「メニューの設定」 [p.132](#)
- 「USBメモリを使って一括設定する」 [p.156](#)
- 「USBケーブルを使って一括設定する」 [p.157](#)

USBメモリを使って一括設定する

USBメモリを使用して、同じ型番のプロジェクターにメニュー設定をコピーできます。



FAT形式でフォーマットされ、セキュリティ機能のついていないUSBメモリを使用してください。また、空のUSBメモリを使用してください。一括設定ファイル以外のデータが入っていると、設定を正しく保存できないことがあります。

- 1** プロジェクターから電源コードを外し、すべてのインジケーターが消えていることを確認します。
- 2** 空のUSBメモリをプロジェクターのUSB-A端子に直接接続します。
- 3** リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押したまま、電源コードをプロジェクターに接続します。
- 4** インジケーターがすべて点灯したら、【戻る】ボタンを放します。インジケーターが点滅に変わると、一括設定ファイルがUSBメモリに書き込まれます。書き込みが正常に終了すると、プロジェクターがスタンバイ状態になります。

注意

ファイルの書き込み中は、プロジェクターから電源コードやUSBメモリを取り外さないでください。電源コードやUSBメモリを取り外すと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。

- 5** USBメモリを取り外します。



一括設定ファイルのファイル名はPJCONFDATA.binです。ファイル名を変更するときは、半角英数字のみを使用してPJCONFDATAの後に文字列を追加します。ファイル名のPJCONFDATAの部分を変更すると、ファイルが正しく認識できないことがあります。

6 コピー先のプロジェクターから電源コードを外し、すべてのインジケータが消えていることを確認します。

7 一括設定ファイルが保存されているUSBメモリーを、コピー先のプロジェクターのUSB-A端子に接続します。

8 リモコンまたは操作パネルの【メニュー】ボタンを押したまま、電源コードをプロジェクターに接続します。

9 プロジェクターのインジケータがすべて点灯したら、【メニュー】ボタンを放します。（インジケータは約75秒点灯します。）

インジケータが点滅に変わると、一括設定の書き込みが始まります。書き込みが正常に終了すると、プロジェクターがスタンバイ状態になります。

注意

ファイルの書き込み中は、プロジェクターから電源コードやUSBメモリーを取り外さないでください。電源コードやUSBメモリーを取り外すと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。

10 USBメモリーを取り外します。

関連項目

- 「メニュー設定を別のプロジェクターにコピーする（一括設定機能）」
p.156

USBケーブルを使って一括設定する

コンピューターとプロジェクターをUSBケーブルで接続して、同じ型番のプロジェクターにメニュー設定をコピーできます。



USBケーブルを使用した一括設定機能は、Windows XP以降、OS X 10.5.3以降で使用できます。

1 プロジェクターから電源コードを外し、すべてのインジケータが消えていることを確認します。

2 USBケーブルをコンピューターのUSB端子とプロジェクターのUSB-B端子に接続します。

3 リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押したまま、電源コードをプロジェクターに接続します。

4 インジケータがすべて点灯したら、【戻る】ボタンを放します。コンピューター上で、プロジェクターがリムーバブルディスクとして認識されます。

5 リムーバブルディスクを開き、一括設定ファイルをコンピューターにコピーして保存します。



一括設定ファイルのファイル名はPJCONFDATA.binです。ファイル名を変更するときは、半角英数字のみを使用してPJCONFDATAの後に文字列を追加します。ファイル名のPJCONFDATAの部分を変更すると、ファイルが正しく認識できないことがあります。

- 6 コンピューター上でUSBデバイスの取り外し(Windows)、またはリムーバブルディスクの取り出し(OS X)をします。
- 7 USBケーブルを取り外します。
プロジェクターがスタンバイ状態になります。
- 8 コピー先のプロジェクターから電源コードを外し、すべてのインジケーターが消えていることを確認します。
- 9 USBケーブルをコンピューターのUSB端子とプロジェクターのUSB-B端子に接続します。
- 10 リモコンまたは操作パネルの【メニュー】ボタンを押したまま、電源コードをプロジェクターに接続します。
- 11 プロジェクターのインジケーターがすべて点灯したら、【メニュー】ボタンを放します。
コンピューター上で、プロジェクターがリムーバブルディスクとして認識されます。
- 12 コンピューターに保存した一括設定ファイル(PJCONFDATA.bin)を、リムーバブルディスクの最上位のフォルダーにコピーします。



一括設定ファイル以外のファイルやフォルダーをリムーバブルディスクにコピーしないでください。

- 13 コンピューター上でUSBデバイスの取り外し(Windows)、またはリムーバブルディスクの取り出し(OS X)をします。

- 14 USBケーブルを取り外します。

インジケーターが点滅に変わると、一括設定の書き込みが始まります。書き込みが正常に終了すると、プロジェクターがスタンバイ状態になります。

注意

ファイルの書き込み中は、プロジェクターから電源コードを外さないでください。電源コードを外すと、プロジェクターが正常に起動しないことがあります。

関連項目

- 「メニュー設定を別のプロジェクターにコピーする（一括設定機能）」
[p.156](#)

プロジェクターをメンテナンスする

プロジェクターのレンズは定期的に掃除する必要があります。また、エアフィルターや吸排気口も掃除して、本機の内部温度が上昇しないようにしてください。

交換が必要な部品は、ランプ、エアフィルター、およびリモコンの電池のみです。他の部品を交換する必要があるときは、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

警告

掃除をするときは、本機の電源をオフにして電源コードを抜いてから行ってください。また、取扱説明書で指示している場合を除き、本機のケースを開けないでください。内部には電圧の高い部分が多くあり、火災・感電・事故の原因となります。

関連項目

- 「レンズを清掃する」 [p.160](#)
- 「本機を掃除する」 [p.161](#)
- 「エアフィルターおよび吸排気口のメンテナンス」 [p.162](#)
- 「ランプのメンテナンス」 [p.164](#)
- 「リモコンの電池を交換する」 [p.169](#)

プロジェクターのレンズは定期的に掃除し、表面に付着したホコリや汚れに気付いたときにも掃除してください。

- レンズのホコリや汚れは、市販のメガネ拭きなどで軽くふき取ってください。
- 汚れがひどいときは、柔らかい布をレンズクリーナーで湿らせ、レンズを軽くふき取ります。レンズに液体を直接スプレーしないでください。

警告

レンズに付着したゴミ・ホコリの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。本機内部ではランプが高温になっているため、引火による火災の原因となります。

注意

レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。また、エアダスターも使用しないでください。

関連項目

- 「プロジェクターをメンテナンスする」 [p.159](#)

本機の掃除をするときは、本機の電源をオフにして電源コードを抜いてから行ってください。

- 本機のホコリや汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしぼり、軽くふき取ってから乾いた布で仕上げてください。本機に液体を直接スプレーしないでください。

注意

ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。ケースが変質、変色することがあります。また、エアダスターも使用しないでください。

関連項目

- 「プロジェクターをメンテナンスする」 [p.159](#)

エアフィルターは定期的にメンテナンスしてください。プロジェクターの内部温度が高くなっていることを示すメッセージが表示されたらエアフィルターを掃除してください。また、約3ヶ月に一度は掃除することをお勧めします。ホコリの多い環境でお使いの場合は、より短い周期で掃除してください。

注意

定期的にメンテナンスをしないと、プロジェクターの内部温度が高くなったときにメッセージが表示されます。本機内部の温度が上昇すると、故障や光学部品の早期劣化の原因となります。メッセージが表示されたらすみやかにエアフィルターを掃除してください。

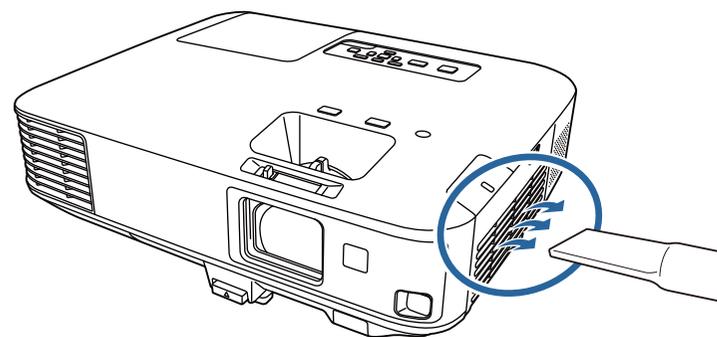
関連項目

- 「プロジェクターをメンテナンスする」 [p.159](#)
- 「エアフィルターおよび吸排気口を清掃する」 [p.162](#)
- 「エアフィルターを交換する」 [p.162](#)

エアフィルターおよび吸排気口を清掃する

エアフィルターおよび吸排気口は、汚れたときや掃除を促すメッセージが表示されたときに掃除してください。

- 1** 本機の電源を切り、電源コードを抜きます。
- 2** コンピューター用の小型掃除機か、柔らかいブラシでホコリを丁寧に取り除きます。



エアフィルターは取り外しできるため、両面を掃除できます。エアフィルターは水洗いできません。洗剤や溶剤も使わないでください。

注意

エアダスターは使用しないでください。可燃性の物質が残留したり、精密部分にホコリが入り込むおそれがあります。

- 3** 掃除をしても頻繁にメッセージが表示される場合は交換時期です。新しいエアフィルターに交換してください。

関連項目

- 「エアフィルターおよび吸排気口のメンテナンス」 [p.162](#)

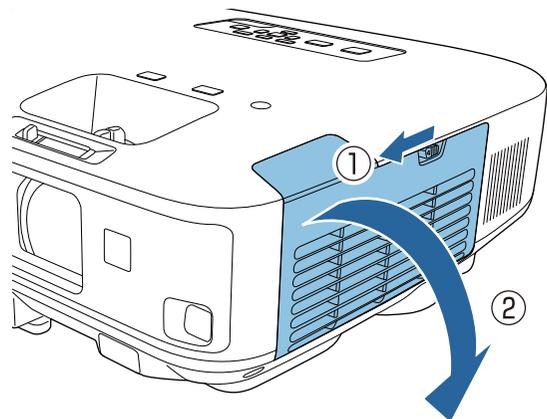
エアフィルターを交換する

以下の場合、エアフィルターを交換してください。

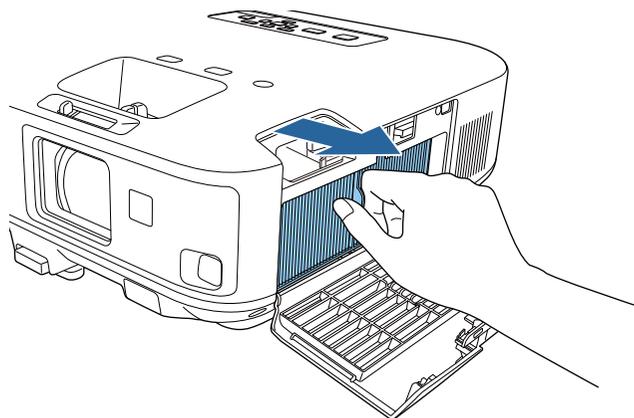
- エアフィルターの清掃後に清掃または交換することを促すメッセージが表示される

- エアフィルターが破損している
本機は天吊り設置したままでもエアフィルターの交換ができます。

- 1** 本機の電源を切り、電源コードを抜きます。
- 2** エアフィルターカバー操作つまみを横に動かして、エアフィルターカバーを開けます。



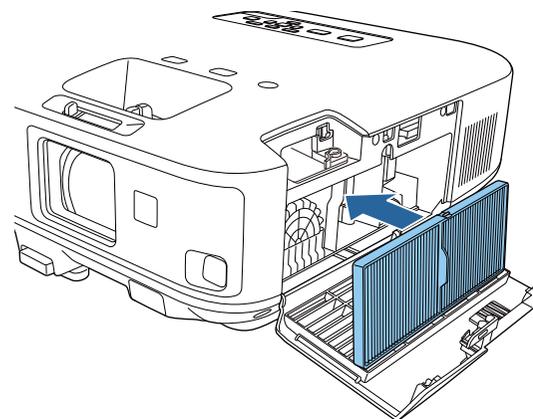
- 3** エアフィルターを取り外します。



使用済みのエアフィルターは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。会社等でお使いのときは、会社の廃棄ルールに従ってください。

- フィルターの枠：ポリプロピレン
- フィルター：ポリプロピレン

- 4** 新しいエアフィルターをプロジェクトに配置し、カチッと音がするまで丁寧に押し込みます。



- 5** エアフィルターカバーを閉めます。

関連項目

- 「エアフィルターおよび吸排気口のメンテナンス」 [p.162](#)
- 「消耗品」 [p.192](#)

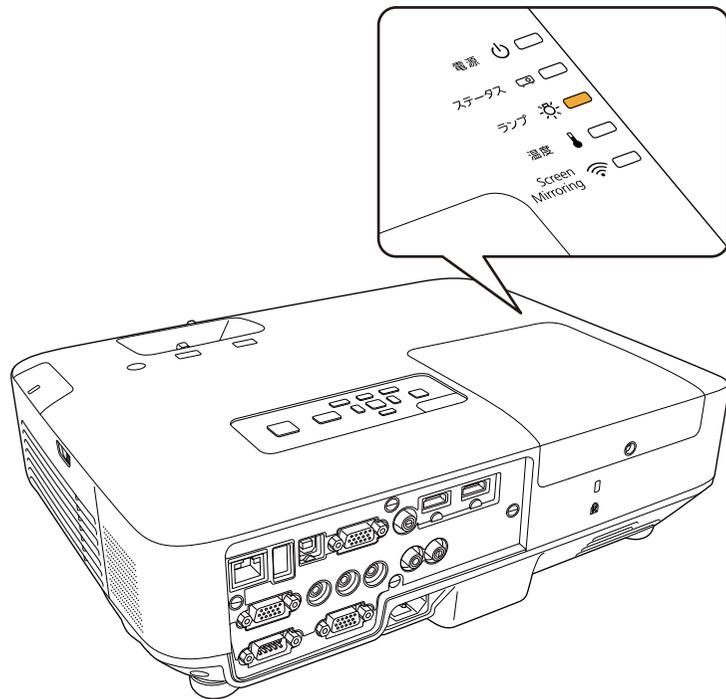
ランプの点灯時間は情報メニューで確認できます。

以下の場合、ランプを交換してください。

- 初期に比べ、明るさや画質が落ちたとき
- ランプの交換を促すメッセージが表示されたとき(メッセージは30秒経過すると消えます)



- ランプインジケータが橙色に点滅したとき



注意

- ランプの交換メッセージは、投写映像の初期の明るさや画質を維持するため、ランプ点灯時間の累計が以下に到達したときに表示されます。
 - [節電]メニューの[明るさ切替]が[高]の場合：約2900時間
 - [節電]メニューの[明るさ切替]が[低]の場合：約3900時間
- 交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。ランプ交換のメッセージが表示されたら、まだランプが点灯する状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。
- 電源オフ直後に電源をオンにする操作を繰り返さないでください。頻繁に電源オフ/オンを繰り返すと、ランプ寿命が短くなるおそれがあります。
- 個々のランプの特性や使用条件などで、ランプ交換のメッセージが表示される前に暗くなったり、点灯しなくなるものがあります。交換用ランプをあらかじめ準備しておくことをお勧めします。
- プロジェクターの性能を十分に発揮するために、エプソン純正品の交換用ランプをお使いください。純正品以外のランプを使用すると、プロジェクター本体に品質面、安全面で悪影響を及ぼす可能性があります。純正品以外のランプを使用して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内でも有償修理となります。

関連項目

- 「プロジェクターをメンテナンスする」 [p.159](#)
- 「ランプを交換する」 [p.164](#)
- 「ランプ点灯時間を初期化する」 [p.167](#)

ランプを交換する

本機は天吊り設置したままでもランプの交換ができます。

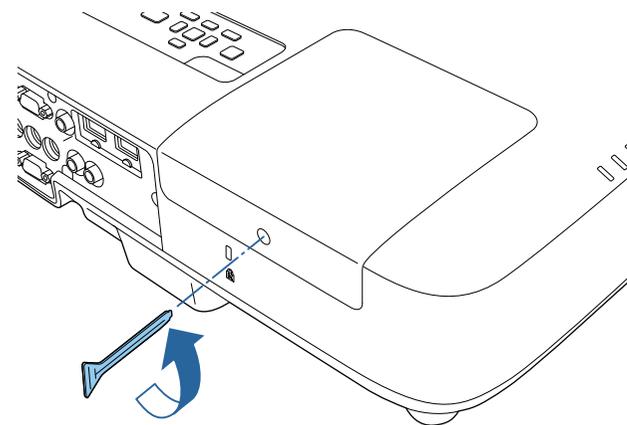
⚠ 警告

- ランプが十分冷えてからランプカバーを外してください。熱で、やけど・けがの原因となることがあります。ランプが十分冷えるには、電源を切ってから約1時間必要です。
- ランプの分解・改造は、絶対にしないでください。分解・改造したランプをセットして本機を使用すると、火災・感電・事故の原因となります。

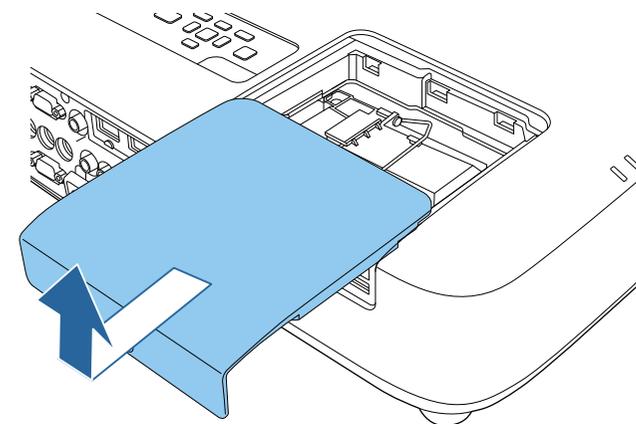
- 1** 本機の電源を切り、電源コードを抜きます。
- 2** ランプを最低1時間冷まします。
- 3** ランプカバーの固定ネジを、交換用ランプに同梱のドライバーまたは+のドライバーでゆるめます。

⚠ 警告

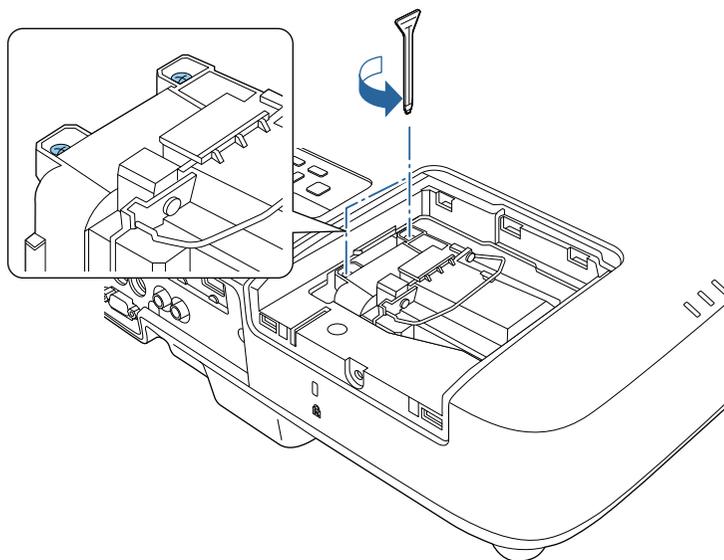
ランプが点灯しなくなり交換するときは、ランプが割れている可能性があります。本機を天吊り設置していてランプ交換を行うときは、ランプが割れていることを想定しランプカバーの真下に立たずに横から作業してください。また、ランプカバーをそっと取り外してください。ランプカバーを取り外す際に細かいガラス破片が落ちてくる可能性があり、けがの原因となります。万一、目や口にガラス破片が入ったときは、直ちに医師の診察を受けてください。



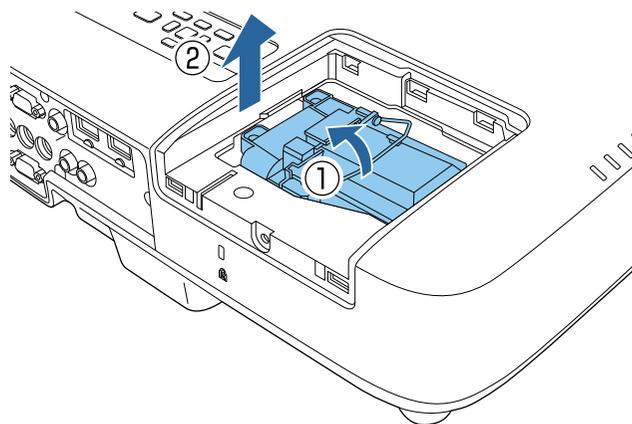
- 4** ランプカバーをまっすぐスライドさせて、持ち上げて外します。



- 5** ランプ固定ネジをゆるめます。ネジが完全に外れることはありません。

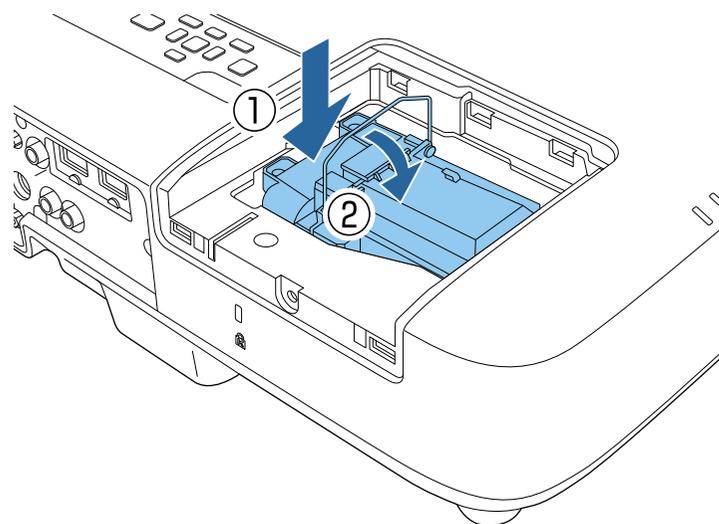


6 ランプのハンドルを引き上げ、ランプを取り出します。



- ランプが割れているときは、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
- 本製品のランプには水銀(Hg)が含まれています。使用済みのランプは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。会社等でお使いのときは、会社の廃棄ルールに従ってください。一般ゴミに混ぜないでください。

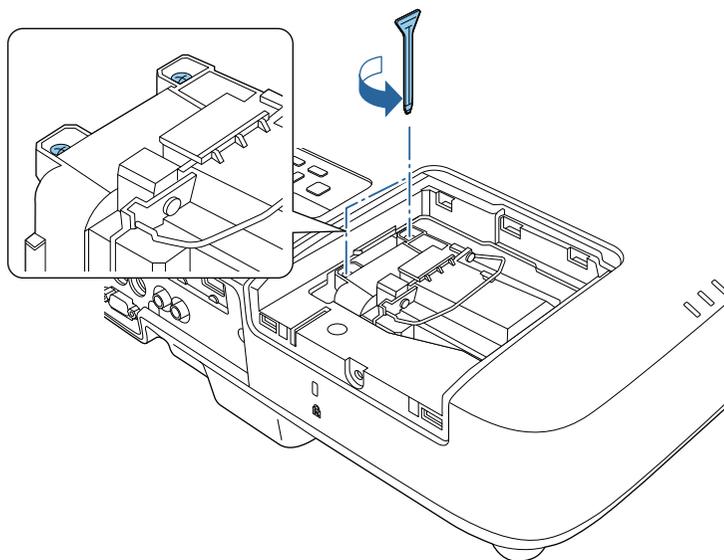
7 新しいランプを取り付けます。ランプを収納部の形に合う向きでガイドレールに沿って入れ、しっかりと押し込みます。ハンドルを押し下げます。



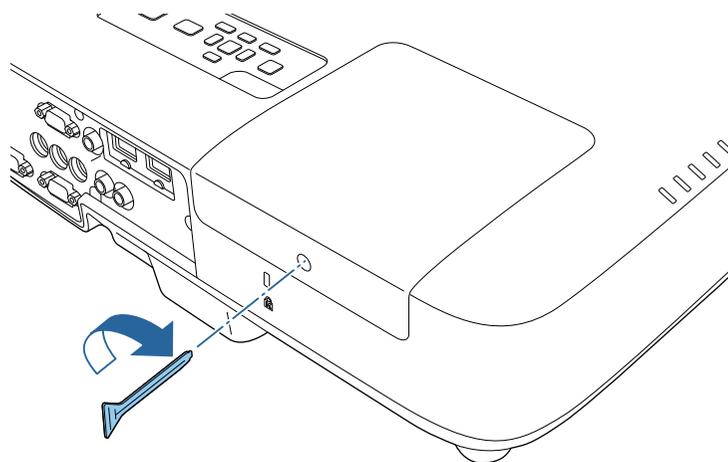
注意

ランプのガラス部分に触れないでください。

8 ランプ固定ネジを締めます。



9 ランプカバーを取り付けます。



ランプは確実に取り付けてください。本機は安全のため、ランプカバーを外すと自動的にランプが消灯します。ランプやランプカバーの取り付けが不十分だと点灯しません。

ランプ点灯時間をゼロに初期化して、新しいランプの点灯時間をカウントします。

関連項目

- 「ランプのメンテナンス」 p.164
- 「消耗品」 p.192

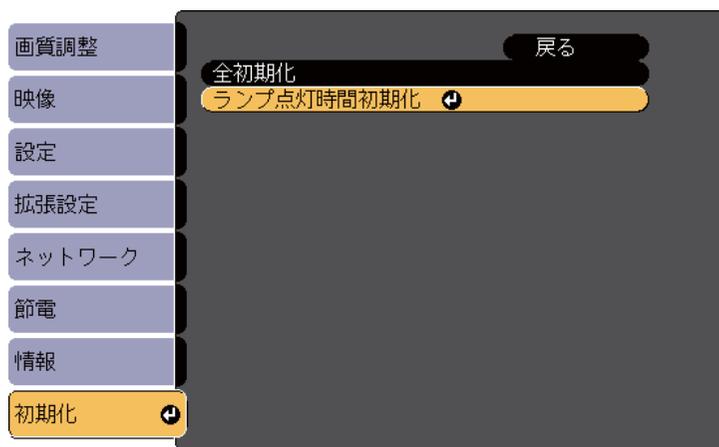
ランプ点灯時間を初期化する

本機はランプ点灯時間を記憶し、累計が交換時間に達するとメッセージやインジケータでお知らせします。ランプ交換を実施した後は、初期化メニューでランプ点灯時間の累計を初期化してください。



ランプ点灯時間の初期化は、ランプを交換したとき以外には行わないでください。ランプの交換時期が正しく表示されなくなります。

- 1 本機の電源を入れます。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 3 【初期化】メニューを選択し、【決定】ボタンを押します。
- 4 【ランプ点灯時間初期化】を選択し、【決定】ボタンを押します。



ランプ点灯時間を初期化するかを確認するメッセージが表示されます。

- 5** 【はい】を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 6** 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

関連項目

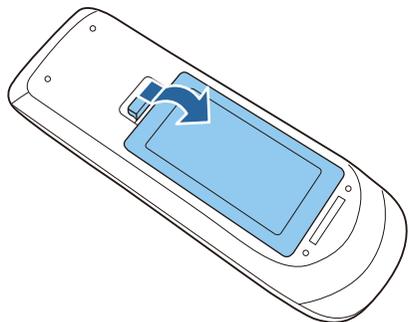
- 「ランプのメンテナンス」 [p.164](#)

リモコンの交換用電池は単3形マンガンあるいはアルカリ乾電池2本を用意してください。電池がなくなったらすぐに電池を交換してください。

注意

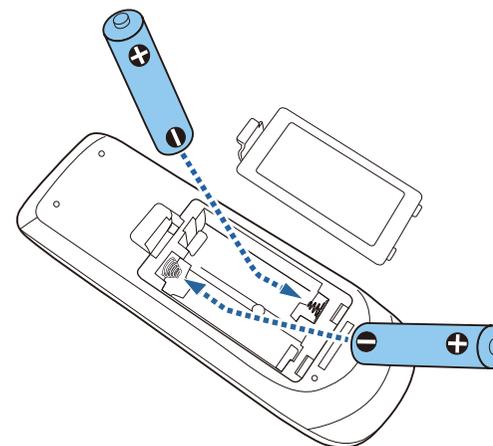
電池を取り扱う前に、『安全にお使いいただくために』を必ずお読みください。

- 1 電池カバーを開きます。



- 2 電池を取り外します。

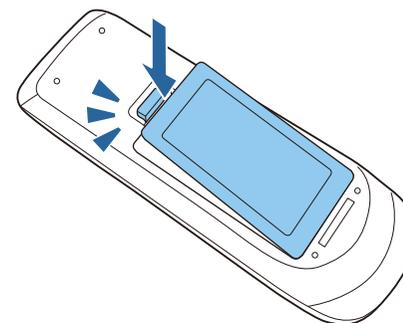
- 3 電池の+と-の向きを確認してリモコンにセットします。



警告

電池ホルダー内の表示を確認し、(+)(-)を正しく入れてください。電池の使い方を誤ると、電池の破裂・液もれにより、火災・けが・製品腐食の原因となることがあります。

- 4 電池カバーを閉め、カチッと音がするまで押し込みます。





関連項目

- 「プロジェクターをメンテナンスする」 [p.159](#)



困ったときに

想定されるトラブルと、その対処法について説明します。

関連項目

- 「トラブルの対処法」 [p.172](#)
- 「インジケータの見方」 [p.173](#)
- 「ヘルプの見方」 [p.176](#)
- 「映像や音声に関するトラブル」 [p.177](#)
- 「プロジェクター、リモコンの操作に関するトラブル」 [p.184](#)
- 「ネットワークに関するトラブル」 [p.187](#)

プロジェクターが正しく動作しないときは、一度電源を切り、電源コードを差し直してから再度電源を入れます。

問題が解決しないときは、以下を確認します。

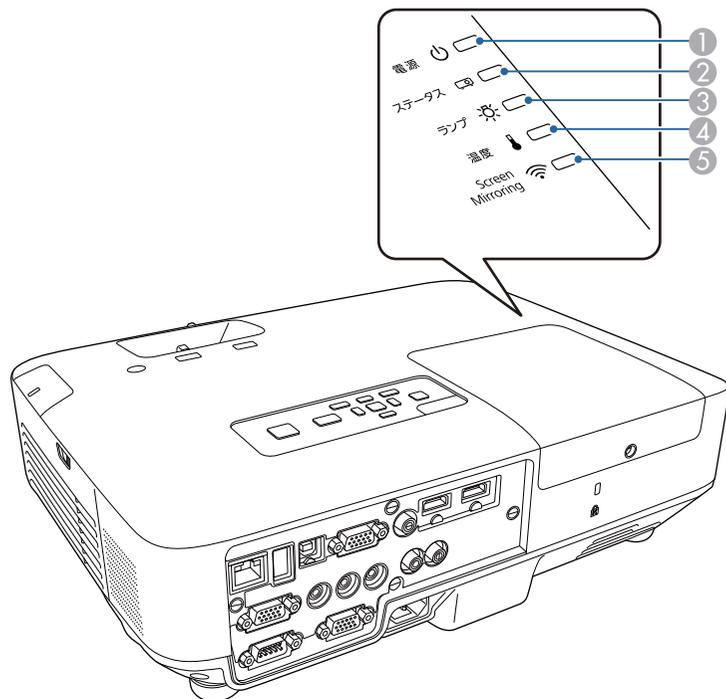
- インジケーターで本機の状態を確認する。
- ヘルプでトラブル発生時の解決方法を確認する。
- 本書のトラブル一覧で対処法を確認する。

問題が解決しないときは、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

関連項目

- 「困ったときに」 [p.171](#)

インジケータは、本機の状態をお知らせします。インジケータの色と状態を確認し、対処方法については以下の表を参照してください。



- ① 電源インジケータ
- ② ステータスインジケータ
- ③ ランプインジケータ
- ④ 温度インジケータ
- ⑤ Screen Mirroringインジケータ

インジケータ	状態と説明
電源： 青 ステータス： 青点滅 ランプ： 消灯 温度： 消灯	ウォームアップ中またはシャットダウン中です。ウォームアップ中の場合は、約30秒経つと映像が表示されます。 ウォームアップ中、シャットダウン中は、すべてのボタン操作が無効になります。
電源： 青 ステータス： 消灯 ランプ： 消灯 温度： 消灯	スタンバイ状態、スリープモード、ネットワーク監視状態のいずれかの状態です。 電源ボタンを押すと、投写を開始します。
電源： 青点滅 ステータス： 消灯 ランプ： 消灯 温度： 消灯	ネットワーク監視の準備状態です。
電源： 青点滅 ステータス： 状態依存 ランプ： 消灯(ランプ交換勧告中は橙点滅) 温度： 橙点滅	内部温度が高くなっています。 <ul style="list-style-type: none"> • エアフィルター・排気口がふさがれていないか、周辺の物や壁で通気が妨げられていないか確認します。 • エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除または交換します。 • 高温にならない環境で使用するようにします。

インジケータ	状態と説明
電源： 青 ステータス： 青 ランプ： 消灯 温度： 消灯	投写中の状態です。

インジケータ	状態と説明
電源： 消灯 ステータス： 青点滅 ランプ： 消灯 温度： 橙点灯	<p>内部高温異常(オーバーヒート)状態です。ランプが自動的に消灯し、投写できなくなります。電源を切った状態で5分間待ち、温度を下げます。</p> <ul style="list-style-type: none"> エアフィルター・排気口がふさがれていないか、周辺の物や壁で通気が妨げられていないか確認します。 エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除または交換します。 標高1500m以上の場所でお使いのときは、[拡張設定]メニューで[高地モード]を[オン]にします。 ☛ [拡張設定] > [動作設定] > [高地モード] 問題が解決しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
電源： 消灯 ステータス： 青点滅 ランプ： 橙点灯 温度： 消灯	<p>ランプ異常、ランプ点灯失敗状態です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ランプを取り出してランプが割れていないか確認します。必要に応じて、ランプを取り付け直すか、交換します。 エアフィルターを掃除します。 標高1500m以上の場所でお使いのときは、[拡張設定]メニューで[高地モード]を[オン]にします。 ☛ [拡張設定] > [動作設定] > [高地モード] 問題が解決しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
電源： 青点滅 ステータス： 状態依存 ランプ： 橙点滅 温度： 消灯	<p>ランプの交換勧告です。新しいランプに交換します。交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。</p>

インジケータ	状態と説明
電源： 消灯 ステータス： 青点滅 ランプ： 消灯 温度： 橙点滅	<p>ファン異常またはセンサー異常状態です。ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。</p>
電源： 消灯 ステータス： 青点滅 ランプ： 橙点滅 温度： 消灯	<p>内部異常状態です。ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。</p>
電源： 消灯 ステータス： 青点滅 ランプ： 橙点滅 温度： 橙点滅	<p>オートアイリス異常状態です。ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。</p>
電源： 消灯 ステータス： 青点滅 ランプ： 橙点灯 温度： 橙点滅	<p>電源系異常(バラスト)状態です。ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。</p>

Screen Mirroringインジケータ	状態と説明
青点灯	Screen Mirroringを使用できます。
速い青点滅	モバイルデバイスに接続中です。
遅い青点滅	Screen Mirroringの異常状態です。[ネットワーク]メニューで[無線電源]を[両方オフ]に設定し、再度[Screen Mirroringオン]に設定します。
消灯	Screen Mirroringは使用できません。[ネットワーク]メニューで[無線電源]を[Screen Mirroringオン]に設定していることを確認します。



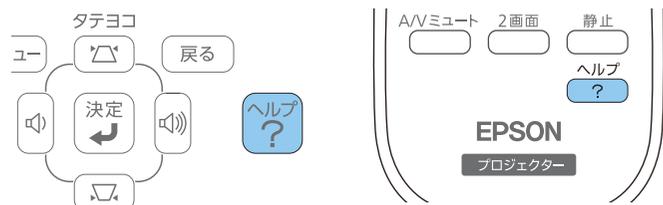
各インジケータがこの表にない状態のときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

関連項目

- 「困ったときに」 [p.171](#)
- 「エアフィルターおよび吸排気口を清掃する」 [p.162](#)
- 「エアフィルターを交換する」 [p.162](#)
- 「ランプを交換する」 [p.164](#)

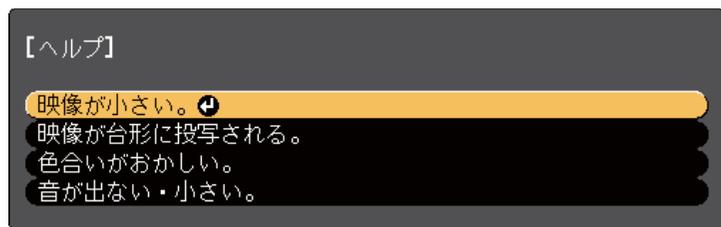
トラブル発生時の解決方法を投写映像に表示できます。質問に答えていくと適切な状態に設定することもできます。

- 1 本機の電源を入れます。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【ヘルプ】ボタンを押します。



ヘルプメニューが表示されます。

- 3 上下ボタンを使用して、問題の項目を選択します。



- 4 【決定】ボタンを押して、対処法を表示します。
- 5 確認が終わったら、以下のいずれかの操作をします。
 - 他の問題を選ぶ場合は【戻る】ボタンを押します。
 - ヘルプを終了する場合は【ヘルプ】ボタンを押します。

関連項目

- 「困ったときに」 [p.171](#)

投写する映像や、出力する音声に関するトラブルの対処方法を確認してください。

関連項目

- 「困ったときに」 [p.171](#)
- 「映像が表示されない」 [p.177](#)
- 「USBディスプレイの映像が表示されない」 [p.178](#)
- 「「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示される」 [p.178](#)
- 「「この信号は本プロジェクターでは受けられません」というメッセージが表示される」 [p.179](#)
- 「映像の一部が表示されない」 [p.179](#)
- 「映像が台形にゆがむ」 [p.180](#)
- 「映像にノイズが入る、乱れる」 [p.180](#)
- 「映像がぼやける」 [p.181](#)
- 「映像の明るさや色合いが違う」 [p.182](#)
- 「音が出ない、小さい」 [p.182](#)
- 「PC Freeで画像ファイル名が正しく表示されない」 [p.183](#)

映像が表示されない

映像が表示されないときは、次の対処方法を確認してください。

- 電源ボタンを押して電源を入れます。
- レンズカバーを完全に開けます。
- リモコンの【AVミュート】ボタンを押して、映像が一時的に消されていないか確認します。
- 必要なケーブルがすべて接続されていること、本機の電源が入っていること、接続された映像機器の電源が入っていることを確認します。

- 入力映像が黒一色でないことを確認します(コンピューターの映像投写時のみ)。
- 本機のメニュー設定が正しいことを確認します。
- スタンバイ状態、スリープモードから復帰するには、本機の電源ボタンを押します。また、接続されたコンピューターがスリープ状態でないか、黒一色のスクリーンセーバーが表示されていないか確認します。
- [映像]メニューの設定が接続している機器に合っているか確認します。
- [画質調整]メニューで[明るさ]を調整するか、[節電]メニューで[明るさ切替]を[高]に設定します。
- [拡張設定]メニューの[表示設定]で[メッセージ表示]を[オン]に設定します。
- 操作パネルのボタンを押してもプロジェクターが反応しないときは、ボタン操作がロックされている可能性があります。ボタンのロックを解除します。
- リモコンのボタンを押してもプロジェクターが反応しないときは、リモコン受光部の設定を確認します。
- Windows Media Centerで映像を投写するときは、全画面表示を使用せず、縮小画面表示にしてください。
- Windows DirectXを使用するアプリケーションは、正しく表示されないことがあります。
- 著作権保護された動画をコンピューターで再生すると、プロジェクターから投写されないことがあります。詳しくは、コンピューターの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- 「映像や音声に関するトラブル」 [p.177](#)
- 「映像メニュー」 [p.137](#)
- 「画質調整メニュー」 [p.135](#)

- 「節電メニュー」 [p.152](#)
- 「操作ボタンロックを解除する」 [p.97](#)
- 「拡張設定メニュー」 [p.141](#)

USBディスプレイの映像が表示されない

USBディスプレイで映像が正しく表示されないときは、次の対処方法を確認してください。

- リモコンの【USB】ボタンを押します。
- USBディスプレイドライバーが正しくインストールされていることを確認します。必要な場合は手作業でインストールします。
- OS Xの場合は、[Dock]または[アプリケーション]フォルダーから[USB Display]アイコンを選択します。
- Windows Media Centerで映像を投写するときは、全画面表示を使用せず、縮小画面表示にしてください。
- Windows DirectXを使用するアプリケーションは、正しく表示されないことがあります。
- マウスカーソルがちらつくときは、[Epson USB Displayの設定]で、[デスクトップ画面のマウスカーソルをきれいにする]を選択します (Windows 2000は対応していません)。
- [Epson USB Displayの設定]で、[レイヤードウィンドウの転送]をオフにします。

関連項目

- 「映像や音声に関するトラブル」 [p.177](#)
- 「ドライバーをインストールする」 [p.55](#)

「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示される

「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示されるときは、次の対処方法を確認してください。

- 【入力検出】ボタンを押し、映像が表示されるまで数秒待ちます。
- 接続された映像機器の電源を入れ、必要な場合は再生を押してプレゼンテーションや動画の再生を開始します。
- 投写に必要なケーブルがすべて接続されているか確認します。
- ノート型コンピューターから投写するときは、コンピューターの設定を切り替えて、外部モニターに映像を表示します。
- 必要に応じて、本機および接続された映像機器の電源を一度切ってから、再度電源を入れます。

関連項目

- 「映像や音声に関するトラブル」 [p.177](#)
- 「ノート型コンピューターから映像を出力する」 [p.178](#)
- 「Macのノート型コンピューターから映像を出力する」 [p.179](#)

ノート型コンピューターから映像を出力する

ノート型コンピューターからの投写時に「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示されるときは、コンピューターの設定を切り替えて、外部モニターに映像を表示します。

- 1 ノート型コンピューターの[Fn]キーを押しながら、モニターのアイコンや[CRT/LCD]が表示されているキーを押します。(詳しくはお使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。)映像が表示されるまで数秒待ちます。

- 2 ノート型コンピューターの画面とプロジェクターの両方で映像を表示するには、もう一度同じキーを押します。
- 3 ノート型コンピューターとプロジェクターで同じ映像が表示されないときは、Windowsの[ディスプレイ]ユーティリティで、外部モニター端子が有効であるか、拡張ディスプレイが無効になっているかを確認します。(詳しくはお使いのコンピューターまたはWindowsの取扱説明書をご覧ください。)
- 4 必要に応じて、ビデオカードの設定を確認し、マルチディスプレイオプションを[クローン]または[ミラー]に設定します。

関連項目

- 「「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示される」
[p.178](#)

Macのノート型コンピューターから映像を出力する

Macのノート型コンピューターからの投写時に、「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示されるときは、コンピューターの設定でディスプレイをミラーリングします。(詳しくはお使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。)

- 1 [システム環境設定]を開き、[ディスプレイ]を選択します。
- 2 必要に応じて、[ディスプレイ]または[カラーLCD]を設定します。
- 3 [調整]または[アレンジメント]をクリックします。
- 4 [ディスプレイをミラーリング]を選択します。

関連項目

- 「「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示される」
[p.178](#)

「この信号は本プロジェクターでは受けられません」というメッセージが表示される

「この信号は本プロジェクターでは受けられません」というメッセージが表示されるときは、次の対処方法を確認してください。

- [映像]メニューで正しい入力信号方式が選択されているか確認します。
- コンピューターのディスプレイ解像度が本機の対応解像度、周波数と合っているか確認します。必要に応じて、コンピューターのディスプレイ解像度を変更します。(詳しくはお使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。)

関連項目

- 「映像や音声に関するトラブル」 [p.177](#)
- 「映像メニュー」 [p.137](#)

映像の一部が表示されない

映像が部分的にしか表示されないときは、次の対処方法を確認してください。

- リモコンの【自動調整】ボタンを押して映像信号を最適化します。
- [映像]メニューの[表示位置]で映像の表示位置を調整します。
- リモコンの【アスペクト】ボタンを押して、アスペクト比を変更します。

- 接続された機器の信号に応じて、[映像]メニューの[入力解像度]を設定します。
- 【Eズーム】ボタンで映像をズームしたときは、【戻る】ボタンを押してEズームを解除します。
- コンピューターのディスプレイ設定でデュアルディスプレイが無効になっているか、本機の対応解像度に合った設定がされているか確認します。(詳しくはお使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。)
- プレゼンテーションファイルの解像度を確認して、異なる解像度でファイルが作成されていないか確認します。(詳しくはお使いのソフトウェアのヘルプをご覧ください。)
- 正しい設置モードを選択していることを確認します。[拡張設定]メニューの[設置モード]で[フロント]、[フロント・天吊り]、[リア]、[リア・天吊り]を選択します。

関連項目

- 「映像や音声に関するトラブル」 [p.177](#)
- 「映像メニュー」 [p.137](#)
- 「拡張設定メニュー」 [p.141](#)
- 「対応解像度」 [p.195](#)

映像が台形にゆがむ

投写画面が台形にゆがむときは、次の対処方法を確認してください。

- 投写面に対してプロジェクターを平行に設置します。
- フットを使って映像の高さを調整したときは、台形補正ボタンを押して、映像のゆがみを補正します。
- [設定]メニューで、自動台形補正をオンにします。
☛ [設定] > [台形補正] > [タテヨコ] > [自動タテヨコ補正]

- 【フレームフィット】ボタンを押し、映像の形状と位置を補正します。
- Quick Cornerを使って、コーナーの形状を個別に補正します。
☛ [設定] > [台形補正]

関連項目

- 「映像や音声に関するトラブル」 [p.177](#)
- 「自動タテヨコ補正」 [p.45](#)
- 「フレームフィット機能で映像形状を自動で補正する」 [p.45](#)
- 「台形補正ボタンで映像のゆがみを補正する」 [p.47](#)
- 「Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する」 [p.48](#)

映像にノイズが入る、乱れる

投写映像に電子的な干渉(ノイズ)や妨害が入るときは、次の対処方法を確認してください。

- 本機と映像機器を接続しているケーブルの状態を確認します。ケーブルが以下の状態であることを確認してください。
 - 干渉を受けないように、電源コードから離れている
 - ケーブルの両端が確実に接続されている
 - 延長ケーブルを使用しない
 - ケーブルの長さを3メートル以内にする
- [映像]メニューの設定が接続している機器に合っているか確認します。[プログレッシブ変換]と[ノイズリダクション]が設定できる入力ソースのときはこれらの設定をします。
- コンピューターのディスプレイ解像度やリフレッシュレートが本機の対応解像度、リフレッシュレートと合っているか確認します。

- コンピューターから映像を投写しているときは、リモコンの【自動調整】ボタンを押して[トラッキング]と[同期]の設定を最適化します。映像が正しく調整されないときは、[映像]メニューで[トラッキング]と[同期]を設定します。
- [映像]メニューで[入力解像度]を[オート]に設定します。
- 台形ゆがみを補正したときは、[画質調整]メニューで[シャープネス]を低い値に設定し、表示画質を向上させます。
- 延長ケーブルを使用して電源に接続しているときは、延長ケーブルを使わずに投写して、映像にノイズが入らないか確認します。
- USBディスプレイを使って投写するときは、[Epson USB Displayの設定]で[レイヤードウィンドウの転送]をオフにします。

関連項目

- 「映像や音声に関するトラブル」 [p.177](#)
- 「映像メニュー」 [p.137](#)
- 「画質調整メニュー」 [p.135](#)
- 「対応解像度」 [p.195](#)

映像がぼやける

投写映像がぼやけるときは、次の対処方法を確認してください。

- 映像のピントを合わせます。
- 本機のレンズを掃除します。



寒い場所から暖かい場所に持ち込んだときは、レンズが結露しないよう、お使いになる1時間くらい前に使用する場所に本機を設置するようにします。

- 投写距離の推奨範囲内で設置します。

- 映像の高さ調整のために本機の傾斜角度を大きくすると映像がゆがみます。傾斜角度を小さくして台形補正の調整値を小さくします。
- フレームフィットを使って映像の形状と位置を補正するときは、適切な投写距離範囲内に本機を設置します。設置できないときは、手動で映像のゆがみを補正します。
- [設定]メニューで、自動台形補正をオンにします。
☛ [設定] > [台形補正] > [タテヨコ] > [自動タテヨコ補正]
- [画質調整]メニューで[シャープネス]を調整して、表示画質を上げます。
- コンピューターから映像を投写しているときは、リモコンの【自動調整】ボタンを押してトラッキングと同期の設定を最適化します。映像に縦の縞模様が出たり、全体的にぼやけるときは、均一なパターン画面を表示し、[映像]メニューで[トラッキング]と[同期]を設定します。
- コンピューターから映像を投写しているときは、解像度を下げるか、本機の解像度に合わせて解像度を変更します。

関連項目

- 「映像や音声に関するトラブル」 [p.177](#)
- 「フォーカスリングで映像のピントを調整する」 [p.52](#)
- 「レンズを清掃する」 [p.160](#)
- 「映像メニュー」 [p.137](#)
- 「画質調整メニュー」 [p.135](#)
- 「対応解像度」 [p.195](#)

映像の明るさや色合いが違う

投写映像が暗すぎたり明るすぎるとき、また色合いが正しく表示されないときは、次の対処方法を確認してください。

- リモコンの【カラーモード】ボタンを押して、映像と投写環境に合うカラーモードを選択します。
- お使いのビデオ機器の設定を確認します。
- [画質調整]メニューで[明るさ]、[コントラスト]、[色合い]、[カラー調整]、[色の濃さ]などを設定します。
- [映像]メニューで[入力信号方式]または[ビデオ信号方式]を正しく設定します。
- [画質調整]メニューで[ガンマ]、[RGB]、または[RGBCMY]を正しく設定します。
● [画質調整] > [アドバンスト]
- 必要なケーブルが本機とビデオ機器に確実に接続されていることを確認します。ケーブルが長いときは、短いケーブルで接続します。
- [節電]メニューの[明るさ切替]で[低]を選択しているときは、[高]に設定します。



高地や高温になりやすい場所では、映像が暗めに表示されます。このとき[明るさ切替]が設定できないことがあります。

- 投写距離の推奨範囲内で設置します。
- ランプの交換時期が近づくと映像が暗くなったり色合いが悪くなります。新しいランプと交換してください。

関連項目

- 「映像や音声に関するトラブル」 [p.177](#)
- 「カラーモード」 [p.62](#)
- 「映像メニュー」 [p.137](#)
- 「画質調整メニュー」 [p.135](#)
- 「節電メニュー」 [p.152](#)

音が出ない、小さい

音が出ない、小さすぎるなどの問題があるときは、次の対処方法を確認してください。

- 本機の音量設定を調整します。
- 一時的に映像と音を消したときは、リモコンの【AVミュート】ボタンを押して、映像と音を再開します。
- 操作パネルの【入力検出】ボタンを押すか、リモコンの入力切替ボタンを押して、正しい入力ソースに切り替えます。
- コンピューター、ビデオ機器で音量が大きくなっているか、音声出力が正しく設定されているか確認します。
- オーディオケーブルを一度外し、再度接続します。
- プロジェクターとビデオ機器のケーブルが正しく接続されているか確認します。
- HDMIソースから音が出ないときは、接続されている機器をPCM出力に設定します。
- 接続するオーディオケーブルは「抵抗なし」と表記されているものを使用します。
- USBディスプレイを使って投写するときは、[Epson USB Displayの設定]で[音声をプロジェクターで出力する]をオンにします。
- [拡張設定]メニューで[AV出力設定]を正しい音声入力に設定します。

- Macをお使いでHDMIソースから音が出ないときは、HDMI端子を通した音声出力にMacが対応しているか確認します。対応していない場合はオーディオケーブルを接続します。
- 本機がスタンバイ状態のときも、接続しているオーディオ機器の音声を出力するときは、[節電]メニューで[待機モード]を[通信オン]に設定し、[拡張設定]メニューで[A/V出力設定]を正しく設定します。
- 本機の電源を切った直後に電源を入れると、ファンが一時的に高速で大きな音を立てて回転することがあります。これは異常ではありません。
- コンピューターの音量を最小、プロジェクターの音量を最大に設定していると、ノイズが入ることがあります。コンピューターの音量を上げて、プロジェクターの音量を下げてください。(EasyMP Network Projection、EasyMP Multi PC Projection、USBディスプレイ、クイックワイヤレスを使用する場合)

関連項目

- 「映像や音声に関するトラブル」 [p.177](#)
- 「音量ボタンで音量を調整する」 [p.69](#)
- 「プロジェクターを接続する」 [p.22](#)
- 「拡張設定メニュー」 [p.141](#)
- 「節電メニュー」 [p.152](#)

関連項目

- 「映像や音声に関するトラブル」 [p.177](#)

PC Freeで画像ファイル名が正しく表示されない

ファイル名の文字数が表示幅を超える場合や、非対応の記号が含まれている場合は、PC Free機能ではファイル名が短縮または変更されます。ファイル名を短縮もしくは変更してください。

プロジェクター、リモコンの操作に関するトラブルの対処方法を確認してください。

関連項目

- 「困ったときに」 [p.171](#)
- 「電源が入らない、予期せず切れる」 [p.184](#)
- 「リモコンで操作できない」 [p.185](#)
- 「パスワードが入力できない」 [p.185](#)
- 「時刻を保持する電池残量が低下しています」というメッセージが表示される」 [p.185](#)

電源が入らない、予期せず切れる

電源ボタンを押しても本機の電源が入らない、予期せず電源が切れるときは、次の対処方法を確認してください。

- 電源コードが本機とコンセントに確実に接続されていることを確認します。
- セキュリティーのため、操作パネルのボタン操作がロックされていることがあります。[設定]メニューで[操作ボタンロック]を解除するか、リモコンを使用して本機の電源を入れます。
- 電源コードが故障している可能性があります。電源コードを抜いて、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
- 本機のランプが予期せず消えるときは、一定時間操作が行われずスリープモードになっている可能性があります。いずれかのボタンを押して、スリープモードから復帰します。スリープモードを無効にするには、[節電]メニューで[スリープモード]を[オフ]にします。

- 本機のランプが予期せず消えるときは、AVミュートタイマーが有効になっている可能性があります。AVミュートタイマーを無効にするには、[節電]メニューで[AVミュートタイマー]を[オフ]にします。
- 本機のランプが予期せず消えるときは、レンズカバータイマーが有効になっている可能性があります。レンズカバータイマーを無効にするには、[節電]メニューで[レンズカバータイマー]を[オフ]にします。
- 本機のランプが消え、電源インジケータと温度インジケータが点灯しているときは、本機の内部温度が高温になったため電源がオフになっています。インジケータの見方を参照して、対処方法を確認してください。
- リモコンの電源ボタンを押しても本機の電源が入らないときは、リモコンの電池を確認します。また、[設定]メニューで[リモコン受光部]の設定を確認します。
- [節電]メニューで[待機モード]を[通信オン]に設定しているとき、ファンが一時的に高速で大きな音を立てて回転することがあります。また、[AV出力]を[常時]に設定したり、[オートパワーオン]を[コンピューター1]に設定しているときは、スタンバイ状態でファンが回転することがあります。これは異常ではありません。
 - ☛ [拡張設定] > [AV出力設定] > [AV出力]
 - ☛ [拡張設定] > [動作設定] > [オートパワーオン]

関連項目

- 「プロジェクター、リモコンの操作に関するトラブル」 [p.184](#)
- 「操作ボタンロックを解除する」 [p.97](#)
- 「節電メニュー」 [p.152](#)
- 「インジケータの見方」 [p.173](#)
- 「設定メニュー」 [p.139](#)

リモコンで操作できない

本機がリモコン操作に反応しないときは、次の対処方法を確認してください。

- リモコンの電池を正しくセットして、電池が切れていないことを確認します。必要に応じて、電池を交換します。
- 受光可能な角度、距離の範囲内でリモコンを操作します。
- 本機がウォームアップ中またはシャットダウン中でないか確認します。
- リモコンのボタンが押し込まれた状態になっていないか確認します。その状態ではリモコンが操作できないことがあります。ボタンを元の状態に戻してください。
- 蛍光灯の強い光、直射日光、赤外線機器の信号が、本機のリモコン受光部に干渉することがあります。強い光などがリモコン受光部に当たる場所を避けて本機を設置してください。
- リモコン受光部を1か所オフにします。または、[設定]メニューの[リモコン受光部]で、すべてのリモコン受光部がオフになっていないか確認します。
- [リモコン受光部]がオフに設定されているときは、リモコンの【メニュー】ボタンを15秒以上押したままにして、この設定を初期値に戻します。
- 複数のプロジェクターを1つのリモコンから操作するため、ID番号を設定したときは、ID設定の確認、変更が必要になることがあります（この機能を使用できないプロジェクターもあります）。
- リモコンを紛失した場合は、新たにリモコンをお買い求めいただけます。

関連項目

- 「プロジェクター、リモコンの操作に関するトラブル」 [p.184](#)
- 「リモコンを操作する」 [p.31](#)

- 「操作対象のプロジェクターIDをリモコンで選択する」 [p.90](#)
- 「リモコンの電池を交換する」 [p.169](#)
- 「設定メニュー」 [p.139](#)

パスワードが入力できない

パスワードを入力できない、または忘れたときは、次の対処方法を確認してください。

- パスワードを設定せずに、パスワードプロテクトを有効にしていることがあります。初期パスワード**0000**を入力します。
- 誤ったパスワードを何度も入力すると、問い合わせコードを示すメッセージが表示されます。そのコードをメモして、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。パスワードについてお問い合わせをいただいた際は、お客様のお名前や連絡先をお聞きし、ご本人であることを確認させていただきます。
- リモコンを紛失したときはパスワードを入力できません。新たにリモコンをお買い求めください。

関連項目

- 「プロジェクター、リモコンの操作に関するトラブル」 [p.184](#)

「時刻を保持する電池残量が低下しています」というメッセージが表示される

「時刻を保持する電池残量が低下しています」というメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

関連項目

- 「プロジェクター、リモコンの操作に関するトラブル」 [p.184](#)

ネットワーク経由でプロジェクターを使用するときに想定されるトラブルの対処方法を確認してください。

関連項目

- 「困ったときに」 [p.171](#)
- 「Webブラウザを使って設定を変更できない」 [p.187](#)
- 「異常が起きたときにメール通知されない」 [p.187](#)
- 「ネットワーク経由で投写した映像が乱れる」 [p.187](#)
- 「Screen Mirroringで接続できない」 [p.188](#)
- 「Screen Mirroringの映像が乱れる」 [p.188](#)

Webブラウザを使って設定を変更できない

Webブラウザを使って本機の設定を変更できないときは、正しいIDとパスワードを使用していることを確認します。

- ユーザーIDには**EPSONWEB**と入力します。(ユーザーIDは変更できません。)
- パスワードには、[基本設定]メニューで設定しているパスワードを入力します。デフォルトのパスワードは**admin**です。
- プロジェクターが接続しているネットワークへのアクセス権を持っていることを確認します。



ユーザーID、パスワードの大文字小文字は区別されます。

関連項目

- 「ネットワークに関するトラブル」 [p.187](#)
- 「ネットワークメニュー - 基本設定メニュー」 [p.145](#)

異常が起きたときにメール通知されない

プロジェクターの異常/警告を通知するメールが受け取れないときは、次の対処方法を確認してください。

- 本機の電源が入っているか、ネットワークに正しく接続されているか確認します。(本機に致命的な異常が発生し、瞬時に起動停止状態になったときは、メールが送信できないことがあります。)
- [メール]メニューまたはネットワークソフトウェアでメール通知機能を正しく設定していることを確認します。
- 本機がスタンバイ状態のときもプロジェクターを監視できるように、[節電]メニューで[待機モード]を[通信オン]に設定します。
- 本機をお使いの地域が停電になっていたり、本機の電源を取っているコンセントのブレーカーが切れていないか確認してください。

関連項目

- 「ネットワークに関するトラブル」 [p.187](#)
- 「ネットワークメニュー - メールメニュー」 [p.149](#)

ネットワーク経由で投写した映像が乱れる

ネットワーク経由で投写した映像が乱れるときは、次の対処方法を確認してください。

- アクセスポイントとコンピューターやモバイルデバイス、プロジェクターの間に障害物がないかを確認し、電波状況がよくなるようにそれらの位置を変更します。
- アクセスポイントとコンピューターやモバイルデバイス、プロジェクターが離れすぎているか確認します。離れすぎているときは、近づけて接続します。

- 映像の表示が遅いときや、投写映像にノイズが入るときは、Bluetoothを使用する機器や電子レンジなどからの干渉がないか確認してください。干渉の可能性のある機器を遠ざけるか、無線帯域を確保します。
- 映像の表示が遅いときは、接続している機器の数を減らしてください。

関連項目

- 「ネットワークに関するトラブル」 [p.187](#)

Screen Mirroringで接続できない

Screen Mirroringでプロジェクターを接続できないときは、次の対処方法を確認してください。

- プロジェクターの設定を確認します。
 - [ネットワーク]メニューで[無線電源]を[Screen Mirroringオン]に設定します。
 - [Screen Mirroring設定]の[ディスプレイ名]に、「-」が含まれない名前に変更します。「-」が含まれると、モバイルデバイスでプロジェクターのディスプレイ名が正しく表示されないことがあります。
 - [ネットワーク]メニューで[無線電源]を[両方オフ]に設定し、再度[Screen Mirroringオン]に設定します。
 - Screen Mirroringインジケータが青点灯し、Screen Mirroring待機画面が表示されていることを確認します。
 - すでに他のモバイルデバイスが接続されていないことを確認します。

- モバイルデバイスの設定を確認します。
 - モバイルデバイスの設定が正しいことを確認します。
 - 接続を終了した直後に再接続するときは、接続までに時間がかかることがあります。しばらくしてから再接続します。
 - モバイルデバイスを再起動します。
 - 一度Screen Mirroringで接続すると、モバイルデバイスに本機の接続情報が記録されることがありますが、この画面からは再接続できないことがあります。接続可能なデバイスの一覧から、再度本機を選択してください。
 - Intel WiDi搭載機器で5GHz帯の無線LANをお使いのときは、Screen Mirroring接続を同時に使用できません。無線LAN接続をオフにしてScreen Mirroringを接続します。

関連項目

- 「ネットワークに関するトラブル」 [p.187](#)
- 「ネットワークメニュー」 [p.144](#)
- 「ネットワークメニュー - Screen Mirroring設定」 [p.145](#)

Screen Mirroringの映像が乱れる

Screen Mirroringでモバイルデバイスから投写した映像が乱れるときは、次の対処方法を確認してください。

- モバイルデバイスのWi-Fiアンテナ部付近を隠さないようにします。
- モバイルデバイスでScreen Mirroringとインターネット接続を同時に行うと、映像が止まったり、ノイズが入ったりすることがあります。無線帯域を確保し、モバイルデバイスの通信速度を向上させるために、インターネット接続を停止します。
- 投写するコンテンツに問題がないことを確認します。
- モバイルデバイスの設定によっては、パワーセーブ時に接続が切れることがあります。デバイスの省電力設定などを確認します。

- モバイルデバイスの無線ドライバーやファームウェアを最新の状態に更新します。

関連項目

- 「ネットワークに関するトラブル」 [p.187](#)
- 「モバイルデバイスからのワイヤレス投写（Screen Mirroring）」
[p.111](#)



付録

本機の仕様や使用上の注意事項については、以下の項目をご確認ください。

関連項目

- 「オプション・消耗品一覧」 [p.191](#)
- 「スクリーンサイズと投写距離」 [p.193](#)
- 「対応解像度」 [p.195](#)
- 「本機仕様」 [p.197](#)
- 「外形寸法図」 [p.199](#)
- 「用語解説」 [p.200](#)
- 「一般のご注意」 [p.202](#)

下記のオプション・消耗品を用意しています。用途に合わせてお買い求めください。これらのオプション品は2014年6月現在のものです。予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

関連項目

- 「付録」 [p.190](#)
- 「オプション」 [p.191](#)
- 「消耗品」 [p.192](#)

オプション

- **電子黒板ユニット ELPIU02**
投写画面上でコンピューター画面の操作をするときに使います。
- **書画カメラ ELPDC06/ELPDC11/ELPDC12/ELPDC20**
書籍やOHP原稿、スライドを投写するときなどに使います。
- **ソフトキャリングケース ELPKS68**
本機の持ち運びに便利なソフトケースです。
- **60型スクリーン ELPSC27**
80型スクリーン ELPSC28
100型スクリーン ELPSC29
携帯型ロールスクリーンです。(アスペクト比4:3)
- **70型スクリーン ELPSC23**
80型スクリーン ELPSC24
90型スクリーン ELPSC25
携帯型ロールスクリーンです。(アスペクト比16:10)
- **コンピューターケーブル ELPKC02 (ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用1.8m)**
本製品に同梱のコンピューターケーブルと同等品です。
- **コンピューターケーブル ELPKC09 (ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用 3m)**
コンピューターケーブル ELPKC10 (ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用 20m)
本製品に同梱のコンピューターケーブルが短いときの延長ケーブルです。
- **D端子ケーブル ELPKC22 (ミニD-Sub 15pin/D端子用 3m)**
映像機器のD端子と接続するときに使います。
- **コンポーネントビデオケーブル ELPKC19 (ミニD-Sub 15pin/RCAオス x3用 3m)**
コンポーネントビデオを投写するときに使います。
- **無線LANユニット ELPAP07**
コンピューターから無線LAN接続で投写するときに使います。
- **クイックワイヤレス用USBキー ELPAP09**
本機とWindows搭載のコンピューターを1対1で接続して投写するときに使います。
- **パイプ450(450mm) ELPFP13**
パイプ700(700mm) ELPFP14
高天井および化粧天井に取り付けるときに使います。
- **天吊金具 ELPMB23**
本機を天井に取り付けるときに使います。
- **マウスレシーバー ELPST16**
本機のリモコンでコンピューターのマウスポインターを操作できません。
- **スピーカー ELPSP02**
電源内蔵の外付けスピーカーです。



天吊り設置には特別な技術が必要です。詳細はお買い上げの販売店
またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

関連項目

- 「オプション・消耗品一覧」 [p.191](#)

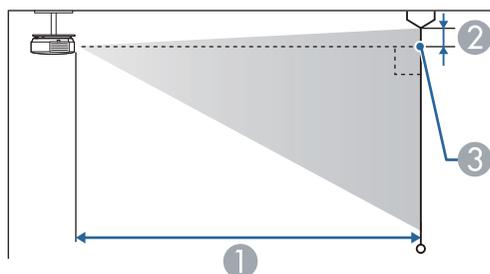
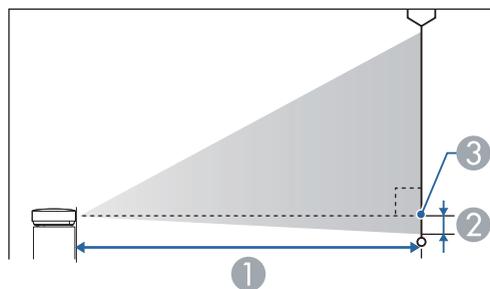
消耗品

- **交換用ランプ ELPLP77**
使用済みランプと交換します。
- **エアフィルター ELPAF41**
使用済みエアフィルターと交換します。

関連項目

- 「オプション・消耗品一覧」 [p.191](#)

この表に従って、スクリーンからプロジェクターまでのおよその距離を、投写映像の大きさに応じて決めます。



- ① 投写距離(cm)
- ② レンズ中心からスクリーン下端(天吊りの場合はスクリーン上端)までの高さ(cm)
- ③ レンズ中心

16 : 10スクリーンサイズ		①	②
		最短(ワイド)~最長(テレ)	
30型	65 × 40	86 - 145	-4
40型	86 × 54	116 - 194	-5
50型	108 × 67	146 - 243	-6

16 : 10スクリーンサイズ		①	②
		最短(ワイド)~最長(テレ)	
60型	129 × 81	176 - 293	-7
80型	172 × 108	236 - 392	-10
100型	215 × 135	296 - 491	-12
150型	323 × 202	446 - 738	-18
200型	431 × 269	595 - 985	-24
250型	538 × 337	745 - 1232	-31
300型	646 × 404	895 - 1479	-37

4 : 3スクリーンサイズ		①	②
		最短(ワイド)~最長(テレ)	
28型	57 × 43	91 - 153	-4
30型	61 × 46	98 - 164	-4
40型	81 × 61	132 - 220	-6
50型	102 × 76	166 - 276	-7
60型	122 × 91	200 - 332	-8
80型	163 × 122	268 - 444	-11
100型	203 × 152	335 - 556	-14
150型	305 × 229	505 - 836	-21
200型	406 × 305	674 - 1115	-28
250型	508 × 381	844 - 1395	-35

16 : 9スクリーンサイズ		①	②
		最短(ワイド)~最長(テレ)	
40型	89 × 50	119 - 200	-2
50型	111 × 62	150 - 250	-3
60型	133 × 75	181 - 301	-3
70型	155 × 87	212 - 352	-4
80型	177 × 100	243 - 403	-5
100型	221 × 125	304 - 504	-6
150型	332 × 187	458 - 758	-8
200型	443 × 249	612 - 1012	-11
250型	553 × 311	766 - 1266	-14
280型	620 × 349	858 - 1418	-16



EB-1985WUは50型未満のスクリーンには投写できません。

関連項目

- 「付録」 [p.190](#)

映像信号ごとのリフレッシュレートと解像度を示します。

コンピューター映像(アナログRGB)

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度(ドット)
VGA	60/72/75/85	640 × 480
SVGA	56/60/72/75/85	800 × 600
XGA	60/70/75/85	1024 × 768
WXGA	60	1280 × 768
	60	1366 × 768
	60/75/85	1280 × 800
WXGA+	60/75/85	1440 × 900
WXGA++	60	1600 × 900
SXGA	70/75/85	1152 × 864
	60/75/85	1280 × 960
	60/75/85	1280 × 1024
SXGA+	60/75	1400 × 1050
WSXGA+ *	60	1680 × 1050
UXGA	60	1600 × 1200
WUXGA **	60	1920 × 1200
MAC13"	67	640 × 480
MAC16"	75	832 × 624
MAC19"	75	1024 × 768
	59	1024 × 768
MAC21"	75	1152 × 870

* [映像]メニューの[入力解像度]で[ワイド]を選択しているときのみ

** EB-1985WUのみ

上記以外の信号が入力された場合でも、映像を投写できることがあります。ただし、機能が制限されることがあります。

コンポーネントビデオ

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度(ドット)
SDTV (480i/480p)	60	720 × 480
SDTV (576i/576p)	50	720 × 576
HDTV (720p)	50/60	1280 × 720
HDTV (1080i)	50/60	1920 × 1080
HDTV (1080p)*	50/60	1920 × 1080

* EB-1985WUのみ

コンボジットビデオ

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度(ドット)
TV (NTSC)	60	720 × 480
TV (SECAM)	50	720 × 576
TV (PAL)	50/60	720 × 576

HDMI入力

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度(ドット)
VGA	60	640 × 480
SVGA	60	800 × 600
XGA	60	1024 × 768
WXGA	60	1280 × 800
	60	1366 × 768
WXGA+	60	1440 × 900
WXGA++	60	1600 × 900
WSXGA+	60	1680 × 1050

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度(ドット)
SXGA	60	1280 × 960
	60	1280 × 1024
SXGA+	60	1400 × 1050
UXGA	60	1600 × 1200
WUXGA *	60	1920 × 1200
SDTV (480i/480p)	60	720 × 480
SDTV (576i/576p)	50	720 × 576
HDTV (720p)	50/60	1280 × 720
HDTV (1080i)	50/60	1920 × 1080
HDTV (1080p)	24/30/50/60	1920 × 1080

* EB-1985WUのみ

MHL入力

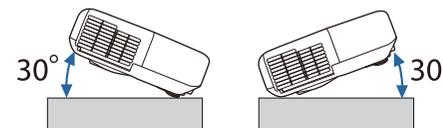
信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度(ドット)
VGA	60	640 × 480
SDTV (480i/480p)	60	720 × 480
SDTV (576i/576p)	50	720 × 576
HDTV (720p)	50/60	1280 × 720
HDTV (1080i)	50/60	1920 × 1080
HDTV (1080p)	24/30	1920 × 1080

関連項目

- 「付録」 [p.190](#)

商品名	EB-1985WU/EB-1975W	
外形サイズ	幅377 × 高さ110 × 奥行き291 mm(突起部を含まず)	
液晶パネルサイズ	0.76型	
表示方式	ポリシリコンTFT アクティブマトリクス	
画素数	EB-1985WU: 2,304,000個 WUXGA(横1920 × 縦1200ドット) × 3 EB-1975W: 1,024,000個 WXGA(横1280 × 縦800ドット) × 3	
フォーカス調整	手動	
ズーム調整	1-1.6	
ランプ	UHEランプ定格280W 型番： ELPLP77	
音声最大出力	16 W	
スピーカー	1個	
電源	100-240V AC±10% 50/60Hz 4.3 - 1.9 A	
消費電力	100-120V エリア	定格消費電力： 435 W 待機時消費電力(通信オン)： 3.5 W 待機時消費電力(通信オフ)： 0.21 W
	220-240V エリア	定格消費電力： 411 W 待機時消費電力(通信オン)： 3.5 W 待機時消費電力(通信オフ)： 0.34 W
動作高度	標高 0～2286 m	
動作温度範囲	+5～+35°C(結露しないこと)	
保存温度範囲	-10～+60°C(結露しないこと)	
質量	約4.6kg	

傾斜角度



30°以上傾けてお使いになると、故障や事故の原因となります。

関連項目

- 「付録」 p.190
- 「接続端子」 p.197

接続端子

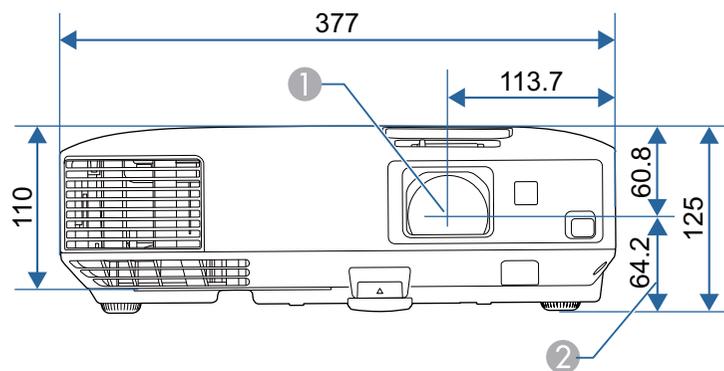
コンピューター1端子	1系統	ミニD-Sub 15pin(メス)
コンピューター2端子	1系統	ミニD-Sub 15pin(メス)
ビデオ入力端子	1系統	RCAピンジャック
音声入力1端子	1系統	ステレオミニピンジャック(3.5Φ)
音声入力2端子	1系統	ステレオミニピンジャック(3.5Φ)
音声入力(L-R)端子	1系統	RCAピンジャック×2(L-R)
音声出力端子	1系統	ステレオミニピンジャック(3.5Φ)
モニター出力端子	1系統	ミニD-Sub 15pin(メス)
HDMI1/MHL端子	1系統	HDMI(音声はPCM(このみ対応))
HDMI2端子	1系統	HDMI(音声はPCM(このみ対応))
USB-A端子	1系統	USBコネクタ(Aタイプ)
USB-B端子	1系統	USBコネクタ(Bタイプ)
LAN端子	1系統	RJ-45
RS-232C端子	1系統	ミニD-Sub 9pin(オス)



USB(TypeA)端子はUSB2.0に対応しています。ただし、USB対応機器すべての動作を保証するものではありません。

関連項目

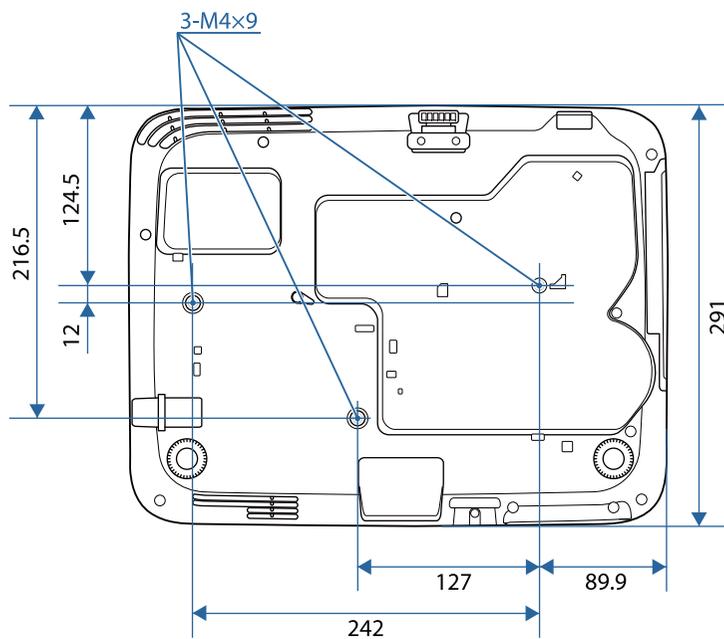
- 「本機仕様」 [p.197](#)



関連項目

- 「付録」 p.190

- ① レンズ中心
- ② レンズ中心から天吊り固定部までの寸法



単位： mm

本書で使用している用語で、本文中に説明がないものや難しいものを簡単に説明します。詳細は市販の書籍などでご確認ください。

アドホックモード	無線LANの通信方式の一つで、アクセスポイントを経由せずに機器同士が直接通信を行う方式です。
AMX Device Discovery	AMX Device Discoveryとは、AMX社のコントロールシステムとその対象機器の構成を容易にする、AMX社の提唱する技術です。 エプソンでは、その技術のプロトコルを導入して、そのプロトコル機能を有効(ON)にできる設定を用意しました。 詳細に関しては、AMX社のWebサイトを参照してください。 URL http://www.amx.com/
アスペクト比	画面の横と縦の比率をいいます。 横：縦の比率が16：9の、HDTVなどの画面をワイド画面といいます。 SDTVや、一般的なコンピューターのディスプレイのアスペクト比は4：3です。
コンポーネントビデオ	映像信号を、輝度信号(Y)や青色差信号(CbまたはPb)と赤色差信号(CrまたはPr)に分離して伝送する方式です。
コンポジットビデオ	映像信号の輝度信号や色信号を、1本のケーブルで伝送する方式です。
コントラスト	色の明暗の差を強くしたり弱くしたりすることにより、文字や絵がハッキリ見えたり、ソフトに見えたりすることです。この調整をコントラストの調整といいます。
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocolの略で、ネットワークに接続する機器に、IPアドレスを自動的に割り当てるプロトコルのことです。
DICOM	Digital Imaging and Communication in Medicineの略称です。 医用画像の画像規格および通信プロトコルを定義した世界標準規格です。
ゲートウェイアドレス	サブネットマスクによって分割したネットワーク(サブネット)を超えて通信するためのサーバー(ルーター)のことです。

HDCP	High-bandwidth Digital Content Protectionの略です。 DVIやHDMI端子を経由して送受信するデジタル信号を暗号化し、不正なコピーを防止する著作権保護技術です。 本機のHDMI入力端子はHDCPに対応しているため、HDCP技術で保護されたデジタル映像を投写できます。 ただし、HDCPの規格変更等が行われたときは、変更後の規格で保護されたデジタル映像を投写できなくなる場合があります。
HDTV	High-Definition Televisionの略で、次の条件を満たす高精細なシステムに適用されます。 <ul style="list-style-type: none"> ● 垂直解像度720p、1080i以上(pはプログレッシブ走査、iはインターレース走査) ● 画面のアスペクト比は16:9
インフラストラクチャーモード	無線LANの通信方式の一つで、各機器がアクセスポイントを経由して通信を行います。
インターレース	1つの画面を作り出す情報を上から下へ1つ飛ばしに伝送します。 1フレームの表示が1ラインおきとなるため、ちらつき(フリッカー)が出やすくなります。
IPアドレス	ネットワークに接続されたコンピューターを識別するための数字のことです。
MHL	Mobile High-definition Linkの略で、スマートフォンやタブレット端末などの携帯機器向けの接続インターフェース規格です。 画像データを圧縮することなく高速、高品質で伝送することができ、接続された機器の充電も可能です。
プログレッシブ	1つの画面を作り出す情報を一度で映し出して1フレーム分の映像を表示します。 そのため走査線の本数が同じでもインターレースと比べて時間あたりの情報量が2倍になるためちらつきが少ない映像になります。

リフレッシュレート	ディスプレイの発光体は、その明るさと色をごく短時間保持します。 そのため発光体をリフレッシュするために1秒間に何度も画像を走査しなければなりません。 その速度をリフレッシュレートと呼び、ヘルツ(Hz)で表します。
SDTV	Standard Definition Televisionの略で、HDTVの条件を満たさない標準テレビ放送のことです。
SNMP	Simple Network Management Protocolの略で、TCP/IPネットワークにおいてルーターやコンピューターなどネットワークに接続された通信機器をネットワーク経由で監視・制御するためのプロトコルです。
sRGB	各画像装置が表現する色をコンピューターのオペレーティングシステム(OS)やインターネットで簡単に扱うために規定された、色空間に関する国際標準です。接続している機器にsRGBモードがある場合、本機と接続機器の両方ともsRGBに設定します。
SSID	SSIDは、無線LANの環境で相手と接続するための識別データです。SSIDが一致している機器同士で無線通信できません。
サブネットマスク	IPアドレスから、分割したネットワーク(サブネット)のネットワークアドレスに使用するビット数を定義する数値のことです。
SVGA	画面サイズの規格で、横800ドット×縦600ドットのことを呼びます。
SXGA	画面サイズの規格で、横1,280ドット×縦1,024ドットのことを呼びます。
同期	コンピューターから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。 その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないと、きれいな映像になりません。 信号の位相(山のずれ)を合わせることを「同期を合わせる」といいます。 同期が合っていないと映像にちらつき、ぼやけ、横方向のノイズが出ます。

トラッキング	コンピューターから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。 その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないと、きれいな映像になりません。 信号の周波数(山の数)を合わせることを「トラッキングを合わせる」といいます。 トラッキングが合っていないと映像に幅広の縦の縞模様が出ます。
トラップIPアドレス	SNMPで異常を通知する場合の、通知先のコンピューターのIPアドレスのことです。
VGA	画面サイズの規格で、横640ドット×縦480ドットのことを呼びます。
XGA	画面サイズの規格で、横1,024ドット×縦768ドットのことを呼びます。
WXGA	画面サイズの規格で、横1,280ドット×縦768ドットのことを呼びます。
WUXGA	画面サイズの規格で、横1,920ドット×縦1,200ドットのことを呼びます。

関連項目

- 「付録」 [p.190](#)

本機をお使いの際の注意事項については、以下の項目をご確認ください。

関連項目

- 「付録」 [p.190](#)
- 「電波法による規制」 [p.202](#)
- 「使用限定について」 [p.202](#)
- 「本機を日本国外へ持ち出す場合の注意」 [p.202](#)
- 「瞬低（瞬時電圧低下）基準について」 [p.203](#)
- 「JIS C 61000-3-2適合品」 [p.203](#)
- 「表記について」 [p.203](#)
- 「商標について」 [p.203](#)
- 「ご注意」 [p.204](#)
- 「著作権について」 [p.204](#)

電波法による規制

電波法により次の行為は禁止されています。

- 改造および分解（アンテナ部分を含む）
- 適合証明ラベルの剥離
- 5 GHz帯無線LANの屋外での使用

関連項目

- 「一般のご注意」 [p.202](#)

使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

関連項目

- 「一般のご注意」 [p.202](#)

本機を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源コードは販売国の電源仕様に基づき同梱されています。本機を販売国以外でお使いになるときは、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国の規格に適合した電源コードを現地にてお求めください。

関連項目

- 「一般のご注意」 [p.202](#)

瞬低(瞬時電圧低下)基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。

関連項目

- 「一般のご注意」 [p.202](#)

JIS C 61000-3-2適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

関連項目

- 「一般のご注意」 [p.202](#)

表記について

- Microsoft® Windows® 2000 operating system
- Microsoft® Windows® XP operating system
- Microsoft® Windows Vista® operating system
- Microsoft® Windows® 7 operating system
- Microsoft® Windows® 8 operating system
- Microsoft® Windows® 8.1 operating system

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、「Windows 2000」、「Windows XP」、「Windows Vista」、「Windows 7」、「Windows 8」、「Windows 8.1」と表記しています。また、Windows 2000、Windows

XP、Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1を総称する場合は「Windows」と表記しています。

- Mac OS X 10.3.x
- Mac OS X 10.4.x
- Mac OS X 10.5.x
- Mac OS X 10.6.x
- OS X 10.7.x
- OS X 10.8.x
- OS X 10.9.x

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、「Mac OS X 10.3.x」、「Mac OS X 10.4.x」、「Mac OS X 10.5.x」、「Mac OS X 10.6.x」、「OS X 10.7.x」、「OS X 10.8.x」、「OS X 10.9.x」と表記しています。また、これらを総称する場合は「OS X」と表記します。

関連項目

- 「一般のご注意」 [p.202](#)

商標について

EPSON、ELPLPは、セイコーエプソン株式会社の商標、または登録商標です

Mac、Mac OS、OS Xは、Apple Inc.の商標です。

Microsoft、Windows、Windows Vista、PowerPoint、Windows ロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標、または登録商標です。

WPA™、WPA2™はWi-Fi Allianceの登録商標です。

App Storeは、Apple Inc.のサービスマークです。

Google playは、Google Inc.の商標です。

HDMIとHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標、または登録商標です。 

MHLとMHLのロゴ、及びMobile High-Definition Linkは、米国およびその他の国におけるMHL、LLCの商標または登録商標です。

PJLinkは、日本、米国、その他の国や地域における商標、または登録商標です。

Foxit PDF SDK Copyright ©2011, Foxit Software Company
www.foxitsoftware.com, All rights reserved.

Crestron®およびCrestron RoomView®は、Crestron Electronics, Inc.の登録商標です。

Intel®は、米国およびその他の国におけるIntel Corporationの登録商標です。

Miracast™は、Wi-Fi Allianceの登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

関連項目

- 「一般のご注意」 [p.202](#)

ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者(「お問い合わせ先」参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (7) 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

関連項目

- 「一般のご注意」 [p.202](#)

著作権について

本書の内容は予告なく変更することがあります。

©SEIKO EPSON CORPORATION 2014. All rights reserved.

2014.6 412710000JA

関連項目

- 「一般のご注意」 [p.202](#)